

# Toyooka Hospital



## 公立豊岡病院（医科・歯科 / 初期・後期） 研修ガイドブック 2022



病院機能評価認定病院  
☆☆☆☆☆

# ごあいさつ

公立豊岡病院は、明治4年(1871年)に豊岡県医局として開設されました。国内では2番目に歴史のある公立病院であり、長年に亘り地域住民の皆様にも最適な医療を提供して参りました。昨年には、新型コロナウイルス感染症が拡大するさなか創立150周年を迎えました。病院を取り巻く環境は日々目まぐるしく変化していますが、我々はこの地域の中核を担う病院として、これまでと同様にこの地域とともに成長し続けて参ります。

当院は、兵庫県の4分の1の面積を占める但馬医療圏における唯一の高度急性期病院です。本医療圏は、面積が東京都よりやや広いのに対して、人口は約16万人と東京都の100分の1程度です。当院の総病床数は518床で、その内訳は一般病床463床(うちICU/CCU6床、HCU12床、NICU6床)、感染症病床4床、精神科病床51床となっています。医師総数は144名(うち研修医21名)となっています。

当院の特徴は2つの併設施設にあります。但馬救命救急センターと但馬こうのとり周産期医療センターです。前者は約20名の救急医を擁し、大変活発な救命救急活動を展開しています。年間の救急患者受け入れ総数は11,992名(令和2年度実績)であり、そのうち4,707名が救急車で、また1,243名がドクターヘリで搬送されました。ドクターヘリの出勤件数は日本一となっています。他方、後者は、年間約700件の分娩はもとより、ハイリスク妊産婦や胎児、分娩時の重篤なトラブル、早産児・低出生体重児や生後早期に治療を必要とする新生児など、妊娠・出産に関わるあらゆる状態の患者さんに対して、高度な医療を提供する本医療圏唯一の施設です。

このように、当院は本医療圏の高度急性期症例を寡占する状況にあります。つまり、医師の卒後研修においては、特定の疾患群に偏らない広範囲なスペクトラムの、豊富な症例経験が可能です。さらに、関連大学から派遣される優秀な指導医の下で、それぞれの診療領域における高度かつ適切な教育を受けることができます。

医学生・研修医の皆さん、紺碧の海と深緑の山、歴史と文化に彩られた街豊岡で、キャリア形成の第一歩を踏み出しませんか。ここ豊岡病院で、意欲に溢れる皆さんと一緒できることを、心から楽しみにしています。



病院長  
三輪 聡一

## Contents

|               |     |
|---------------|-----|
| 病院の概要         | 1   |
| 医師臨床研修プログラム   | 2   |
| 歯科医師臨床研修プログラム | 12  |
| 専門研修プログラム     | 18  |
| 研修環境          | 106 |



|         |     |         |
|---------|-----|---------|
| 医師臨床研修  | 2   | 医師臨床研修  |
| 歯科臨床研修  | 12  | 歯科臨床研修  |
| 内科領域    | 18  | 内科領域    |
| 小児科領域   | 36  | 小児科領域   |
| 精神科領域   | 42  | 精神科領域   |
| 外科領域    | 46  | 外科領域    |
| 整形外科領域  | 58  | 整形外科領域  |
| 産婦人科領域  | 62  | 産婦人科領域  |
| 眼科領域    | 66  | 眼科領域    |
| 泌尿器科領域  | 70  | 泌尿器科領域  |
| 脳神経外科領域 | 74  | 脳神経外科領域 |
| 放射線科領域  | 78  | 放射線科領域  |
| 麻酔科領域   | 82  | 麻酔科領域   |
| 病理領域    | 86  | 病理領域    |
| 救急科領域   | 90  | 救急科領域   |
| 形成外科領域  | 96  | 形成外科領域  |
| 総合診療領域  | 100 | 総合診療領域  |

|                 |     |
|-----------------|-----|
| 説明会・病院見学・学生実習   | 108 |
| 募集案内            | 109 |
| 医師修学資金貸与制度について  | 110 |
| 研修医・専攻医の処遇について  | 111 |
| おでかけスポット・イベント情報 | 113 |
| 案内図             | 114 |

※ 冊子で紹介するプログラムは2021年度の情報に基づきます。2022年度の応募にあたっては、基幹施設が提供する情報を必ずご確認ください。  
指導医・スタッフは2021年10月現在の在籍状況に基づきます。

# 病 院 の 概 要

|           |                         |
|-----------|-------------------------|
| 名 称       | 公立豊岡病院組合立豊岡病院           |
| 所 在 地     | 兵庫県豊岡市戸牧1094            |
| 開 設 年 月 日 | 明治4年7月1日                |
| 開 設 者     | 公立豊岡病院組合(豊岡市・朝来市の2市で組織) |
| 管 理 者     | 松原 昭雄                   |
| 病 院 長     | 三輪 聡一                   |

## 1. 診 療 科 目

内科(総合診療科)、循環器内科、呼吸器内科、消化器科、内分泌・糖尿病内科、脳神経内科、リウマチ科、緩和ケア内科、小児科、皮膚科、精神科、外科、乳腺外科、呼吸器・心臓血管外科、整形外科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、泌尿器科、脳神経外科、放射線科、麻酔科、病理診断科、救急集中治療科、形成外科、リハビリテーション科、歯科口腔外科、矯正歯科

## 2. 病 床 数

一般病床 463床 感染症病床 4床 精神病床 51床 合計 518床

## 3. 学 会 認 定 施 設

|                                       |  |
|---------------------------------------|--|
| 日本内科学会認定医制度教育関連施設                     | 日本泌尿器学会専門医教育施設                           |
| 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設                   | 日本整形外科学会専門医制度研修施設                        |
| 日本心血管インターベンション治療学会研修施設群連携施設           | 日本形成外科学会認定施設                             |
| 日本神経学会専門医制度准教育施設                      | 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会認定インプラントエキスパンダー実施施設 |
| 日本呼吸器学会認定施設                           | 日本脳神経外科学会専門医研修プログラム参加施設                  |
| 日本糖尿病学会認定教育施設                         | 日本脳卒中学会専門医認定研修教育病院                       |
| 日本高血圧学会専門医認定施設                        | 日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関                     |
| 日本消化器内視鏡学会指導施設                        | 日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設                    |
| 日本消化器病学会関連施設                          | 母体保護法指定医師研修医療機関                          |
| 日本アレルギー学会アレルギー専門医準教育研修施設              | 日本麻酔科学会麻酔科認定施設                           |
| 日本精神神経学会精神科専門医制度研修施設                  | 日本臨床細胞学会認定施設                             |
| 日本小児科学会専門医制度研修施設                      | 日本臨床細胞学会教育研修施設                           |
| 日本周産期・新生児医学会周産期専門医制度周産期専門医(新生児)指定認定施設 | 日本臨床腫瘍学会認定研修施設                           |
| 日本周産期・新生児医学会周産期専門医制度周産期専門医(母体・胎児)指定施設 | 日本救急医学会救急科専門医指定施設                        |
| 日本外科学会専門医制度修練施設                       | 日本航空医療学会認定制度指定施設                         |
| 日本消化器外科学会専門医修練施設                      | 日本集中治療医学会専門医研修施設                         |
| 日本乳癌学会認定医・専門医制度認定施設                   | 日本外傷学会外傷専門医研修施設                          |
| 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構関連施設                | 日本腹部救急医学会教育医制度認定施設                       |
| 関連10学会構成胸部ステントグラフト実施施設                | 日本がん治療認定医機構認定研修施設                        |
| 関連10学会構成腹部ステントグラフト実施施設                | 日本急性血液浄化学会認定指定施設                         |
| 下肢静脈瘤に対する血管内灼術の実施基準による実施施設            | 日本病理学会病理専門医制度研修認定施設B                     |
| 浅大腿動脈ステントグラフト実施施設                     | 日本口腔外科学会専門医制度認定准研修施設                     |
| 呼吸器外科専門医合同委員会認定関連施設                   | 日本小児口腔外科学会認定医制度研修施設                      |

## 4. 併 設 施 設 等

但馬救命救急センター 認知症疾患医療センター 但馬こうのとり周産期医療センター



## 医師臨床研修

### 基幹

- 公立豊岡病院臨床研修プログラム

### 協力

- 京都大学医学部附属病院群 B プログラム/ C プログラム
- 神戸大学医学部病院群初期研修プログラムたすきがけコース
- ようか初期研修プログラム
- 綾部市立病院合同臨床研修プログラム
- 鳥取赤十字病院臨床研修プログラム
- 鳥取県立中央病院卒後研修プログラム

# プログラムの概要

## プログラム名称

公立豊岡病院臨床研修プログラム（プログラム変更予定）

## プログラムの特徴

地域中核病院の特長を生かし、一般症例から稀少疾患まで豊富な症例を経験することが可能で、2年の研修期間を通じてプライマリ・ケアの基礎的診断能力を備えた医師の養成を目指します。

さらに、大学病院や県立病院などにおける研修機会を提供することにより、専門領域のさらなる習得を可能とするプログラムとなっています。

## プログラム目標

医師としての人格を涵養し、医師及び医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、プライマリ・ケアを中心とした一般的な診療に適切に対応できるよう、基本的な診療能力を身に付ける。

## 研修科目・期間

| 1 年 次        |               |             |                |
|--------------|---------------|-------------|----------------|
| 月数           | 26週<br>(6ヶ月)  | 4週<br>(1ヶ月) | 8週<br>(2ヶ月)    |
| ローテート<br>診療科 | 内 科<br>(一般外来) | 救 急         | 麻 酔<br>(4週は救急) |

| 2 年 次        |                          |  |
|--------------|--------------------------|--|
| 月数           | 4週<br>(1ヶ月)              | 42週<br>(10ヶ月)  |
| ローテート<br>診療科 | 地域医療<br>(在宅医療)<br>(一般外来) | 選択研修（各診療科の選択は組合せ自由）<br>※ただし、到達目標を達成できるよう診療科を選択する必要あり<br>※協力型臨床研修病院（0≦2ヶ月）：京都大学医学部附属病院、神戸大学医学部附属病院、神戸市立医療センター中央市民病院、県立尼崎総合医療センター、県立はりま姫路総合医療センター、加古川中央市民病院、八鹿病院 |

| 1 ～ 2 年 次    |             |             |             |             |
|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 月数           | 4週<br>(1ヶ月) | 4週<br>(1ヶ月) | 4週<br>(1ヶ月) | 4週<br>(1ヶ月) |
| ローテート<br>診療科 | 小児          | 精神          | 外科          | 産婦          |

| 1～2年次                |
|----------------------|
| 4週<br>(1ヶ月)          |
| 救急外来日当直<br>(Walk-in) |

- 内科、救急、麻酔科、小児科、精神科、外科、産婦人科、地域医療、一般外来および在宅医療を必修で経験する。
- 救急（必修12週）は、1年次の救急外来（4週）、麻酔科（4週）と2年間を通じて行う宿日直（月4回程度）のうち、1年次の救急研修と2年次の選択研修期間の宿日直を救急の並行研修とすることにより合計12週の研修とする。
- 一般外来は、総合診療科・地域医療（必修及び選択研修）の期間中に並行研修を行うことよって計4週の研修を行う。
- 地域医療は、日高医療センター、出石医療センター、朝来医療センター、村岡病院、香住病院または浜坂病院で行う。
- 全研修期間を通じて、感染対策（院内感染や性感染症等）、予防医療（予防接種等）、虐待への対応、社会復帰支援、緩和ケア、アドバンス・ケア・プランニング（ACP・人生会議）、臨床病理検討会（CPC）等、基本的な診療において必要な分野・領域等に関する研修を行う。
- 2023年度のプログラムから県立はりま姫路総合医療センターを協力型臨床研修病院として登録する予定です。
- ※プログラムの内容は、厚生労働省の審査等により変更する場合があります。病院ホームページで最新の情報をご確認ください。

## 選択研修科目

本研修プログラムでは、基幹型病院である豊岡病院のほかに、次の大学病院・協力型臨床研修病院と病院群を構成して臨床研修を行いますので、基幹型病院にはない診療科や高度先進医療を含めた専門性の高い研修も可能となっています。ただし、豊岡病院外での研修は最長2ヶ月までとし、研修管理委員会と協力型臨床研修病院の許可を受ける必要があります。



**公立豊岡病院** 総合診療科、内分泌・糖尿病内科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器科、循環器内科、精神科、小児科・新生児科、外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、呼吸器・心血管外科、脳神経外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、麻酔科、病理診断科、リハビリテーション科、救急集中治療科



**京都大学医学部附属病院** 血液内科、糖尿病・内分泌・栄養内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、免疫・膠原病内科、脳神経内科、腎臓内科、消化管外科、肝胆膵・移植外科、心血管外科、呼吸器外科、精神科神経科、小児科、産科婦人科、麻酔科／集中治療部、初期診療・救急科、眼科、皮膚科、泌尿器科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、整形外科、脳神経外科、乳腺外科、小児外科、放射線治療科、放射線診断科、NICU、ICU、病理診断科、脳卒中診療部、腫瘍内科、形成外科、検査部・感染制御部



**神戸大学医学部附属病院** 総合内科、循環器内科、腎臓内科、呼吸器内科、膠原病リウマチ内科、消化器内科、糖尿病・内分泌内科、脳神経内科、腫瘍・血液内科、血液内科、感染症内科、放射線科（放射線腫瘍科を含む）、小児科、皮膚科、精神科神経科、緩和支援治療科、食道胃腸外科、肝胆膵外科、乳腺内分泌外科、心血管外科、呼吸器外科、小児外科、整形外科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、泌尿器科、産科婦人科、形成外科（美容外科含む）、麻酔科、救命救急科、病理診断科、リハビリテーション科



**神戸市立医療センター中央市民病院** 循環器内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、脳神経内科、消化器内科、呼吸器内科、血液内科、感染症科、腫瘍内科、緩和ケア内科、総合内科、精神・神経科、外科・移植外科、乳腺外科、心血管外科、泌尿器科、脳神経外科、整形外科、形成外科、婦人科、呼吸器外科、眼科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、皮膚科、麻酔科、産科、小児科、新生児科、臨床病理科、放射線診断科、放射線治療科、中央手術部・集中治療部、救急救命センター・救急部、リハビリテーション科

**兵庫県立尼崎総合医療センター** ER総合診療科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、脳神経内科、血液・腫瘍内科、糖尿病・内分泌内科、漢方内科、膠原病リウマチ内科、消化器外科・外科、呼吸器外科、心血管外科、脳神経外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、皮膚科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科、眼科、麻酔科、小児科、小児外科、小児循環器内科、救急集中治療科、小児救急集中治療科、放射線科、病理診断科



**兵庫県立はりま姫路総合医療センター** 総合内科(内科)、循環器内科、腎臓内科、呼吸器内科、膠原病(リウマチ)科、消化器内科、糖尿病・内分泌内科、脳神経内科、腫瘍内科、血液内科、感染症内科、放射線診断科、放射線治療科、小児科、皮膚科、精神科、緩和ケア内科、外科、消化器外科、乳腺外科、心血管外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、泌尿器科、産婦人科、形成外科、麻酔科、救急科、病理診断科、リハビリテーション科



**加古川中央市民病院** 内科/総合内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、糖尿病・代謝内科、腫瘍・血液内科、リウマチ・膠原病内科、腎臓内科、脳神経内科、小児科、小児循環器内科、外科、消化器外科、乳腺外科、心血管外科、呼吸器外科、小児外科、整形外科、形成外科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、産婦人科、泌尿器科、脳神経外科、麻酔科、精神神経科、放射線診断科・IVR科、放射線治療科、病理診断科、救急科、リハビリテーション科



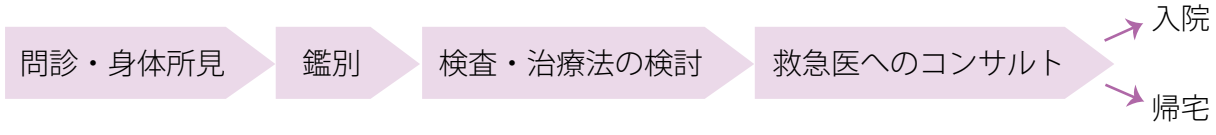
**公立八鹿病院** 内科・一般外来、外科、救急科・総合診療科、産婦人科、小児科、精神科、整形外科、麻酔科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、放射線科、緩和ケア科、眼科、脳神経内科



# 経験症例 I (当直 / 救急外来)



- ・ 帯状疱疹
  - ・ 頭部外傷
  - ・ 閉塞性黄疸
  - ・ 尿路感染症
  - ・ 意識消失
  - ・ 細菌性腸炎
  - ・ 群発性頭痛
  - ・ 小児肺炎
  - ・ 小児屈筋腱断裂
  - ・ 頻脈性不整脈
  - ・ 胆のう結石症
- など一晩 10 症例程度を経験



# 経験症例 II (ローテート期間)

内科をメインにローテートした K 研修医  
合計 177 症例

|  |    |
|--|----|
| その他の細菌性疾患  | 1  |
| 消化器の悪性新生物  | 12 |
| 呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物                                 | 10 |
| 女性生殖器の悪性新生物                                      | 1  |
| 部位不明確、続発部位及び部位不明の悪性新生物                           | 2  |
| 性状不詳または不明の新生物                                    | 2  |
| 甲状腺障害  | 2  |
| 糖尿病  | 7  |
| その他の内分泌腺障害                                       | 1  |
| その他の栄養欠乏症  | 1  |
| 代謝障害   | 2  |
| 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害                            | 1  |
| 気分 [感情] 障害                                       | 2  |
| 中枢神経系の炎症性疾患                                      | 1  |
| 主に中枢神経系を障害する系統萎縮症                                | 1  |
| 錐体外路障害及び異常運動                                     | 1  |
| 中枢神経系の脱髄疾患                                       | 1  |
| 挿入性及び発作性障害                                       | 3  |
| 多発 (性) ニューロパチ<シ>ー及びその他の末梢神経系の障害                  | 1  |
| 慢性リウマチ性心疾患                                       | 1  |
| 高血圧性疾患   | 1  |
| 虚血性心疾患   | 30 |
| 肺性心疾患及び肺循環疾患                                     | 2  |
| その他の型の心疾患  | 30 |
| 脳血管疾患  | 14 |
| 動脈、細動脈及び毛細血管の疾患                                  | 5  |
| 静脈、リンパ管及びリンパ節の疾患、他に分類されないもの                      | 1  |
| 循環器系のその他及び不明の障害                                  | 1  |
| インフルエンザ及び肺炎                                      | 1  |
| その他の急性下気道感染症                                     | 1  |
| 外的因子による肺疾患                                       | 3  |
| 主として間質を障害するその他の呼吸器疾患                             | 2  |
| 下気道の化膿性及び え<壊>死性病態                               | 2  |
| 他に分類される疾患における呼吸器障害                               | 1  |
| 口腔、唾液腺及び顎の疾患                                     | 1  |
| 食道、胃及び十二指腸の疾患                                    | 2  |
| 食道、胃及び十二指腸の疾患                                    | 1  |
| 胆のう<嚢>、胆管及び膵の障害                                  | 9  |
| 皮膚及び皮下組織の感染症                                     | 2  |
| 皮膚炎及び湿疹  | 1  |
| 腎尿管間質性疾患   | 1  |
| 腎不全  | 1  |
| 女性生殖器の非炎症性障害                                     | 1  |
| 主として妊娠に関連するその他の母体障害                              | 1  |
| 消化器系のその他の先天奇形                                    | 3  |
| 全身症状及び徴候   | 1  |
| 頭部損傷   | 2  |
| 胸部<郭>損傷  | 1  |
| 検査及び診査のための保健サービスの利用者                             | 2  |
| 家族歴、既往歴及び健康状態に影響を及ぼす特定の状態<br>に関連する健康障害をきたす恐れのある者 | 1  |

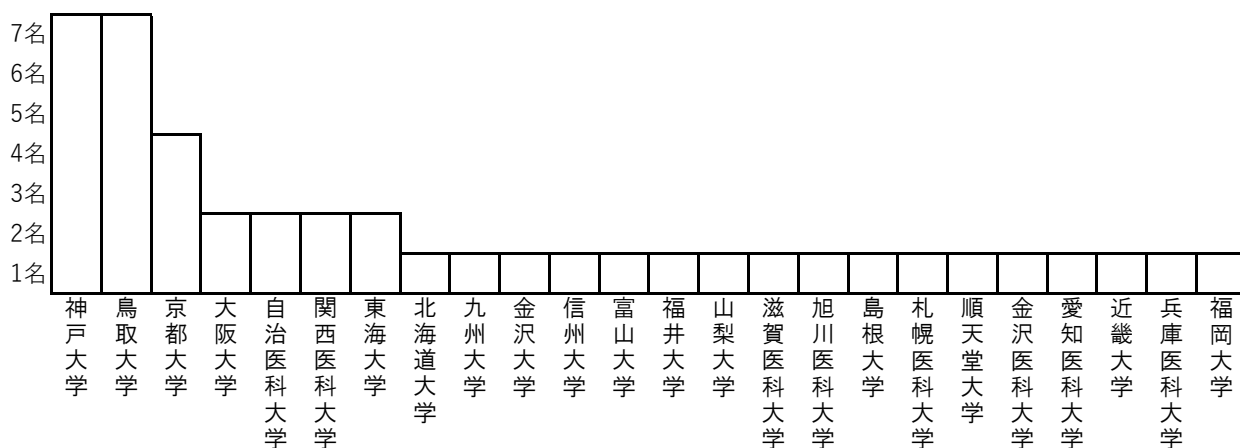
外科をメインにローテートした A 研修医  
合計 131 症例

|  |    |
|--|----|
| その他の細菌性疾患                                | 3  |
| その他のウイルス性疾患                              | 1  |
| 消化器の悪性新生物                                | 14 |
| 呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物                         | 7  |
| 部位不明確、続発部位及び部位不明の悪性新生物                   | 5  |
| リンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物、原発と記載された又は推定されたもの | 5  |
| 上皮内新生物                                   | 1  |
| 良性新生物                                    | 3  |
| 糖尿病                                      | 2  |
| 代謝障害                                     | 4  |
| 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害                    | 1  |
| 気分 [感情] 障害                               | 1  |
| 挿入性及び発作性障害                               | 1  |
| 神経、神経根及び神経そう<叢>の障害                       | 1  |
| 多発 (性) ニューロパチ<シ>ー及びその他の末梢神経系の障害          | 1  |
| 神経筋接合部及び筋の疾患                             | 1  |
| 神経系のその他の障害                               | 1  |
| 内耳疾患                                     | 1  |
| 高血圧性疾患                                   | 2  |
| 虚血性心疾患                                   | 1  |
| 肺性心疾患及び肺循環疾患                             | 2  |
| その他の型の心疾患                                | 6  |
| 脳血管疾患                                    | 13 |
| 動脈、細動脈及び毛細血管の疾患                          | 2  |
| インフルエンザ及び肺炎                              | 3  |
| その他の急性下気道感染症                             | 1  |
| 慢性下気道疾患                                  | 1  |
| 主として間質を障害するその他の呼吸器疾患                     | 2  |
| 食道、胃及び十二指腸の疾患                            | 4  |
| ヘルニア                                     | 4  |
| 腸のその他の疾患                                 | 7  |
| 肝疾患                                      | 1  |
| 胆のう<嚢>、胆管及び膵の障害                          | 9  |
| 皮膚及び皮下組織の感染症                             | 1  |
| じんま<疹>及び紅斑                               | 1  |
| 脊椎障害                                     | 1  |
| その他の骨障害                                  | 2  |
| 腎尿管間質性疾患                                 | 2  |
| 腎不全                                      | 1  |
| 泌尿系のその他の疾患                               | 1  |
| 男性生殖器の疾患                                 | 1  |
| 流産に終わった妊娠                                | 1  |
| 胎児及び羊膜腔に関連する母体ケア並びに予想される分娩の諸問題           | 3  |
| 分娩                                       | 2  |
| 認識、知覚、情緒状態及び行動に関する症状及び徴候                 | 1  |
| 全身症状及び徴候                                 | 1  |
| 頭部損傷                                     | 1  |
| 外科的及び内科的ケアの合併症、他に分類されないもの                | 1  |

※ 2 年間 (2019.4.1-2021.3.31) の研修で担当医となった症例のみを抽出 (退院サマリより)



# 研修医の出身大学



(2017～2021年度・たすきがけを含む)

# 研修医の進路

| 専門領域<br>臨床研修終了年 | 内科                | 小児科              | 皮膚科 | 精神科   | 外科          |
|-----------------|-------------------|------------------|-----|-------|-------------|
| 2018年3月         | 尼崎総合医療センター①       | 神戸大学①<br>兵庫医科大学① |     |       | 神戸大学①       |
| 2019年3月         | 京都大学①             |                  |     |       | 鳥取大学①       |
| 2020年3月         | 神戸大学②<br>大阪赤十字病院① |                  |     | 大阪大学① | 神戸市立中央市民病院① |
| 2021年3月         | 神戸大学①             | 神戸大学②            |     | 京都大学① | 神戸市立中央市民病院① |

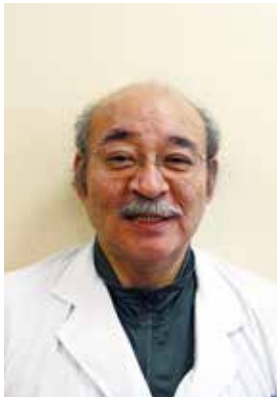
| 専門領域<br>臨床研修終了年 | 整形外科  | 産婦人科  | 眼科 | 耳鼻咽喉科      | 泌尿器科    |
|-----------------|-------|-------|----|------------|---------|
| 2018年3月         |       |       |    | 東京慈恵会医科大学① |         |
| 2019年3月         |       |       |    |            |         |
| 2020年3月         | 神戸大学② |       |    |            |         |
| 2021年3月         |       | 京都大学① |    |            | 兵庫医科大学① |

| 専門領域<br>臨床研修終了年 | 脳神経外科           | 放射線科 | 麻酔科         | 病理 | 臨床検査 |
|-----------------|-----------------|------|-------------|----|------|
| 2018年3月         |                 |      |             |    |      |
| 2019年3月         | 神戸大学①<br>名古屋大学① |      | 神戸市立中央市民病院① |    |      |
| 2020年3月         |                 |      |             |    |      |
| 2021年3月         |                 |      |             |    |      |

| 専門領域<br>臨床研修終了年 | 救急科     | 形成外科  | リハビリテーション科 | 総合診療               |
|-----------------|---------|-------|------------|--------------------|
| 2018年3月         | 公立豊岡病院① |       |            | 丹波医療センター①          |
| 2019年3月         |         |       |            | 丹波医療センター①<br>鳥取大学① |
| 2020年3月         |         | 新潟大学① |            | 丹波医療センター①          |
| 2021年3月         |         |       |            |                    |

○●病院/大学…基幹施設名  
①…登録者数

# プログラム責任者からのメッセージ



副院長・プログラム責任者  
那須 通寛

我が国では、高齢者人口の増加に対処すべく医療制度改革の速度が早められ、また社会からの要請に対して専門医の質を担保するために各学会とは独立した日本専門医機構主導の制度新設が進行しています。各制度はまだ確立したものでなく、不透明な部分を残しており、これらの流れは今後 10 年から 20 年ぐらいいは続いていくと考えられます。不確実な制度改革と社会の医療需要の変容の中で、医学生諸君は不安を感じながら将来の夢を描いていることと思います。私は医学部で基礎的な医学知識を獲得した後の初期研修 2 年間の目的は、臨床現場の中で医師としての適性の確認や将来の可能性の模索だと捉えています。

豊岡病院の研修では、各専門科、僻地連携病院での実習を通じ 130-200 症例を担当し、common disease の理解、臨床基本手技の習熟を行うことができます。過去の臨床研修医からのアンケートでは、回収できた 8 割弱の方達から将来目指したい医師と出会えたと答えられていますので、研修先病院として一考の価値はあると考えています。

## 豊岡病院の特徴

公立豊岡病院は、明治 4 年に開設されて以来、兵庫県北部（但馬地域）の中核病院として一般医療水準の向上を図るとともに、急性期医療・高度専門医療・救急医療・地域医療を担当する県下有数の病院として発展してきました。150年にわたって刻まれた歴史は、公立病院としては全国で2番目の古さを誇ります。

現在では、28診療科と併設施設（救命救急センター・認知症疾患医療センター・周産期医療センター）を中心に518床、医師数144名を擁する総合病院に成長しています。

また、当院は二次医療圏では唯一、集中治療や24時間体制の救急治療に対応できる、地域医療の『最後の砦』となっており、救急患者や紹介患者も多く、示唆に富む症例を多く経験することが可能です。

医師の出身大学は、京都大学、神戸大学、自治医科大学、鳥取大学、三重大学など、約30に及び、学閥にとらわれない診療科間の円滑な協力体制があることに加え、自由な意見交換ができる医局の環境があります。上級医やコメディカルとの距離も近いことから、研修を進めやすい環境が整っています。



公立豊岡病院組合立医療センター▽



日高医療センター



出石医療センター



朝来医療センター

# 指導医からのメッセージ

## 呼吸器内科 兼 総合診療科



部長・副プログラム責任者  
中治 仁志

今後の日本は高齢化社会が進展していくことが確実視されています。高齢化社会における医療の中で総合内科医の重要性が指摘されています。総合内科医の診療には各症例において多数の問題点・病態が存在するため、これらを整理した上で最も妥当な判断をする能力が求められます。

公立豊岡病院の総合診療科では一般内科初診症例のトリアージや common disease の診療に留まらず、各領域の専門医と連携をとりながら専門的な疾患の診断および先々の治療にまで行うことにより、各疾患や病態についての診断、治療について深く理解することができます。

特に総合診療科と呼吸器内科は共同で診療しており、肺炎をはじめとする一般的な疾患から悪性腫瘍などの専門的疾患の診断、治療を含めた全てを担うことによって内科医としての醍醐味を味わうことができます。当科では毎日入院症例のカンファレンスを行っています。カンファレンスは堅苦しくない自由な雰囲気の中で各症例に対しての議論ができる環境です。各指導医・研修医が様々な症例の経験や知識を共有することにより一緒に学び、成長していくことを目標としています。内科以外の診療科を希望する研修医にとっても総合診療科での研修は今後の診療に役立つ多くの知識と経験を得ることに繋がるものと考えています。是非豊岡病院で研修しましょう。

## 消化器科

消化器科は現在、スタッフ 5 名で診療業務を行っています。当院は病床数約 500、癌拠点病院、3次救急病院であり急性期から慢性期まで、また良性疾患から悪性疾患まで幅広く診療しています。

特筆すべきは消化管出血に対する緊急内視鏡的止血、総胆管結石に対する緊急 ERCP など緊急処置が多いことです。また悪性疾患に対しては早期胃癌、早期大腸癌に対する内視鏡的切除術、また手術不能進行癌に対しては緩和としての胆管ステント留置、消化管ステント留置など積極的に行っています。

研修医の先生にはこれらの患者さんの担当医になっていただき、指導医とともに治療にあたっていただいております。従いまして研修医の先生には第一助手として様々な処置に参加していただいております。スタッフが少ないこともあり研修医の先生は重要な戦力であり、決してお客さんや雑用係ではありません。処置に参加することで自分の患者さん、という意識が高まり患者さんとの人間関係構築にも寄与すると考えています。

また当科では研修医の先生に積極的に上部消化管内視鏡検査を行っていただいております。消化器研修の醍醐味は、内視鏡に触れることであると考えているからです。せっかく研修にきていただいた先生に見学だけで終わらせないように内視鏡モデルによるシュミレーション、次に実際の検査における内視鏡の抜去、そしていよいよ内視鏡の挿入、というように進めていき2カ月の研修終了時には普通に挿入から抜去まで出来るようになっていただいております（もちろん観察は2カ月ではまだまだです）。是非当科で消化器の面白さ、そして辛さも学んでください。



消化器科部長  
山田 貴裕

## 麻酔科



麻酔科部長  
正田 丈裕

当院の研修プログラムでは麻酔科研修が2ヵ月あります。このことに対して、これまで研修された研修医からは麻酔科の研修期間が2ヵ月は長いという意見もありました。しかし、「お客さん」ではなく麻酔科をしっかり研修するためには少なくとも2ヵ月は必要と考えています。実際、1ヶ月目でとりあえず麻酔とはどのようなものか全体像が分かってきます。2ヶ月目で指導医の指示のもとでASA1-2の患者の麻酔をかけることができるようになります。短期間の中途半端な研修をするよりも時間をかけてしっかりと研修をしたほうが有意義であると考えています。

麻酔科では他の科を回る前に習得すべき基本的な手技を習得できます。例えば静脈路確保は麻酔をかける前には絶対必要ですので毎日練習できますし、気管挿管も出来るようになります。また、昇圧剤の投与の仕方も習得できます。動脈ラインの確保も練習できます。救急科

を回っても緊急性が高く、ゆっくりと上級医から指導を受けられないことが多いと思います。麻酔科を回ることによって緊急時対応の基本的な事は習得できると思います。

当院の麻酔科の特徴は、心臓外科をはじめ多くの種類の手術の麻酔を行っている事、乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層の患者の麻酔を行っている事、緊急手術の麻酔が全体の約3割と緊急の割合が多いという事です。是非、豊岡病院で研修しましょう。

## 救急集中治療科

但馬救命救急センター Tajima Emergency & Critical Care Medical Center (TECCMC)

医師として何年働くか考えたことはありますか？概ね40年といったところでしょうか。医師という職業は毎日が勉強です。しかし、医師という職業を支える礎は最初の数年にかかっているといっても過言ではありません。また6年間医学部で勉強し医師国家試験合格した後、その知識を実践可能なものにしたくありませんか。

これらの目的を達成するには、ありとあらゆる患者、疾病・疾患を数多く診ることが手っ取り早く、確実な方略になります。もちろん専門的な知識、技術の修得も大切なことです。そして何よりも優秀で熱意ある指導医の存在が不可欠です。

TECCMCには救急科指導医・専門医、集中治療専門医、外傷専門医、外科指導医・専門医などを持ち、臨床研修指導医資格を有する20名を越える救急医が24時間、365日専属で勤務しています。救急医学、集中治療学を専門としている医師集団です。そして院内全科ON CALL制で、必要時はいつでもコンサルト可能です。初期研修医の日当直業務は救急医と共に救急外来、救命救急センター勤務を行い、主にはWALK IN患者のFirst Touchを行います。問診、身体所見から鑑別を行い、必要な検査、治療を考え、バックアップの救急医に必ずコンサルトを行い診療が完了します。さらに1-2ヶ月のTECCMC研修期間中は救急車対応、ICU管理も指導医と共に行います。2年間の研修実績を記録するEPOCは、毎年TECCMCでの経験内容で埋められています。

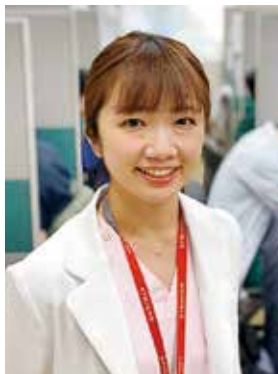
ドクターヘリ、ドクターカーでの患者集約化による豊富な症例と充実した指導体制を持つTECCMCおよび当院で医師人生の盤石な礎を築いて下さい。待ってます！！



但馬救命救急センター長  
救急集中治療科部長

永嶋 太

# 研修医からのメッセージ



河野 遥香 研修医

私は茨城県出身で、神奈川の大学を卒業しました。もともと初期研修先は研修医が治療の一線に立つことができる市中病院を考えており、そこにプライベートな事情が加わり豊岡病院を選びました。

当院は兵庫県北部を中心に広範囲をカバーする、地域の最後の砦とも言える病院です。どの診療科においてもcommon diseaseは充実しており、時に稀な症例も経験できます。また救急救命センターでの勤務はwalk in～救急車・ドクターヘリなどの救急搬送症例を、周産期医療センターでは、一般～ハイリスクなお産や新生児医療も研修することができます。

研修は決して楽ではありませんが、経験豊富な先生方が各々の研修医に合わせて指導して下さるおかげで、医師として必要なことを習得しつつも、無理の無いペースで研修できると感じています。特に2年目は柔軟にローテーションを組めるので、志望科がある人もそうでない人も有意義な研修ができると思います。

私にとって慣れない土地、関西弁、気候、さらにはCOVID-19の流行とこれまでと全く違った環境におかれ、初期研修スタート時は正直つらいこともありましたが、上級医の先生方、先輩方、病院スタッフからのご指導、仲良く切磋琢磨できる同期のおかげで、気付けば1年間はあっという間に過ぎていました。2年目になり、後輩ができたことで先輩としての意識も芽生え、日々の研修の質が変わったように思います。

但馬は、交通は不便で、都会のように遊べるところはありませんが、美味しい食材、雰囲気ばっちり美味しいカフェや居酒屋・ご飯屋さんがあります。ダイビング・釣り、自転車、スキー・スノーボード、キャンプなどのアウトドアレジャーを楽しめます。人も優しいです。初めての豊岡行きの電車から見た、山と川と田畑が延々続く風景に不安を覚えました…今ではほっとする場所になっています。医師の基本をしっかりと吸収しつつ、都会では味わえない体験ができる2年間になると思います。

私は幼稚園から小学3年生までの5年間を豊岡市で過ごしました。この度、ご縁がありまして、20年の時を経て、初期研修医の2年間で豊岡の地で過ごすことになりました。その頃のイメージは自然が多く、のどかな土地で、地域社会が密で周りの方々は温厚な人達が多いという印象でした。そのイメージは20年近く経っても変わらず、人柄の良い方々に囲まれた職場がそこにはありました。

高齢者も多く、病院を利用される方も沢山おられ、その中で豊岡病院は但馬地域で「最後の砦」として医療の中核を担っており、様々な疾患で来院されます。初期研修医として臨床研修していく中で、common diseaseを経験しながら主体的に動くことで経験を積むことができました。手技も様々な経験をさせてあげようという雰囲気が病院全体に根付いており、上級医の先生の手厚い指導の下でやらせていただく機会がたくさんあり、内科系志望・外科系志望を問わず幅広く研修経験を積むことができました。市中病院の良い部分がふんだんに詰まった病院だと感じています。

研修医の人数も1年と2年でそれぞれ10人弱なので、同期も仲が良く、先輩後輩でとても良好な関係が築けるのも魅力だと思います。

休日は新鮮な食材を楽しめる居酒屋や、実は最近増えつつあるお洒落なカフェに行ったり、有名な城崎温泉に行って気分転換をして月曜日を迎えることができます。今年はCOVID-19の影響もあり、機会はあまりなかったですが、夏はダイビングに行く先生や、冬は仕事終わりにスキーやスノーボードをする先生もおり、アウトドアレジャーも楽しむことができます。

医師として必要な能力を学べる環境が整っていることはもちろん、都会で過ごしてきた人にも感じて欲しい、人の温かみや地方の魅力も詰まった環境で、より良い初期研修を過ごせることは間違いありません。一度見学に来て魅力を存分に感じてください。



松本 知丈 研修医

# Q & A

**Q** 研修医宿舎はありますか？

**A** 病院の敷地内に研修医宿舎を設けています。希望者全員に提供が可能です。

**Q** オリエンテーションはありますか？

**A** 採用時に医療安全と事故防止、医療倫理、感染管理、インスリン製剤の取扱い・麻薬について、メンタルヘルス、保険診療・退院サマリー操作説明、処方入力説明、医療情報システム研修、EPOC 2 操作研修、臨床技術トレーニング（身体診察、縫合実習、末梢静脈血管へのアクセスとカテーテル管理）、輸液、輸液ポンプ・シリンジポンプの取扱い等の研修を実施しています。

**Q** ローテーションはいつ頃決定しますか？

**A** マッチング発表後（1 1 月頃）に希望診療科のアンケートを実施して、3 月中旬頃に決定しお知らせします。

**Q** ローテーションの変更は可能ですか？

**A** ローテーション変更前の診療科と変更後の診療科の了承があれば変更は可能です。（ただし、研修期間内に到達目標を達成できるように診療科を選択する必要があります。）

**Q** 豊岡病院にない診療科を回りたいのですが。

**A** 豊岡病院プログラムの2 年目選択研修科目では、京都大学、神戸大学、神戸市立医療センター中央市民病院、尼崎総合医療センター、はりま姫路総合医療センター、加古川中央市民病院、八鹿病院での研修が可能となっていますので、マイナー科を含めた豊富な選択肢が提供できます。（院外での研修は最長2 ヶ月までとします。）

**Q** 当直は何月頃から始まりますか？

**A** 4 月中頃から開始します。当直に慣れるまでは2 年目研修医とペアで当直を行うので安心です。

**Q** 勉強会・講演会・カンファレンスはありますか？

**A** 医療安全や感染管理研修、研修医セミナー（5 回/年）、県立尼崎総合医療センターとの合同Webカンファレンス（1 回/月）、救命救急センターが主催する実技講座（6 回/年）、救急勉強会（1 回/週）などが随時開催されています。

**Q** 研修に対する要望は聞いてもらえますか？

**A** 豊岡病院では毎月研修医ミーティングを開催して、研修医から研修全般の要望を聞き取り研修環境の改善に繋げています。



## 歯科医師臨床研修

### 基幹

- 公立豊岡病院歯科医師臨床研修プログラム

# プログラムの概要

## プログラム名称

公立豊岡病院歯科医師臨床研修プログラム

## 歯科口腔外科・矯正歯科の理念・特色

豊岡病院は、兵庫県豊岡市に位置する地域の中核となる総合病院です。

日常的な診療の中で比較的多いものは、智歯抜歯、歯根嚢包摘出、歯根端切除、全身的な既往のある方の抜歯、歯科治療、インプラント治療などで、地域の医療機関からの紹介に応えることを旨としています。周辺自治体と同様に豊岡市も高齢化が進みつつあることを背景に、悪性腫瘍の治療のために受診される方も一定数おられ、かつ増加傾向にあります。過去 10 年間におよそ 130 人程度の悪性腫瘍患者の受診があり、手術、化学療法などの治療を行っています。

また、地域柄、顎顔面領域の腫瘍性疾患について当科のカバーすべき医療圏は豊岡市のみならず、兵庫県北部から京都府北部、鳥取県の一部を含めた広大な領域となっています。

一方、豊岡市を含め北近畿一円には顎変形症、口唇口蓋裂などの保険矯正治療を行うことのできる医療機関が希有であり、歯科矯正から手術に至るまで一貫して行うことのできる唯一の施設でもあります。このような環境の中、当院では様々な外科的疾患を中心に歯列治療に至るまで幅広く経験を積むことが可能です。前期・後期臨床研修において、歯科で取り扱われる診療領域を幅広く学ぶことができる施設となっています。

## プログラム目標

本研修プログラムは、適切な指導体制の下、患者中心の全人的医療を理解し、歯科治療に関する基本的診療能力（態度、技能及び知識）を統合的に修練し、一口腔単位の総合診療を行える能力を習得する。

さらに、歯科医師としての人格をかん養し、将来専門とする分野にかかわらず、歯科医学及び歯科医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、生涯研修を行う基礎を養成する。

## 研修期間

|      |               |
|------|---------------|
| 研修年次 | 1年次           |
| 月数   | 52週<br>(12ヶ月) |
| 診療科  | 歯科口腔外科/矯正歯科   |

## 指導医・スタッフ

部長 田中 太邦  
出身 東北大学 H13  
東北大学歯学博士 H31

|    |  |
|----|--|
| 専門 | 顎変形症、口腔悪性腫瘍  |
| 認定 | 日本口腔科学会認定医、日本小児口腔科学会指導医、日本外傷歯学会認定医・評議員、産業歯科医、歯科医師臨床研修指導医 |

医員 西村 隆克  
出身 神奈川歯科大学 H27

|    |                       |
|----|-----------------------|
| 専門 | 歯科口腔外科全般              |
| 認定 | 日本口腔科学会認定医、日本口腔科学会認定医 |

専攻医 藤井 伸夫  
出身 朝日大学 H30

|    |          |
|----|----------|
| 専門 | 歯科口腔外科全般 |
|----|----------|

歯科医師 今井 琢己  
出身 大阪大学 H11  
大阪大学歯学博士 H15

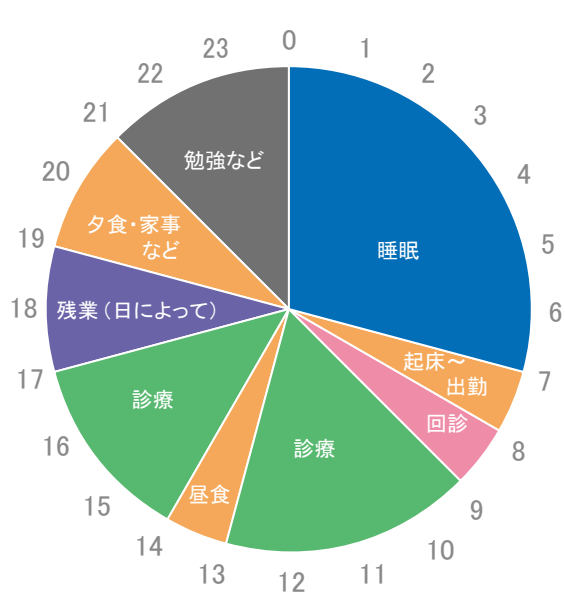
|    |               |
|----|---------------|
| 専門 | 歯科口腔外科全般、顎関節症 |
| 認定 | 歯科医師臨床研修指導医   |



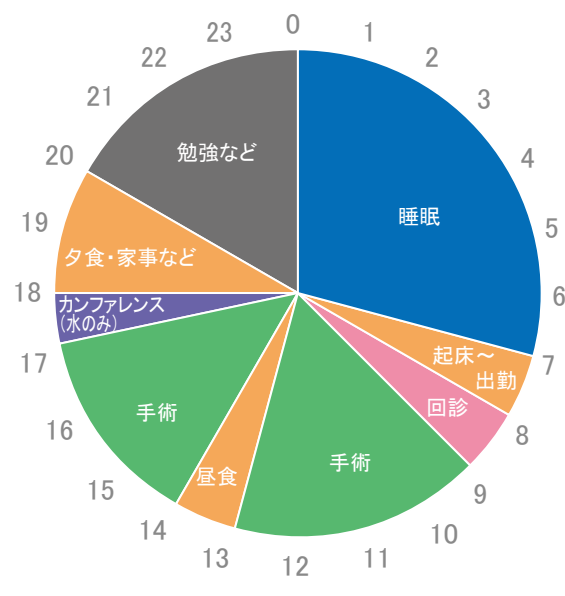
## 週間予定

|           | 月曜日   | 火曜日   | 水曜日     | 木曜日   | 金曜日   | 土曜日/日曜日 |
|-----------|-------|-------|---------|-------|-------|---------|
| 早朝        | 病棟回診  |       |         |       |       |         |
| 8:30~9:00 | 病棟処置  |       |         |       |       | 当番制     |
| 午前        | 初診・再診 | 初診・再診 | 手術・全麻   | 初診・再診 | 手術・全麻 |         |
| 午後        | 外科処置  | 外科処置  | 手術・全麻   | 外科処置  | 手術・全麻 |         |
| 時間外       |       |       | カンファレンス |       |       |         |

## 歯科研修医の1日



月・火・木



水・金

## 診療設備等

顎運動分析装置  
 歯科診療台 6台

## 診療実績

歯科口腔外科の臨床統計

|        | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 延入院患者数 | 1,698  | 1,941  | 1,876  | 1,953  | 1,229  |
| 延外来患者数 | 12,583 | 12,606 | 12,651 | 13,774 | 11,339 |
| 手術件数   | 227    | 273    | 251    | 266    | 162    |

(単位:人)

全身麻酔手術件数

| 確定術式       | 件数 | 確定術式      | 件数 |
|------------|----|-----------|----|
| インプラント一次手術 | 13 | 歯根嚢胞摘出手術  | 3  |
| デブリードマン    | 1  | 歯肉形成術     | 2  |
| う蝕処置       | 3  | 耳下腺悪性腫瘍手術 | 9  |
| 異物除去       | 3  | 自家骨移植術    | 2  |
| 下顎骨悪性腫瘍手術  | 4  | 上顎骨悪性腫瘍手術 | 1  |
| 下顎骨形成術     | 4  | 上顎骨形成術    | 2  |
| 下顎骨折靦血的整復術 | 5  | 上顎骨折靦血の手術 | 1  |
| 顎骨腫瘍摘出術    | 2  | 上顎洞根本手術   | 1  |
| 気管切開術      | 1  | 植皮術       | 1  |
| 頸部郭清術      | 8  | 舌悪性腫瘍手術   | 1  |
| 口蓋裂形成術     | 1  | 舌腫瘍摘出術    | 4  |
| 口蓋悪性腫瘍手術   | 1  | 抜歯手術      | 18 |
| 口腔底悪性腫瘍手術  | 1  | 抜歯手術(埋伏歯) | 72 |
| 口腔消炎手術     | 1  | 小帯形成術     | 2  |
| 口唇悪性腫瘍手術   | 1  | 頬粘膜悪性腫瘍手術 | 1  |
| 口唇腫瘍摘出術    | 2  | 遊離皮弁術     | 6  |
| 歯科治療       | 17 | 瘢痕拘縮形成術   | 1  |
| 歯根端切除術     | 1  | その他       | 7  |

(2020年度)

## 歯科研修医からのメッセージ

公立豊岡病院は、豊岡市のみならず京都府北部や兵庫県北部の医療を担う拠点病院であり多くの患者さんが紹介で来られます。紹介内容は悪性腫瘍、インプラント、顎変形症、口唇口蓋裂、骨折、既往歴のある方の抜歯や歯科処置など幅広く行っています。また、他の病院と大きく異なるのは矯正歯科も口腔外科に隣接しており、術前矯正から顎変形症の手術、術後矯正といった矯正歯科と口腔外科の連携があることです。

指導医の先生方は研修医の疑問にすぐに答えてくださり、知識・技術両面で成長できる環境が整っています。

日常会話からとても話しやすい雰囲気があり、オンとオフのはっきりした働き方にも刺激を受けます。

全身麻酔下の手術に関しては、実際に手術の介助に入って知識や手技を学びつつ、術前術後の病棟管理の仕方などを指導医のご指導のもと学ぶことができ、医師・看護師・作業療法士・言語聴覚士・理学療法士といった他職種との連携医療を経験することができます。

また、外来では抜歯などの小手術を指導医のご指導のもと、実際に多数経験することができます。その後のフィードバックなどもあり、1人の口腔外科医として必要な知識や技術を得ることもできます。

豊岡病院ではたくさんの疾患や症例、さらには知識や技術などだけではなく一人の人間として大きく成長できる環境が整っており、一年間で大きく成長できると思います。

歯科研修医 花井 伶・高橋 亮輔

# Q & A

**Q** 研修医宿舎はありますか？

**A** 病院の敷地内に研修医宿舎を設けています。希望者全員に提供が可能です。(ただし、研修医宿舎の利用状況によっては敷地外の宿舎を提供する場合があります。)

**Q** オリエンテーションはありますか？

**A** 採用時に医療安全と事故防止、医療倫理、感染管理、インスリン 製剤の取扱い・麻薬について、メンタルヘルス、保険診療・退院サマリー操作説明、処方入力説明、医療情報システム研修、臨床技術トレーニング(身体診察、縫合実習、末梢静脈血管へのアクセスとカテーテル管理)、輸液、輸液ポンプ・シリンジポンプの取扱い等の研修を実施しています。

**Q** 勉強会・研修会はありますか？

**A** (1) 症例検討会 1週間に1回開催  
(2) 緩和ケア研修会 厚生労働省健康局長より修了証書が交付される研修会  
(3) 地域歯科医師会例会・講習会などに参加できます。

**Q** 歯科研修医の出身大学を教えてください

**A** 過去5年間で徳島大学1名、大阪歯科大学2名、日本大学2名、松本歯科大学1名、奥羽大学1名の採用実績があります。



## プログラム・資料に関する問い合わせ先

**TEL** 0796-22-6111(代表)

**FAX** 0796-22-0170

**e-mail** kensyucenter@toyookahp-kumiai.or.jp

**website** <http://www.toyookahp-kumiai.or.jp/toyooka/>

〒668-8501 兵庫県豊岡市戸牧1094 公立豊岡病院組合 医師育成・研修支援センター

# 学会認定施設

日本口腔外科学会専門医制度認定准研修施設

日本小児口腔外科学会認定医制度研修施設

歯科臨床研修

## 後期研修で経験できる診療・技術

口腔外科疾患全般の診断から治療に至るまで下記参照。

- ・顎顔面領域（口腔、顎骨、唾液腺）疾患全般に対する検査と外科的治療を主に行っている。口腔癌に関しては、手術療法を主体とし、進展例には拡大手術と再建手術を施行している。手術不能例や術後の補助療法の側面から化学療法、放射線化学療法を行っている。
- ・顎関節症に対してはスプリント療法、開口訓練等のリハビリ、さらに内視鏡手術など施行している。習慣性顎関節脱臼あるいは陳旧性顎関節脱臼に対しては、外科的療法を応用している。
- ・顎変形症に対して指定自立支援医療機関の指定を受けているので保険適応にて歯列矯正治療が可能である。また歯科口腔外科併設であるため矯正治療に必要な下顎骨移動術、上顎骨移動術などの手術を同じ施設内で一貫して行うことができる。
- ・口唇口蓋裂に対しては、Hotz床の作製、口唇形成術、その後の口蓋形成術、顎裂部骨移植、歯列矯正、顎矯正に至るまで一貫して行うことができる。また特定の疾患に由来する不整咬合の治療についても同様に保険適応による歯列矯正が可能である。
- ・デンタルインプラントは、ノーベルバイオケア、アストラテックの各インプラントシステムを用いて、様々な歯牙欠損症例に対応している。また、腫瘍などの疾患の治療に伴う顎骨欠損に対して保険適応でのインプラントを用いた顎補綴を行っている。
- ・難治性の顎顔面領域の神経痛に対して電気神経ブロック療法を行っている。
- ・脳神経内科、呼吸器内科からの依頼で、睡眠時無呼吸症候群に対するスリープスプリント（オーラルアプライアンス）を作成し、効果をあげている。





## 基本領域 内科専門研修

### 基幹

- 公立豊岡病院内科専門研修プログラム

### 連携

- 京都大学医学部附属病院内科専門医研修プログラム
- 神戸大学医学部附属病院内科専門研修プログラム
- 兵庫医科大学病院内科専門研修プログラム
- 北野病院内科専門研修プログラム
- 神戸中央市民病院内科専門研修プログラム
- 兵庫県立尼崎総合医療センター内科専門研修プログラム
- 兵庫県立はりま姫路総合医療センター内科専門研修プログラム
- 神鋼記念病院内科専門研修プログラム
- 医療法人川崎病院新専門医制度内科領域プログラム
- 大阪市立総合医療センター内科プログラム
- 済生会兵庫県病院内科専門研修プログラム

# 総合診療科

## 1. 総合診療科の理念・特色

- ・日本版 Hospitalist を目指す。
- ・全人的医療マインドを持った医師を目指す。
- ・国民が真に必要としている医師を育成する。

公立豊岡病院は兵庫県北部(但馬地方)の基幹病院であり、その医療圏は但馬地方のみならず、京都府北部(丹後地方)にも及んでいる。他院からの紹介患者、救急患者も多く、様々な症例を多く経験することができる環境に恵まれている。総合診療科の患者は複数の疾患を合併していることが多く、様々な社会的背景も持っており、そのような症例を経験することで、患者を全人的にとらえ、広い視野を持った医師になることを目指している。また、エビデンスを重視した診療を心がけ、屋根瓦方式のグループ診療を行い、診療の質の向上に努めている。院内では各専門科と相談しつつ多種多様な疾患に対応し、単独の専門科では対処できない患者のマネージメントを行っているが、開業医や地域の病院との密な連携を重視し、将来の地域医療の担い手の育成、真の総合内科専門医の養成を目指している。

## 2. 目標・プログラム

### ア. 目標とする医師像

全人的医療マインドを持った医師

### イ. 経験できる診療、技術

初診外来では、検診で指摘された異常への対処、原因不明の発熱や様々な主訴を持つ患者、各専門診療科に割り振りできない患者等の診療を行い、再診外来では入院時の受け持ち症例の退院後の診療等を行っている。

入院診療では、肺炎、尿路感染症、蜂窩織炎、感染性心内膜炎、化膿性脊椎炎、髄膜炎等の感染症、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫等の血液疾患の化学療法、気胸、膿胸、間質性肺炎、肺癌等の呼吸器疾患、糖尿病患者の血糖コントロールなどを主に行っている。

また、敗血症性ショック等のICU管理が必要な重症患者も、救急集中治療科と協力して診療に当たっている。

上記の疾患以外にも希望する内科各専門科(脳神経内科、消化器科、循環器内科、呼吸器内科、内分泌・糖尿病内科)を希望する期間ロテーションして各専門科の症例を経験することで、より幅広く様々な症例を経験できるように配慮している。

## 3. 週間予定

|     | 月曜日               | 火曜日     | 水曜日            | 木曜日                          | 金曜日              | 土曜日/日曜日                           |  |
|-----|-------------------|---------|----------------|------------------------------|------------------|-----------------------------------|--|
| 早朝  | 新入院、入院予定症例カンファレンス |         |                |                              |                  |                                   |  |
| 午前  | 初診、再診外来           | 初診、再診外来 | 初診、再診外来        | 初診外来                         | 初診、再診外来          | 病棟当番<br>休日救急入院<br>当番<br>講習会<br>学会 |  |
|     | 入院患者診療            | 入院患者診療  | 入院患者診療         | 入院患者診療                       | 入院患者診療           |                                   |  |
| 午後  | 予約外来              | 予約外来    | 予約外来           | 病棟回診                         | 予約外来             |                                   |  |
|     | 入院症例<br>総カンファレンス  |         | ★病棟<br>カンファレンス |                              | 入院症例<br>総カンファレンス |                                   |  |
| 時間外 | ★内科系合同<br>カンファレンス |         |                | 病棟担当症例への対応、夜間時間外オンコール、救急外来当直 |                  |                                   |  |

★病棟カンファレンスは看護師、薬剤師、MSWとのカンファレンスで、退院調整や今後の方針確認を行う。

#### 4. 指導医・スタッフ

病院長補佐 **恒成 徹** (つねなり とおる)

出身 神戸大学 S54

神戸大学医学博士 H3

|    |   |
|----|---|
| 専門 | 内分泌代謝   |
| 認定 | 日本内科学会総合内科専門医,日本医師会認定産業医,日本内分泌学会内分泌代謝科専門医,日本プライマリ・ケア連合学会認定暫定指導医,臨床研修指導医 |

医長 **迫 健太郎** (さこ けんたろう)

出身 兵庫医科大学 H26

|    |             |
|----|-------------|
| 専門 | 内科一般        |
| 認定 | 日本内科学会認定内科医 |

医員 **湯村 香子** (ゆむら かうこ)

出身 自治医科大学 H31

|    |      |
|----|------|
| 専門 | 総合診療 |
|----|------|

部長 **岸本 一郎** (かしもと いちろう)

出身 京都大学 S63

京都大学医学博士 H6

|    |  |
|----|--|
| 専門 | 糖尿病,内分泌,高血圧  |
| 認定 | 日本糖尿病学会専門医・指導医・評議員,日本内科学会総合内科専門医・指導医・近畿支部評議員,日本高血圧学会専門医・指導医・評議員,日本内分泌学会評議員,日本肥満学会評議員,日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医,日本循環器学会専門医,京都大学医学部講師(非常勤),総合診療特任指導医,臨床研修指導医 |

医員 **杉本 和真** (すぎもと かずま)

出身 神戸大学 H30

|    |      |
|----|------|
| 専門 | 内科一般 |
|----|------|

医員 **古畑 博史** (こばた ひろし)

出身 兵庫医科大学 H31

|    |      |
|----|------|
| 専門 | 内科一般 |
|----|------|

部長 **中治 仁志** (なかじ ひとし)

出身 京都府立医科大学 H15

京都大学医学博士 H25

|    |  |
|----|--|
| 専門 | 呼吸器一般,気管支喘息,慢性咳嗽   |
| 認定 | 日本内科学会総合内科専門医,日本呼吸器学会専門医・指導医,日本アレルギー学会専門医,日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医,日本結核・非結核性抗酸菌症学会結核・抗酸菌症認定医,日本医師会認定産業医,臨床研修指導医 |

医員 **高田 京加** (たかた きょうか)

出身 自治医科大学 H30

|    |      |
|----|------|
| 専門 | 総合診療 |
|----|------|

指導医 **隈部 綾子** (くまべ あやこ)

出身 熊本大学 H20

|    |  |
|----|--|
| 専門 | 内科一般   |
| 認定 | 日本内科学会総合内科専門医,日本感染症学会専門医,日本化学療法学会学会抗菌化学療法認定医,ICD制度協議会認定医,総合診療特任指導医,臨床研修指導医 |

医員 **板垣 実幸** (いたがき さねゆき)

出身 神戸大学 H30

|    |      |
|----|------|
| 専門 | 内科一般 |
|----|------|

#### 5. 診療実績

入院症例

|                  | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|------------------|--------|--------|--------|--------|
| 敗血症              | 12     | 19     | 13     | 20     |
| 菌血症              | 24     | 16     | 33     | 17     |
| 肺癌               | 8      | 50     | 58     | 33     |
| びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫 | 34     | 32     | 15     | 18     |
| 心不全              | 26     | 19     | 19     | 25     |
| 肺炎               | 80     | 111    | 109    | 40     |
| 慢性閉塞性肺疾患         | 21     | 17     | 24     | 6      |
| 誤嚥性肺炎            | 55     | 33     | 53     | 43     |
| 間質性肺炎            | 20     | 8      | 19     | 11     |
| 気胸               | 20     | 23     | 30     | 27     |
| 急性腎盂腎炎           | 15     | 31     | 31     | 42     |
| 尿路感染症            | 17     | 28     | 31     | 13     |
| その他              | 426    | 398    | 396    | 343    |
| 合計               | 758    | 785    | 831    | 638    |

#### 6. 学会認定施設

日本内科学会教育関連施設

## 循環器内科

### 1. 循環器内科の理念・特色

当院の循環器内科は但馬地域の循環器疾患診療の拠点として、急性冠症候群、重症心不全などの救急疾患に重点をおいた診療を行っており、地域の重症患者が多数集まってくる。急性疾患や重篤な患者に対しては、救急科と連携して迅速な初期対応を行っている。虚血性心疾患、不整脈、心不全などの循環器疾患に対し、非侵襲的検査にて十分に評価を行った後に必要があれば侵襲的検査を行い的確な診断・治療を行いたいと考えている。外科的治療が考慮される患者については心臓血管外科医と協力し合い適切な時期によりよい治療が受けられるよう協力して管理を行っている。また、急性心筋梗塞、急性心不全などで入院した患者の慢性期の予後改善を目指した心臓リハビリテーションにも多職種で協力して積極的に取り組んでいる。

研修医や若手循環器内科医の教育に関しては、循環器疾患全般の診断・治療や救急対応などの能力が確実に習得出来るようにスタッフ一同協力してあためており、よりよい研鑽が得られるように環境整備に努めたいと考えている。

### 2. 目標・プログラム

#### ア. 目標とする医師像

数多くの循環器疾患の診断と治療を経験して、循環器疾患への専門的知識と治療手技を習得し、日本循環器学会認定循環器専門医の習得を目指す。積極的に学会発表を行い、論文作成を行える実力の養成を目指す。

#### イ. 経験できる診療、技術

但馬地域の中核病院であり、急性冠症候群を含めた救急疾患だけでなく、幅広い循環器疾患症例を研修することができる。心臓カテーテル検査手技を習得後、急性冠症候群のカテーテル治療を習得し毎日の救急対応に努めている。その他希望により、末梢血管治療、ペースメーカー手術、経食道心エコー等の得意分野の習得を行っている。





### 3. 週間予定

|     | 月曜日                 | 火曜日                              | 水曜日  | 木曜日   | 金曜日                     | 土曜日/日曜日 |
|-----|---------------------|----------------------------------|--|---|-------------------------|---------|
| 早朝  | 8:15~8:45 カンファレンス   |                                  |  |   |                         |         |
| 午前  | 9:00~12:00<br>心筋シンチ | 9:00~<br>アンギオ                    | 9:00~11:00<br>ペースメーカー手術<br>9:00~12:00<br>心筋シンチ | 9:00~<br>アンギオ                                     | 9:00~11:00<br>経食道心エコー   |         |
| 午後  |                     | アンギオ                             |  | アンギオ  | 13:00~16:00<br>トレッドミル負荷 |         |
| 時間外 |                     | 17:30~18:30<br>心臓リハビリ<br>カンファレンス | 18:00~19:00<br>内科カンファレンス                       | 17:15~18:15<br>呼吸器・心臓血管外科<br>との合同カンファ<br>レンス(月1回) |                         |         |

### 4. 指導医・スタッフ

|                                     |                                    |                                      |                                     |
|-------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|
| 部長 <small>いしだ あきひこ</small><br>石田 明彦 | 医長 <small>やまべ けんじ</small><br>山邊 健司 | 医長 <small>いし い としみつ</small><br>石井 俊光 | 医長 <small>やまもと てつや</small><br>山本 哲也 |
| 出身 神戸大学 H8                          | 出身 三重大学 H8                         | 出身 自治医科大学 H22                        | 出身 自治医科大学 H25                       |
| 神戸大学医学博士 H16                        |                                    |                                      |                                     |

|    |                           |    |   |    |             |    |             |
|----|---------------------------|----|---|----|-------------|----|-------------|
| 専門 | 循環器一般、不整脈、心臓CT            | 専門 | 循環器内科学、心臓リハビリ   | 専門 | 循環器一般       | 専門 | 循環器一般       |
| 認定 | 日本循環器病学会専門医、日本内科学会総合内科専門医 | 認定 | 日本循環器病学会専門医、日本内科学会認定医制度研修医指導医、日本内科学会認定総合内科専門医、臨床研修指導医、日本心臓リハビリテーション学会心臓リハビリテーション指導士 | 認定 | 日本内科学会認定内科医 | 認定 | 日本内科学会認定内科医 |

### 5. 診療設備

- ・ 心臓超音波装置 フィリップスジャパン EPIQ7
- ・ 心臓リハビリ室: 自転車エルゴメーター
- ・ 血管造影装置 フィリップスジャパン Azurion7 B12/12
- ・ 血管内超音波装置(IVUS) フィリップスジャパン S5 IVUS イメージングシステム
- ・ 320列マルチスライスCT キヤノンメディカルシステムズ Aquilion One Vision EDITION
- ・ 1.5T 心臓MRI フィリップスジャパン Ingenia1.5
- ・ 心筋シンチ(QGSシステム) 東芝メディカルシステムズ CAM Signature
- ・ 大動脈内バルーンポンプ(IABP) メラ コラートBP21
- ・ 経皮的心肺補助装置(PCPS) テルモ キャピオックス NEO



## 6. 診療実績(年間)

### ペースメーカー手術件数

|            | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| ペースメーカー移植術 | 34    | 33    | 29    | 36    | 45    |
| ペースメーカー交換術 | 14    | 7     | 12    | 8     | 13    |

### 心臓カテーテル検査件数

|               | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 |
|---------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 心臓カテーテル検査     | 361   | 285   | 234   | 311   | 332   |
| 経皮的冠動脈形成術     | 186   | 162   | 149   | 220   | 298   |
| 経皮的冠動脈ステント留置術 | 150   | 136   | 123   | 144   | 197   |

冠動脈形成術のうち緊急冠動脈形成術 約 100 件

2015 年より心臓リハビリテーションの設備を充実させ、施設基準をクリアし保険診療を開始している。

## 7. 学会認定施設

日本循環器学会専門医研修施設



## 呼吸器内科

### 1. 呼吸器内科の理念・特色

- 豊岡病院呼吸器内科は兵庫県北部、京都府北部地域における呼吸器診療を担っており、肺癌や間質性肺炎をはじめとする呼吸器専門疾患が地域の医療機関から多数紹介されてきている。新型コロナウイルスの流行下においても初診症例はほとんど減少していない。
- 呼吸器内科の診療範囲は非常に広く、肺炎のように一般内科領域に近い疾患が多数存在する。当院では総合診療科と協力して診療しており、診療業務の負担の軽減だけでなく、呼吸器専門疾患以外の内科疾患も経験することが可能である。近年重要視されている Generalist としての臨床能力も向上させることができる環境である。
- 近年呼吸器内視鏡技術の進歩はめざましく、今後呼吸器内科専門医を目指す医師にとってこれらの経験は不可欠である。当院では EBUS-GS、EBUS-TBNA やクライオバイオプシー、EWS による気管支充填術や局所麻酔下胸腔鏡を用いた内視鏡手技などを導入しており積極的に施行している。

### 2. 目標・プログラム

#### ア. 主な研修目標

- ・ 入院症例だけでなく初診を含めた外来も早期から担当する。
- ・ 胸部単純X線と胸部CTの画像診断
- ・ 胸水試験穿刺や気胸・胸水の胸腔ドレナージ
- ・ 肺癌の診断、治療計画を立てインフォームドコンセント
- ・ びまん性肺疾患の診断、方針を立てインフォームドコンセント
- ・ 肺炎・COPD 気管支喘息の入院と外来の管理
- ・ 気管支鏡及び超音波気管支内視鏡・局所麻酔下胸腔鏡を術者として行う
- ・ 積極的に学会発表を行う

#### イ. 研修内容

呼吸器外来: 初診外来毎週 1 回、再診外来毎週 1 回

気管支鏡検査: 肺癌に対する生検(EBUS-GS 含む)、EBUS-TBNA、BAL/TBLB、クライオバイオプシー、局所麻酔下胸腔鏡

学会発表: 症例報告以外にも臨床データ解析を行い学術集会へ発表する

当院研修後の進路: 当院に残留、もしくは京都大学呼吸器内科関連の病院などへの進路を相談

### 3. 週間予定

|     | 月曜日                          | 火曜日                       | 水曜日                       | 木曜日                      | 金曜日                           | 土・日曜日/祝日                              |
|-----|------------------------------|---------------------------|---------------------------|--------------------------|-------------------------------|---------------------------------------|
| 早朝  | 8:30～ 朝カンファレンス               |                           |                           |                          |                               |                                       |
| 午前  | 入院患者診療<br>救急外来オンコール          | 初診外来                      | 呼吸器内視鏡担当                  | 再診外来                     | 呼吸器内視鏡担当                      | フリー<br>もしくは<br>病棟当番<br>もしくは<br>救急入院当番 |
| 午後  |                              | 入院患者診療                    | 入院患者診療                    | 入院患者診療                   | 入院患者診療                        |                                       |
|     |                              | 16:00～<br>入院症例<br>カンファレンス | 16:00～<br>外来症例<br>カンファレンス | 16:00～<br>内科系<br>カンファレンス | 16:30～<br>呼吸器内科・外科<br>カンファレンス |                                       |
| 時間外 | 病棟担当症例への対応、夜間時間外オンコール、救急外来当直 |                           |                           |                          |                               |                                       |

☆内科系合同カンファレンスは初期研修医からの症例発表、研修医向けのレクチャーを指導医の監督にて行う

※時間外のオンコールは内科もしくは総合診療科の当番となり、救急外来からの入院について初期診療及び主治医として対応する

※週間予定の一例です



#### 4. 指導医・スタッフ

|              |  |    |                                |
|--------------|--|----|--------------------------------|
| 部長           | 中治 仁志  | 医長 | 三好 琴子                          |
| 出身           | 京都府立医科大学 H15   | 出身 | 神戸大学 H26                       |
| 京都大学医学博士 H25 |  |    |                                |
| 専門           | 呼吸器一般,気管支喘息,呼吸器内視鏡   | 専門 | 呼吸器一般                          |
| 認定           | 日本内科学会総合内科専門医,日本呼吸器学会専門医・指導医,日本アレルギー学会専門医,日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医,日本結核・非結核性抗酸菌症学会結核・抗酸菌症認定医,日本医師会認定産業医,臨床研修指導医 | 認定 | 日本内科学会内科認定医,日本呼吸器学会専門医,臨床研修指導医 |

#### 5. 診療設備

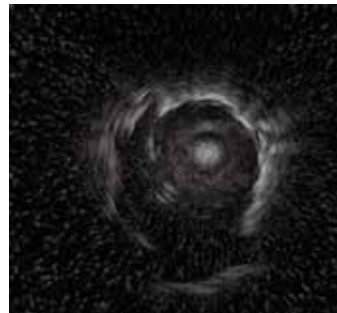
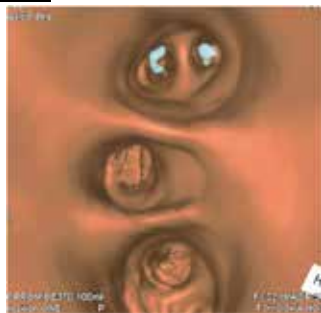
##### 呼吸器内視鏡

通常の気管支内視鏡の他、EBUS-GS、EBUS-TBNA、クライオバイオプシー、EWS による気管支充填術、局所麻酔下胸腔鏡検査を導入済み。気管支鏡検査においては事前に撮影した胸部 CT の画像データから仮想気管支鏡を作成し、EBUS-GS と併用することで病変部位の速やかな同定を試みている。検査は主に外来で施行しているが、前投薬に静脈麻酔などを用い検査中の患者の苦痛の緩和を試みている。局所麻酔下胸腔鏡は胸膜病変の診断以外に膿胸の隔壁搔爬にも用いている。

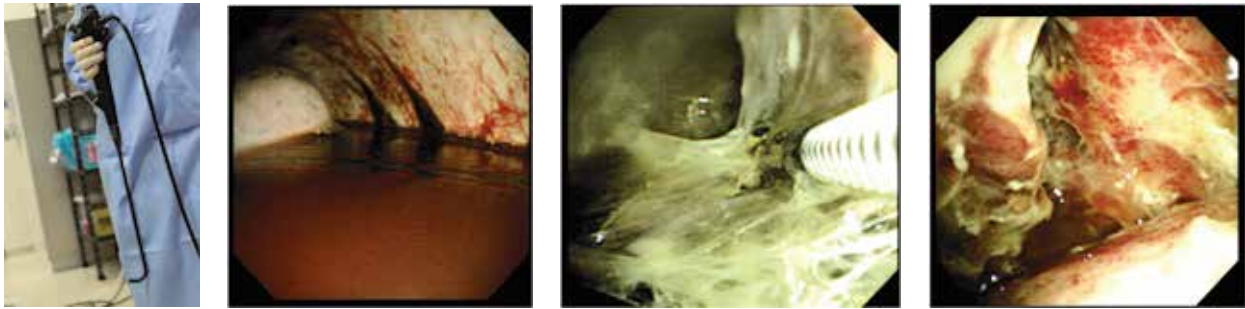
仮想気管支鏡・EBUS-GS 使用した TBLB



EBUS-TBNA



局所麻酔下胸腔鏡



EWSによる気管支充填術



## 6. 診療実績

| 外来初診      | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 腫瘍        | 137    | 184    | 182    | 189    | 178    |
| びまん性肺疾患   | 52     | 40     | 36     | 45     | 49     |
| 喘息/COPD   | 59     | 87     | 53     | 42     | 48     |
| 感染症(抗酸菌含) | 51     | 58     | 87     | 91     | 62     |
| その他       | 89     | 127    | 120    | 108    | 109    |

| 呼吸器内視鏡    | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 内視鏡総数     | 163    | 188    | 188    | 185    | 190    |
| EBUS-TBNA | 34     | 25     | 25     | 27     | 37     |
| EBUS-GS   | 74     | 77     | 83     | 68     | 62     |
| EWS       | 3      | -      | 2      | 3      | 5      |
| 局所麻酔下胸腔鏡  | 8      | 7      | 11     | 11     | 16     |

## 7. 学会認定施設

日本内科学会教育関連施設

日本呼吸器学会認定施設

日本アレルギー学会準認定施設

日本呼吸器内視鏡学会関連認定施設

# 消化器科

## 1. 消化器科の理念・特色

消化器科は消化器疾患全般の診療にあたるとともに、但馬地域の癌拠点病院として、消化管・肝・胆・膵領域の様々な悪性疾患の診断・治療を行っている。また、但馬唯一の3次救急病院として、緊急疾患に対し24時間対応を行っている。

現在、スタッフは5名と少数であり、非常に激務ではあるが、全人的医療を目標に、科内および他科との連携をとりながら診療に当たっている。スタッフが少数であるが故に、必然的に受け持ち症例・処置症例は多くなり、そして関係する処置はとにかくやっていただくスタンスで指導に当たっている。

### 消化管

診断においては、NBI拡大内視鏡を頻用し、適応があれば積極的にESDを行っている。また緊急疾患としては、消化管出血に対する止血術、また手術不能消化管癌に対する消化管ステント留置を行い、患者様のQOL向上に努めている。

### 胆・膵

総胆管結石による胆管炎に対する緊急例が多い。また悪性疾患の診断、閉塞性黄疸に対する胆道ドレナージも積極的に行い、手術不能例に対してはステント留置、経乳頭的処置不能の場合はPTCDやEUSを用いた、ドレナージを積極的に行っている。

### 化学療法

あらゆる消化器悪性疾患の化学療法を行っている。

### 栄養療法

消化器科医師がNST委員長を務め、病院全体の栄養管理に関わっている。

## 2. 目標・プログラム

通常10～15名の入院患者を受け持ち全身管理、診断、治療を行う。診断に必要な検査および治療は主体的に行っていただく。特に治療に関しては、病気だけをみるのではなく、社会的背景なども加味し、全人的に方針を判断出来る能力を身に付けることを目標としている。

また、救急対応能力を身に付けるため、月に週1～2回程度のオンコールを上級医とともに行っていただく。

## 3. 週間予定

|     | 月曜日           | 火曜日           | 水曜日         | 木曜日        | 金曜日           | 土曜日/日曜日 |
|-----|---------------|---------------|-------------|------------|---------------|---------|
| 早朝  | 消化器カンファレンス    |               |             |            |               |         |
| 午前  | 上部消化管内視鏡検査    | 入院患者診療        | 外来初診        | 上部消化管内視鏡検査 | 外来再診          |         |
| 午後  | 下部消化管・胆膵内視鏡検査 | 下部消化管・胆膵内視鏡検査 |             | 入院診療       | 下部消化管・胆膵内視鏡検査 | 入院診療    |
| 時間外 |               | 消化器勉強会        | 内科合同カンファレンス |            |               |         |

## 4. 指導医・スタッフ

| 部長 | 山田 貴裕   | 医長 | 竹中 淳雄         | 医長 | 原田 威徳      | 医長 | 宮垣 亜紀                                   |
|----|---|----|---------------|----|------------|----|---|
| 出身 | 兵庫医科大学 H4                                       | 出身 | 近畿大学 H8       | 出身 | 近畿大学 H22   | 出身 | 島根大学 H23                                |
| 専門 | 消化管及び胆・膵領域、外科一般                                 | 専門 | 消化器一般、内科一般    | 専門 | 消化器一般、内科一般 | 専門 | 消化器一般                                   |
| 認定 | 日本消化器外科学会認定医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本静脈経腸栄養学会TNT臨床研修指導医 | 認定 | 日本静脈経腸栄養学会TNT | 認定 | 日本内科学会認定医  | 認定 | 日本内科学会総合内科専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本消化器病学会専門医 |

|    |         |
|----|---------|
| 医長 | 栗林 豊    |
| 出身 | 東北大学 H9 |
| 専門 | 消化器一般   |

## 5. 診療実績

(4月1日～3月31日)

|                           | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|---------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 上部消化管内視鏡検査(治療含む)          | 2,688  | 2,875  | 3,264  | 3,345  | 2,983  |
| 下部消化管内視鏡検査(治療含む)          | 1,780  | 1,892  | 1,957  | 1,987  | 1,678  |
| 膵胆道系内視鏡検査(治療含む)           | 212    | 242    | 270    | 270    | 334    |
| EUS(観察のみ)                 |        |        | 41     | 51     | 74     |
| EUS-FNA                   |        |        | 27     | 48     | 53     |
| カプセル内視鏡検査                 | 15     | 9      | 10     | 13     | 16     |
| 内視鏡的粘膜切除術(EMR)            |        |        |        |        |        |
| 胃 EMR                     | 7      | 11     | 19     | 18     | 11     |
| 大腸 EMR                    | 401    | 439    | 741    | 801    | 818    |
| 内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)          |        |        |        |        |        |
| 食道 ESD                    | 1      | 4      | 4      | 6      | 5      |
| 胃 ESD                     | 56     | 68     | 66     | 42     | 56     |
| 十二指腸 ESD                  |        | 2      |        | 0      | 0      |
| 大腸 ESD                    | 14     | 27     | 15     | 13     | 20     |
| 消化管出血止血術                  | 88     | 89     | 62     | 91     | 96     |
| 内視鏡的胃瘻造設術(PEG)            | 53     | 43     | 62     | 53     | 65     |
| 消化管ステント留置術                |        |        |        |        |        |
| 食道・胃・十二指腸                 | 27     | 21     | 29     | 27     | 39     |
| 大腸                        | 13     | 19     | 22     | 24     | 26     |
| 胆管ステント留置術                 | 77     | 93     | 132    | 139    | 175    |
| 乳頭括約筋切開術(EST)・乳頭拡張術(EPBD) | 116    | 122    | 136    | 132    | 184    |
| 経皮経肝胆道ドレナージ術(PTCD)        | 9      | 7      | 10     | 7      | 6      |
| 経皮経肝胆嚢ドレナージ術(PTGBD)       | 23     | 22     | 30     | 16     | 27     |
| 肝動脈化学塞栓療法(TACE)           | 34     | 31     | 19     | 10     | 29     |
| CVポート作成                   | 8      | 9      | 11     | 19     | 25     |

## 6. 学会認定施設

日本消化器内視鏡学会指導施設

日本消化器病学会関連施設



## 内分泌・糖尿病内科

### 1. 内分泌・糖尿病内科の理念・特色

理念：診療にあたっては下記の点を重要視している。

- ・病態にあわせた適切な治療方法の選択
- ・血糖変動に配慮したきめ細やかな診療
- ・糖尿病および合併症の早期診断と早期治療介入
- ・健康寿命と生活の質を考えた全人的かつ総合的な診療
- ・多職種共同で取り組む自己効力感の醸成と自己管理行動の支援
- ・地域・家庭・職場における重症化予防
- ・地域で取り組む糖尿病重症化予防

当院の立地する地域には、未だ適切な治療や指導を受けられずに管理不良の状態の方々が多くおられるため、患者診療に熱心に取り組むことで地域医療に貢献していることが実感されるやりがいのある環境である。若手医師の臨床研修の場として最適の環境と考えている。

特色：公立豊岡病院は地域の診療中核拠点であるため、多様な症例が豊富に集まることがその特色である。糖尿病に関しては研修中に、1型糖尿病、2型糖尿病、その他特定の機序・疾患によるもの、妊娠糖尿病の各症例を経験できる。

また、高血糖・低血糖など救急症例、手術症例や合併症・併存症を有する症例が多く、幅広い症例を研修可能である。

さらに、妊婦、小児から、働き盛り、高齢者、在宅、終末期まで、ライフステージにあわせた管理が経験できる。

内分泌に関しては、下垂体疾患、甲状腺疾患、副腎疾患などの診療を通じて幅広い研修ができる。

### 2. 目標・プログラム

#### ア. 目標とする医師像

当科での研修において目標とする医師像は下記のとおりである

- ・個々人の病態、合併症、ライフスタイル、健康信念、サポート状況の把握に基づくきめ細やかな診療ができる医師
- ・患者個人を取り巻く家族・社会・職場・地域・利用できる医療資源を含めた最適な治療方法を考案できる医師
- ・将来のリスク予測に基づいて早期予防・治療介入ができる医師
- ・患者を中心とした多職種チーム医療連携のリーダーとなれる医師
- ・診療、指導、研究、啓発を通じて自身も成長していける人間力を備えた医師

#### イ. 経験できる診療、技術

診療は、糖尿病、内分泌、肥満、高血圧、脂質異常症の専門診療を行っている。その内容は下記のとおりである。

#### 糖尿病

糖尿病診療に関しては、専門治療を行うとともに、早期の診断と治療により糖尿病合併症発症予防や進展阻止に努めている。糖尿病教育入院コースをクリニカル・パスに沿って行い、血糖コントロール改善と共に、合併症の積極的検索を行っている。また、食事負荷試験やグルカゴン負荷試験などからインスリン分泌能とインスリン抵抗性の病態を診断し、病態にあわせた適切な治療選択に努めている。1型糖尿病においては、必要に応じて24時間血糖モニタリングによる食後高血糖、夜間低血糖、暁現象やソモジー効果の判定を行いより血糖変動に配慮したきめ細やかな診療を心がけている。必要な場合はインスリンポンプを導入している。また、妊娠糖尿病についても産科と連携して治療をしている。

#### 内分泌疾患

甲状腺については、バセドウ病、破壊性甲状腺炎、橋本病などの診療をしている。結節性病変に対しては甲状腺エコーの結果により、耳鼻科紹介または甲状腺専門病院と連携して診療を行っている。副腎については、クッシング症候群、アジソン病、原発性アルドステロン症などの診療を行っている。必要な場合は放射線科と連携して副腎静脈サンプリングを行い、また、副腎偶発腫瘍に関しても泌尿器科と連携して診療をしている。

#### 肥満症

2次性の精査とともに肥満に伴う考え方の“ずれ”と日常生活の“くせ”を明らかにして自己管理行動に結びつけるべく多職種での指導を行っている。また、糖尿病合併患者に対しては肥満を助長させない糖尿病薬の選択と低血糖の早期発見・予防を中心に診療している。うつ病や双



極性障害など精神心理的側面が基礎にある場合には適宜精神科と協調して診療を進めている。また、睡眠時無呼吸症候群においても神経内科、呼吸器内科と連携して診療している。

**高血圧**

難治性高血圧や2次性高血圧の診断と治療を行っている。また、塩分やカロリー摂取推定量に基づいて減塩や肥満の解消など生活習慣指導を強化している。

**脂質異常症**

高コレステロール血症や高中性脂肪血症に関して診療している。動脈硬化・ハイリスクの原発性高脂血症患者の診療を行っている。

**他科・他職種連携**

総合診療科・眼科・循環器内科・神経内科・胸部・心臓血管外科・皮膚科・歯科口腔外科・精神科等と協力して、糖尿病網膜症、腎症、神経障害、壊疽、歯周病などの糖尿病合併症や、虚血性心疾患、脳血管障害、末梢動脈閉塞症などの動脈硬化性疾患に対して、全人的かつ総合的な診療を心がけている。また、看護師・栄養士・薬剤師・検査技師など多職種のチームによる自己管理行動の継続的サポートや活気ある糖尿病教室を企画している。

**糖尿病地域連携**

糖尿病は地域で診療することが重要でありすべての糖尿病患者さんにかかりつけ医をもっていただき地域病診連携で診療することを目指している。また、医師会や行政と連携して地域における糖尿病発症および重症化予防のための連携体制構築に努力している。

**3. 週間予定**

|    | 月曜日                          | 火曜日                    | 水曜日                              | 木曜日                    | 金曜日                             | 土曜日/日曜日 |
|----|------------------------------|------------------------|----------------------------------|------------------------|---------------------------------|---------|
| 午前 | 外来・入院<br>※他科カンファレンス          | 外来・入院・初診<br>診察・他科コンサルト | 外来・入院・ weekend<br>血糖管理           | 外来・入院・初診<br>診察・他科コンサルト | 外来・入院<br>\$健診・地域医療              |         |
| 午後 | 講義<br>(内分泌・糖尿病・高血圧・脂質異常症・肥満) | 教育入院症例多職種<br>カンファレンス   | ・症例<br>・臨床研究<br>・内科合同<br>カンファレンス | 教育入院症例多職種<br>カンファレンス   | 糖尿病透析予防外来<br>総合診療科合同<br>カンファレンス |         |

\*: 関連症例を受け持っている場合

\$: 希望者のみ

**4. 指導医・スタッフ**

|  |   |  |
|--|---|--|
| 病院長補佐<br>恒成 徹<br>出身 神戸大学 S54<br>神戸大学医学博士 H3  | 部長<br>岸本 一郎<br>出身 京都大学 S63<br>京都大学医学博士 H6   | 医長<br>和田 里美<br>出身 島根大学 H22                   |
| 専門 内分泌代謝<br>認定 日本内科学会総合内科専門医,日本医師会認定産業医,日本内分泌学会内分泌代謝科専門医,日本プライマリ・ケア連合学会認定暫定指導医,臨床研修指導医 | 専門 糖尿病,内分泌,高血圧<br>認定 日本糖尿病学会専門医,指導医,評議員,日本内科学会総合内科専門医,指導医,近畿支部評議員,日本高血圧学会専門医,指導医,評議員,日本内分泌学会評議員,日本肥満学会評議員,日本プライマリ・ケア連合学会認定医,指導医,日本循環器学会専門医,京都大学医学部講師(非常勤),総合診療特任指導医,臨床研修指導医 | 専門 糖尿病,代謝・内分泌内科<br>認定 日本内科学会認定内科医,日本糖尿病学会専門医 |

**5. 診療設備・診療方法等**

- ・ 超音波検査(頸動脈、甲状腺、心臓、下肢血管)
- ・ 核医学検査(甲状腺、副腎)
- ・ X線CT、MRI 検査
- ・ 骨塩定量(DXA)
- ・ 持続血糖モニタリング
- ・ 持続インスリン皮下注入療法
- ・ 糖尿病透析予防外来
- ・ 教育入院クリティカルパス など

## 6. 診療実績

糖尿病患者数 約 1,500 名

初診患者数 10 名/週 程度

外来患者数 200 名/週 程度

高血糖・低血糖緊急症例 数名/週

新規妊娠糖尿病 数名/週

SAP 症例 数名

持続血糖モニタリング症例 数名/週

内分泌初診 数名/週

周術期血糖管理 数名/週

## 7. 学会認定施設

内科学会認定教育施設

糖尿病学会認定教育施設 I

高血圧学会認定教育施設



## 脳神経内科

### 1. 脳神経内科の理念・特色

公立豊岡病院は兵庫県北部・但馬地方という広範囲の地域の医療を担う中核的病院です。その中で脳神経内科を有する病院は2カ所しかないため、この地域の脳卒中をはじめとして、神経難病を含む神経筋疾患患者が集中することとなっております。このため当院脳神経内科は症例数が豊富であることを特徴とします。

現在5人の常勤脳神経内科医と1人の非常勤脳神経内科医で、常時40人前後の入院患者および平均50人/日の外来患者の診療を行っている。特に脳梗塞超急性期治療である血栓溶解療法に精力的に取り組んでおり、ドクターヘリを有する当院救急集中治療科と提携して、「1人でも多くの人に」をスローガンに24時間対応できる体制で臨んでいる。

また、脳神経外科と共同で血管内治療を積極的に行っています。それに加え救急隊をはじめ、関係する医療関係者、住民への啓蒙活動にも取り組んでいる。

但馬地方は兵庫県の中でも筋萎縮性側索硬化症や脊髄小脳変性症などの神経難病が多い地域です。そのため診療のみならず、訪問診療、啓蒙活動など地域と連携した広範な脳神経内科医療を展開している。

更に、リハビリテーションにも精力的に取り組んでおり、ボトックス療法、ロボットスーツHAL、足こぎ車いすやTENSを導入して神経リハビリテーションを実践している。また、脳卒中、認知症や心疾患等に対して予防的観点から睡眠時無呼吸症候群の診断治療にも取り組んでいる。

### 2. 目標・プログラム

#### ア. 目標

新・内科専門医制度で経験が必要な70疾患群のうち神経内科分野は9疾患群を占めていますが、当院脳神経内科ではほぼ全分野をカバーしている。したがって、専攻医は当科ローテーション期間に概ね必要疾患群症例を経験していただけます。

また、当科では重症患者も多いため、密度の濃い研修ができます。当科での研修を通して、新内科専門医として脳神経内科診療が行えるレベルに到達していただきたい。

#### イ. 経験できる診療、技術

- ・ 専攻医は入院患者の主治医となり、指導医の指導のもと病棟業務を行う。また、指導医のもと初診外来を担当する。
- ・ 神経学的症候や病態の意味を正しく理解し、適切な神経学的所見をとることができるように指導する。
- ・ 神経生理、神経放射線、神経超音波をはじめ、各種神経学的検査結果の意味・解釈や治療の内容を理解出来るように指導します。指導医のもと髄液検査、神経伝導速度検査、血管エコー、脳波検査は自ら施行し、適切な判断を下すことが出来るように指導する。
- ・ 入院患者の主治医として、適切な確定診断を行い、治療計画を立案し適切な診療録が作成できるように指導する。
- ・ 脳神経内科救急をはじめ迅速な対応が必要な症例については、指導医とともに診療を行い、神経救急疾患の診察の仕方、処置の仕方を学び、実践できるように指導する。
- ・ 超急性期脳血管障害については指導医と共に血栓溶解療法を経験する。また、脳神経外科の指導のもと血管内治療(見学)を経験する。
- ・ 理学・作業・言語療法に加え、ロボットスーツやTENなどを用いた神経リハビリテーションを学ぶ。



ロボットスーツHAL



足こぎ車椅

### 3. 週間予定

|     | 月曜日                            | 火曜日                            | 水曜日                            | 木曜日   | 金曜日                            | 土曜日/日曜日          |
|-----|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|---|--------------------------------|------------------|
| 午前  | 新入院患者症例カンファレンス<br>外来診療<br>病棟診療 | 新入院患者症例カンファレンス<br>外来診療<br>病棟診療 | 新入院患者症例カンファレンス<br>外来診療<br>病棟診療 | 新入院患者症例カンファレンス<br>外来診療<br>病棟診療<br>地域医療訪問診療            | 新入院患者症例カンファレンス<br>外来診療<br>病棟診療 | 要時対応<br>(救急入院患者) |
| 午後  | 外 来<br>病棟回診                    | 外 来<br>病棟回診                    | 外 来<br>病棟回診                    | 外 来<br>病棟回診<br>神経生理検査<br>(筋電図、神経伝達<br>速度検査 など)<br>抄読会 | 外 来<br>病棟回診                    |                  |
| 時間外 |                                | 病棟総回診                          | 18:00～<br>内科合同<br>カンファレンス      | 17:15～(隔週)<br>リハビリテーション科<br>との合同カンファレンス               | 症例カンファレンス                      |                  |

### 4. 指導医・スタッフ

部長 まつしま かずし 松島 一士

出身 東海大学 S58

東海大学医学博士 H12

|    |  |
|----|--|
| 専門 | 神経疾患一般・脳血管障害・睡眠時無呼吸症候群                       |
| 認定 | 日本神経学会専門医・指導医、日本脳卒中学会専門医・指導医・評議員、日本内科学会認定内科医 |

医長 よこて あきよし 横手 明義

出身 神戸大学 H20

|    |              |
|----|--------------|
| 専門 | 神経疾患一般・脳血管障害 |
| 認定 | 日本脳神経外科学会専門医 |

医長 いが けんいち 伊賀 賢一

出身 近畿大学 H24

|    |                                     |
|----|-------------------------------------|
| 専門 | 神経疾患一般                              |
| 認定 | 日本神経学会専門医<br>日本内科学会認定内科医<br>臨床研修指導医 |

医長 ほりぐち みか 堀口 美香

出身 北海道大学 H26

|    |        |
|----|--------|
| 専門 | 神経疾患一般 |
|----|--------|

医員 きくや あきひろ 菊谷 明広

出身 京都大学 H28

|    |        |
|----|--------|
| 専門 | 神経疾患一般 |
|----|--------|

### 5. 診療設備等

- ・ ポータブル脳波計 2 台(長時間持続モニター・ビデオカメラ) 日本光電 EEG-1250
- ・ 筋電計 ネイタス バイキングクエスト 2 台
- ・ 誘発脳波検査器 日本光電 ニューロパック S1
- ・ 頸動脈超音波診断装置 キヤノンメディカルシステムズ Aplio i800
- ・ ポリソムノグラフィー検査装置 フィリップス・レスピロニクス アリス 6LDxS
- ・ 3T MRI 装置 フィリップスジャパン Ingenia3.0



### 6. 診療実績

1年間の神経内科疾患の統計

初診外来患者数 480 人/年

新規入院患者数 566 人/年

再診外来患者数 11,945 人/年

平均在院日数 28.0 日

| 疾患名                | 内訳                       | 患者数  |
|--------------------|--------------------------|------|
| 脳血管障害              | 脳梗塞、脳出血                  | 372人 |
| 神経変性疾患             | 筋委縮性側索硬化症                | 11人  |
|                    | パーキンソン病                  | 23人  |
|                    | 他のパーキンソニズム(PSP, CBDなど)   | 4人   |
|                    | 多系統萎縮症(SDS, OPCA, SNDなど) | 5人   |
|                    | 脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く)       | 3人   |
|                    | 不随意運動疾患(舞蹈病, 振戦など)       | 0人   |
|                    | その他                      | 3人   |
| 認知症性疾患             | アルツハイマー病                 | 0人   |
|                    | 血管性認知症                   | 0人   |
|                    | その他                      | 1人   |
| 免疫関連性中枢神経疾患        | (MS, 脊髄炎, ベーチェット病など)     | 12人  |
| 末梢神経疾患             | (GBS, CIDP, CMTなど)       | 12人  |
| 筋疾患                | (筋炎, 皮膚筋炎, ジストロフィーなど)    | 7人   |
| 神経感染症, 脳症          | (脳炎, 髄膜炎など)              | 6人   |
| てんかん               | (原発性, 症候性)               | 40人  |
| 腫瘍                 |                          | 2人   |
| 中毒性神経疾患            |                          | 4人   |
| 内科疾患, 代謝性疾患に伴う神経障害 |                          | 5人   |
| その他                |                          | 56人  |

(2020年)

## 7. 学会認定施設

日本神経学会専門医制度准教育施設

日本脳卒中学会認定研修教育施設

## 専攻医の声

脳神経内科で専門研修3年目の専攻医です。当院で初期臨床研修後に、京大病院で1年間研修し、再び当院で専門研修をさせて頂いております。

当院は各種メディアでご存じの通り救急科のドクターヘリ活動が盛んであり、神経救急を多く対応することができます。発症して迅速にヘリ搬送されることから、tPA 件数も多く、難治性てんかんの治療にも携わることができます。また、当地方では神経変性疾患も人口あたりでは多く、変性疾患の診断と治療に積極的に携わることができます。さらに当院は北近畿での基幹病院であり、筋疾患なども含めて北近畿一円の稀少症例も集まり、非常に勉強になる場所です。

当院神経内科では脳卒中予防の為、睡眠時無呼吸症候群の治療を積極的に行っており、ポリソムノグラフィ精査入院も盛んに行い、予防医学にも携わることができます。

当地には城崎温泉があり、古くより近畿貴顕の憩いの場となっております。空を見上げると、運が良ければコウノトリが飛来しているのを見ることができます。このようなのどかな環境で、十分な研修できる当院での研修はいかがでしょう。お待ちしております。

専攻医 Mさん

## 9. 基幹プログラム

### 公立豊岡病院内科専門研修プログラム

#### 内科・Subspecialty並行研修コース(4年)

|   | 4月                | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|---|-------------------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 1年目   | 豊岡病院か連携施設のいずれか    |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |
|   | Subspecialty 選択科  |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |
|   | 内科専門研修            |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |
|   | 初診+再診外来週に1回担当     |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |
| 2年目   | 豊岡病院か連携施設のいずれか    |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |
|   | Subspecialty 選択科  |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |
|   | 内科専門研修            |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |
|   | 初診+再診外来週に1回担当     |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊岡病院では総合診療科と希望診療科に所属し、内科専門研修とサブスペシャリティの連動研修を行う。</li> <li>・病歴要約を最低20例作成する。</li> <li>・JMECCを原則として1～2年目の間に受講。</li> <li>・連携施設研修は、所属の診療科と相談のうえ決定する。</li> <li>・2年目修了までに必要となる56疾患群160症例を経験し登録、必要な29症例すべてを作成し、登録する。</li> </ul>  |                   |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |
| 3年目   | 豊岡病院か連携施設のいずれか    |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |
|   | Subspecialty 選択科  |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |
|   | 内科専門研修            |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |
|   | 初診+再診外来週に1回担当     |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |
| 4年目   | 豊岡病院か連携施設のいずれか    |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |
|   | Subspecialty 選択科  |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |
|   | 内科専門研修            |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |
|   | 内科専門医取得のための病歴提出準備 |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・学会発表・論文作成及び剖検を実施。</li> <li>・希望診療科に所属し、56疾患群160症例を経験し登録、症例指導医の指導を得て病歴要約の再提出を行う。</li> <li>・サブスペシャリティを主体とした研修を行う。</li> <li>・その他、不足症例の経験。連携施設で研修を希望する場合はメンターによる推薦に基づき、管理委員会の決定に基づき実施するものとする。</li> </ul>   |                   |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |
| <p>【ローテーションの方式】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専攻医の希望診療科をもとにメンターを決定。</li> <li>・4年間Subspecialty専門研修と内科専門研修を並行して行う方式です。豊岡病院又は連携施設(京都大学、神戸大学、北野病院、大阪市立総合医療センター、神戸市立医療センター中央市民病院、兵庫県立尼崎総合医療センター、神鋼記念病院、八鹿病院、兵庫県立はりま姫路総合医療センター(予定)、(特別連携施設:日高医療センター、出石医療センター、朝来医療センター、村岡病院、香住病院、浜坂病院))にて研修します。基幹施設及び連携施設の研修期間はそれぞれ原則1年以上設ける必要があります。</li> <li>・豊岡病院内科系6診療科は総合診療科、循環器内科、呼吸器内科、消化器科、内分泌・糖尿病内科、脳神経内科からなり、選択するSubspecialty科と並行して幅広い内科を希望選択科として研修します。その間Subspecialty科の当直を週1回行っていただきます。</li> </ul> |                   |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |
| <p>【連携施設での研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連携施設の規模や指導體制、僻地医療、地域中核病院、終末期医療などの位置付けと専攻医の希望に合わせ、Subspecialty分野と並行して幅広い内科研修を行います。</li> </ul>  |                   |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |
| <p>プログラム・資料に関する問い合わせ先</p>   |                   |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |
| <p>TEL 0796-22-6111(代表) FAX 0796-22-0170</p> <p>e-mail kensyucenter@toyookahp-kumiai.or.jp</p> <p>website <a href="http://www.toyookahp-kumiai.or.jp/toyooka/">http://www.toyookahp-kumiai.or.jp/toyooka/</a></p>   |                   |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |
| <p>〒668-8501 兵庫県豊岡市戸牧1094 公立豊岡病院組合 医師育成・研修支援センター</p>  |                   |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |



## 基本領域 小児科専門研修

### 連携

- 神戸大学小児科専門研修プログラム
- 兵庫医科大学小児科専門研修プログラム
- 兵庫県立こども病院小児科専門医研修プログラム
- 兵庫県立尼崎総合医療センター小児科研修プログラム
- 高槻病院小児科専門研修プログラム
- 千船病院小児科専門研修プログラム

## 1. 小児科の理念・特色

### ～地域基幹病院としての当院小児科の役割～

当科が担う医療圏は、但馬地域に加え京都北部の一部を含み、人口20万人弱(うち15歳未満の小児人口約3万人)である。面積は約2,100km<sup>2</sup>と兵庫県の約4分の1を占め、東京都の総面積に匹敵する広大な地域である。この中に小児科医が常駐し、小児の入院に対応できる病院は2つしかなく、24時間救急対応できる病院、さらにNICU機能を有する病院に至っては当院のみという状況である。このように新生児・小児の人工呼吸を含めた集中治療や24時間対応できる病院が当院のみという事情から但馬の救急患児・重症患児の『最後の砦』となっている。さらに、小児専門病院(兵庫県立こども病院など)から100km以上離れており、慢性疾患や継続治療が必要な特殊疾患については、専門施設との連絡を取りながら当院で継続フォローをする役割が期待されている。そのため、慢性疾患外来・専門外来にて長期継続フォローと患者教育を行っている。

### 当科の医療圏



## 2. 目標・プログラム

### ア. 目標とする医師像

新生児から思春期にわたる様々な疾患への対応のみならず、多職種・多機関と連携して子どもの健全な発育を支援できる総合小児科医としての医師を目標としている。

### イ. 経験できる診療、技術

現在では珍しくなってきたが、一般病棟とNICUの患者の担当医として並行して診療していただいている。また外来診療も行い、初診患者の診察や、担当した患者のフォローもしていただいている。

症例によっては多職種、多機関と連携した医療を経験すると共に、高次医療が必要な場合、救急車、防災ヘリを利用して高次医療機関への長距離搬送を行っている。

以上の経験を積むことで総合小児科医としての基礎が築かれるものと考えている。





### 3. 週間予定

小児病棟・外来診療・処置/救急当番とNICUの業務を並行して研修を行う。

|              | 月曜日  | 火曜日      | 水曜日                  | 木曜日          | 金曜日 | 土曜日/日曜日 |     |
|--------------|--|----------|----------------------|--------------|-----|---------|-----|
| 8:00 - 8:30  | 受け持ち患者情報の把握  |          |                      |              |     |         | 日当直 |
| 8:30 - 12:00 | 8:30 - 9:00 NICUでカンファレンス<br>病棟業務<br>産科病棟にて新生児回診(週に1~2回)<br>外来診療(週1 - 2回)<br>処置/救急当番(週1-2回) |          |                      |              |     |         |     |
| 12:00-13:00  |  |          |                      |              |     |         |     |
| 13:15-14:00  |  | 一般病棟症例検討 |                      | NICU<br>症例検討 |     |         |     |
| 14:00-17:00  | 病棟業務<br>外来診療<br>処置/救急当番(週1 - 2回)<br>豊岡市乳幼児健診<br>看護学校講義など                                   |          |                      |              |     |         |     |
| 17:00-17:15  | 夕の申し送り   |          |                      |              |     |         |     |
| 17:30-19:00  | 周産期<br>カンファレンス   |          | 勉強会(症例検討、<br>予演、抄読等) |              |     |         |     |

### 4. 指導医・スタッフ

|   |   |  |  |
|---|---|--|--|
| 小児科部長 <small>みなと としのり</small><br><b>港 敏則</b>                                  | 但馬こうのとり周産期医療センター<br>センター長 <small>うえだ まさあき</small><br>兼新生児科部長 <b>上田 雅章</b> | 小児科部長 <small>ふじばやし ひろみ</small><br><b>藤林 洋美</b> | 医長 <small>やまだ ひろゆき</small><br><b>山田 博之</b> |
| 出身 神戸大学 S63   | 出身 神戸大学 H11   | 出身 弘前大学 H14                                    | 出身 自治医科大学 H18                              |
| 神戸大学医学博士 H7   |   | 神戸大学医学博士 H22                                   | 鳥取大学医学博士 R3                                |
| 専門 アレルギー疾患・心身症・血液・腫瘍呼吸  | 専門 新生児  | 専門 発達行動  | 専門 神経・てんかん                                 |
| 認定 日本小児科学会専門医・指導医 日本アレルギー学会専門医 日本小児心身医学会専門医・指導医 日本小児呼吸器学会理事「子どもの心」相談医 臨床研修指導医 | 認定 日本小児科学会専門医・指導医 日本周産期・新生児医学会周産期(新生児)専門医・指導医 臨床研修指導医                     | 認定 日本小児科学会専門医                                  | 認定 日本小児科学会専門医・指導医 臨床研修指導医                  |
| 医員 <small>たけもと たかゆき</small><br><b>竹本 崇之</b>                                   | 医員 <small>なかやま くりた</small><br><b>中山 栗太</b>                                | 専攻医 <small>ど しばしゅうへい</small><br><b>土肥 周平</b>   | 医員 <small>ふじもと まさみ</small><br><b>藤本 将史</b> |
| 出身 札幌医科大学 H27   | 出身 兵庫医科大学 H28   | 出身 琉球大学 H30                                    | 出身 神戸大学 H31                                |
| 専門 一般小児   | 専門 一般小児   | 専門 一般小児  | 専門 一般小児                                    |
| 専攻医 <small>まつお すずむ</small><br><b>松尾 進</b>                                     |   |  |  |
| 出身 近畿大学 H31   |   |  |  |
| 専門 一般小児   |   |  |  |

### 5. 診療設備

●一般病院でよく遭遇するけいれん・てんかん、呼吸障害、重症心身障害児者、心身症患者に対して、多職種と連携し、また下記の機器を積極的に使用し、正確な診断や重症化の軽減に努めている。

①けいれん・てんかんに対して:地域の最終病院である当院は、けいれん重積発作のみならず、意識レベルの低下や異常行動など様々な神経症状を呈する児が紹介・搬送されている。臨床症状ではけいれんの判断が困難な症例も多いため、24時間いつでもモニタリングができるように病棟に**持続脳波計(Neurofax®)**を常備している。また、持続脳波計を用いて、てんかん発作型の診断や非てんかん発作との鑑別にも積極的に取り組んでいる。

②呼吸障害に対して:呼吸障害をきたした児が呼吸不全に至らないように、呼吸窮迫児に対して**陽・陰圧体外式人工呼吸器(Biphasic Cuirass Ventilation: RTX®)**を積極的に使用している。また呼吸不全に至る多くの病態に気道クリアランスの低下が関与するため、理学療法士

と連携して積極的に呼吸理学療法を行うとともに、**肺内パーカッションベンチレータ(Intrapulmonary percussive ventilation: IPV®)**や**咳介助機器(Cough assist E70®)**を用い気道内分泌物の排泄を進め呼吸障害の改善に努めている。

③重症心身障害児・者に対して、CT/MRI やレントゲン、エコー、脳波検査の他、24 時間胃・食道内 pH モニター(スレウス・ゼファー®)などを用いて、全身管理と治療方針の見直し、多職種との情報共有を定期的に行っている。

④心身症患者に対して：小児専門の心理士と連携して診療にあたっています。主に児に対しては描画療法、遊戯療法など行い内面整理を行うと共に、家族、教育機関、保健機関との面談で環境整備を行っている。また必要に応じて WISC-IV の発達評価を行い療育機関への橋渡しをおこなっている。

## ●NICU

### ①呼吸管理設備

新生児呼吸障害管理のため、種々の呼吸管理設備を整備している。

- ・ 新生児用人工呼吸器(Babylog VN500、Babylog 8000 plus、Humming vue)
- ・ NCPAP システム (Infant Flow SiPAP、SLE1000)
- ・ 高流量鼻カニューラ酸素療法(HFNC)

### ②新生児低体温療法・aEEG

重症新生児仮死に伴う低酸素性虚血性脳症の治療として、適応症例には ArcticSun 5000 を用いた新生児低体温療法を施行している。低体温療法施行症例や新生児けいれん症例に対しては、脳波計(Nicolet One)を用いて持続脳波、aEEG のモニタリングを行っている。

### ③一酸化窒素吸入療法

新生児遷延性肺高血圧症の治療として、必要症例には一酸化窒素吸入療法(iNO)を施行している。

## 6. 診療実績

### 概略

外来患者は午前と午後併せて平均約 70 名前後である。入院患者は、一般病棟で毎年 400~500 名、NICU で 100~150 名を推移している。一方、小児外科疾患や、高度な専門的治療が必要な症例も月 1~2 人みられ、救急車を使って約 2 時間かけて兵庫県立こども病院などの 3 次医療機関へ搬送している(条件があれば防災ヘリなどを利用)。

病院外来数、入院患者数はそれほど多くないが、地域で唯一の入院対応病院かつ高度な検査が可能な病院であり、小児を 24 時間対応しなければならない唯一の病院であること、未経験の希少疾患に対応しなければならないこと、NICU を含めた小児全般の緊急時の対応が要求されること、更なる高次医療が必要の際に専門病院へ状態の悪い重症児を数時間かけて搬送しなければならないこと等々から地域医療の難しさを経験していただけると考えている。

### ●外来診療について

外来は 3 診制で、午前は主に一般外来、午後は専門外来と一般外来(月、水、金のみ)を並行して行っている。

専門外来は、慢性疾患(腎臓・膠原病・内分泌など)、アレルギー、神経、発達行動、心身症、心臓、低身長、予防接種などのほか、小児科専属の心理士 1 名を配置しカウンセリングを実施している。

### ●在宅医療、終末医療について

近年、医療技術の進歩で在宅医療の児が増えてきている。当院でも在宅人工呼吸管理中の児、在宅中心静脈栄養管理中の児、在宅胃瘻管理中の児が 5 名、在宅酸素療法中の児が 10 名前後など在宅医療も担っており、種々の制限はあるものの、ショートステイにも対応している。

また、終末期の看取りを在宅で行う体制も整えつつある。

### ●一般病棟入院診療について

気管支炎・肺炎・気管支喘息・痙攣・川崎病をはじめ、ほぼ全ての小児科疾患に対応している。一方、悪性腫瘍やインフルエンザ脳症など重篤な疾患については、神戸大学病院、兵庫県立こども病院などの高次病院と密に連絡をとりながら治療介入し、必要に応じて搬送を行っている。また小児外科医不在のため小児外科の介入が必要な疾患は、状態を安定させた後、高次病院への搬送を行っている。

以下、年度別の患者数推移を示す。

## 小児科診療実績(入院症例)

|            |               | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|------------|---------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 感染症        | 呼吸器           | 193    | 188    | 170    | 140    | 21     |
|            | 消化器           | 32     | 23     | 17     | 24     | 10     |
|            | 中枢神経系         | 3      | 4      | 0      | 2      | 0      |
|            | 腎泌尿器          | 5      | 7      | 9      | 6      | 6      |
|            | その他           | 17     | 13     | 25     | 9      | 8      |
| アレルギー疾患    | 気管支喘息発作       | 33     | 33     | 27     | 23     | 11     |
|            | その他           | 16     | 5      | 10     | 5      | 1      |
| 消化器疾患      | 腸重積症          | 6      | 4      | 5      | 5      | 3      |
|            | その他           | 43     | 49     | 49     | 16     | 18     |
| 免疫疾患       | 川崎病           | 160    | 8      | 18     | 24     | 14     |
|            | その他           | 8      | 6      | 9      | 5      | 3      |
| 神経・筋疾患     | 熱性けいれん        | 49     | 55     | 58     | 44     | 20     |
|            | 無熱性けいれん       |        |        |        | 14     | 7      |
|            | その他           | 39     | 40     | 26     | 12     | 5      |
| 代謝内分泌疾患    | 成長ホルモン負荷試験    |        |        |        | 12     | 5      |
|            | その他           | 21     | 29     | 38     | 3      | 12     |
| 循環器疾患      |               | 1      | 1      | 1      | 0      | 1      |
| 血液腫瘍性疾患    |               | 2      | 1      | 6      | 4      | 3      |
| 腎泌尿器疾患     |               | 3      | 1      | 3      | 0      | 5      |
| 定期投与(重複あり) | 短腸症候群         |        |        |        | 21     | 20     |
|            | ファブリー病        |        |        |        | 29     | 18     |
|            | 若年性特発性関節炎     |        |        |        | 14     | 14     |
|            | 慢性炎症性脱髄性多発神経炎 |        |        |        | 6      | 0      |
| 心身症        |               | 1      | 2      | 3      |        | 7      |
| その他        |               | 25     | 23     | 14     | 14     | 18     |
| 計          |               | 513    | 492    | 488    | 432    | 230    |

## ●新生児科(NICU)

但馬地域では年間約1200人の新生児が誕生しているが、早産児・低出生体重児や呼吸障害など、生後早期に治療を必要とする児も少なからず認められる。

新生児科は、兵庫県北部唯一の周産期医療センターである「但馬こうのとり周産期医療センター」内の新生児集中治療室(NICU)で、但馬全域の治療が必要な新生児を院内外より24時間体制で受け入れて治療にあたっている。

NICUはベッド数6床で、新生児用人工呼吸器、血液ガス分析装置や超音波診断装置などを備え、内科的治療で対応可能な新生児を24時間体制で受け入れている。また、新生児遷延性肺高血圧症に対する一酸化窒素吸入療法や重症新生児仮死に対する新生児低体温療法などの特殊治療にも対応し、可能な限り地域内で治療を完結できるよう心掛けている。外科的治療が必要な先天性心疾患や消化器疾患に関しては、診断・初期治療を行ったうえで治療可能な関連医療機関への新生児搬送を行っている。

また、地域全体で新生児救命率の向上および児の後遺症なき生存を目指すべく、院内外の医師・助産師・救急救命士の方々を対象に、新生児蘇生法(NCPR)の講習会を定期的で開催している。

以下、年度別の患者数推移を示す。

## NICU 診療実績

|                       | 2016 年度 | 2017 年度 | 2018 年度 | 2019 年度 | 2020 年度 |
|-----------------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 極低出生体重児(出生体重 1500g未満) | 8       | 3       | 6       | 8       | 7       |
| 早産児・低出生体重児            | 28      | 30      | 39      | 32      | 28      |
| 呼吸障害                  | 35      | 36      | 33      | 13      | 19      |
| 新生児黄疸                 | 14      | 5       | 13      | 11      | 13      |
| 嘔吐・哺乳不良               | 38      | 11      | 12      | 4       | 6       |
| 新生児仮死                 | 5       | 5       | 5       | 4       | 3       |
| 先天性疾患(外科疾患・染色体異常など)   | 8       | 13      | 9       | 8       | 10      |
| 先天性心疾患                | 3       | 5       | 4       | 0       | 2       |
| その他                   | 20      | 19      | 13      | 13      | 17      |
| 計                     | 159     | 127     | 134     | 93      | 105     |

## 7. 学会認定施設

小児科専門医研修施設として日本小児科学会より認定されています。また日本周産期・新生児医学会周産期専門医制度の新生児認定施設(指定施設)にも指定されており、周産期(新生児)専門医取得のための研修を受けることも可能です。

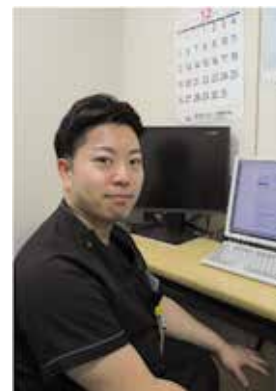
## 先輩医師の声

私は公立豊岡病院で初期研修を行い、その後は兵庫医科大学小児科専門研修プログラムで後期研修を開始しました。兵庫医科大学で2年間、その後公立豊岡病院で1年間の後期研修を経て、その後も小児科スタッフとして勤務させていただいています。

公立豊岡病院は兵庫県北部の中核病院であり、幅広い症例が経験できます。一般小児であれば、救急外来の対応から入院で主治医症例、さらに自分の担当外来があるので、そこで経過をフォローし長期に経過をみることもできます。新生児症例についても兵庫県北部唯一の周産期センターであり、24時間体制で新生児の受け入れを行っていることから新生児症例も様々な症例を経験することができます。指導医の指導も手厚く、親身に相談に乗ってもらえます。また特殊な疾患に関してはさらなる高次医療機関とも連携を取りながら診療にあたることができ受け入れる側だけでなく搬送症例も経験できます。

このように専攻医として一般小児から新生児まで幅広く様々な経験を積むことができることが魅力です。それだけでなく多職種との連携も取りやすく働きやすい環境が整っていると思います。そして仕事だけでなく、病院周囲の環境としても自然も多くレジャーや食事も楽しめます。

小児科研修として一般的な症例を含めていろんな経験をしたいと考えている方は当院での研修をおすすめします。



医員 中山 栗太



## 基本領域 精神科専門研修

### 連携

- 京都大学精神科専門医研修プログラム
- 神戸大学病院連携施設 精神科専門医研修プログラム
- 京都府立洛南病院精神科専門医研修プログラム
- 兵庫県立ひょうごこころの医療センター研修プログラム
- 大阪赤十字病院精神科専門医研修プログラム

## 1. 精神科の理念・特色

公立豊岡病院精神科は、地域の中核的综合病院の有床精神科である。一日外来者数は80名あまりである。急性期対応を中心として閉鎖病棟51床の病床を有する。年間に約200名の新規入院に対応し、電気けいれん療法(ECT年間300件程度)、クロザピン治療など、急性期から難治例までの入院に対応している。

作業療法士1名、公認心理師2名が在籍しており、入院および外来の作業療法、統合失調症の心理教育やアルコール依存症のグループワーク、認知行動療法やマインドフルネスストレス低減法などを実施している。精神科ソーシャルワーカーは3名で、ケースマネジメントを行っている。また、訪問看護・訪問診療(アウトリーチ)にも参画している。

他科との連携にも力を入れており、精神科リエゾンチームにより、せん妄ケア活動等、回診や対診を行っている。緩和ケアチームにも参与している。

また当院は、認知症疾患医療センターの指定を受けており、認知症の鑑別診断や周辺症状の治療等、高齢化の進む地域のニーズにも対応している。

以上、当院精神科は、但馬および丹後西部における、幅広い疾患と患者層をカバーし、急性期からリハビリテーション、地域ケアまでを包括的に提供する、地域精神科医療の中心的な役割を果たし、他科との連携、地域とともに育つことを理念目標として、現在も試行錯誤中である。

## 2. 目標・プログラム

### ア. 目標とする医師像

患者の人権を尊重し、精神・身体・社会・倫理の各面を総合的に考慮して診断・治療する態度を涵養し、近接領域の診療科や医療スタッフと協力して、国民に良質で安全で安心できる精神医療を提供することを使命とする。

### イ. 経験できる診療、技術

高齢化がすすんだ広大な診療圏をもち、3次救急にあたる総合病院の有床精神科である。精神科急性期治療病棟としては、入院は器質性から学童関連まで幅広く対応し、診療圏内の精神科病床への新規入院例の約半数を受け入れている。

認知症疾患医療センターを引き受けて、認知症の鑑別診断や周辺症状への対応を行っている。他科との関係では、リエゾンチームによるせん妄等コンサルテーションにも積極的に対応している。緩和ケアチームへの活動にも参画している。

公的病院であることから警察や行政を通じた事例化にも対応している。刑事精神鑑定(正式鑑定、起訴前嘱託鑑定、起訴前簡易鑑定)の依頼や医療観察法指定通院医療機関として司法事例にも取り組んでいる。

保健所や知的障害者施設の相談診療など地域保健医療での役割も大きい。

## 3. 週間予定

|     | 月曜日                          | 火曜日  | 水曜日   | 木曜日                          | 金曜日                    | 土曜日/日曜日 |
|-----|------------------------------|--|---|------------------------------|------------------------|---------|
| 午前  | 8:30~12:00<br>外来・病棟診療<br>ECT | 8:45~12:00<br>外来・病棟診療                        | 8:30~10:00<br>外来・病棟診療<br>10:00~<br>集団精神療法<br>(アルコール)  | 8:30~12:00<br>外来・病棟診療<br>ECT | 8:30~12:00<br>外来・病棟診療  |         |
| 午後  | 13:00~17:15<br>外来・病棟診療       | 13:00~15:00<br>外来・病棟診療<br>14:00~<br>リエゾンラウンド | 13:00~15:00<br>外来・病棟診療<br>15:00~16:00<br>カンファレンス<br>(新患・ベッドコントロール)<br>16:00~17:15<br>カンファレンス<br>(アウトリーチ外来等) | 13:00~17:15<br>外来・病棟診療       | 13:00~17:15<br>外来・病棟診療 |         |
| 時間外 | ECTカンファレンス<br>クロザピルカンファレンス   |  | 月1:診療会議<br>行動制限最小化委員会   |                              |                        |         |

1年次:病棟診療、リエゾン

2年次以降:病棟診療及び外来診療(リエゾン含む)

#### 4. 指導医・スタッフ

認知症患者  
医療センター長 高石 俊一  
出身 京都大学 S47

|    |          |
|----|----------|
| 専門 | 臨床精神医学全般 |
| 認定 | 精神保健指定医  |

認知症患者医療センター  
副センター長 兼部長 三木 寛隆  
出身 京都大学 H18

|    |   |
|----|---|
| 専門 | 臨床精神医学全般, 司法精神医学                                      |
| 認定 | 精神保健指定医, 日本精神神経学会<br>専門医・指導医, 日本医師会認定産業<br>医, 臨床研修指導医 |

医員 桂木 賢太郎  
出身 鹿児島大学 H27

|    |               |
|----|---------------|
| 専門 | 臨床精神医学全般, 依存症 |
| 認定 | 日本精神神経学会専門医   |

医員 安東 宇揚  
出身 藤田保健衛生大学 H28

|    |                             |
|----|-----------------------------|
| 専門 | 臨床精神医学全般                    |
| 認定 | 日本精神神経学会専門医, 日本医師<br>会認定産業医 |

医員 酒井 弘人  
出身 神戸大学 H29

|    |            |
|----|------------|
| 専門 | 臨床精神医学全般   |
| 認定 | 日本医師会認定産業医 |

専攻医 六田 泰央  
出身 京都大学 H30

|    |          |
|----|----------|
| 専門 | 臨床精神医学全般 |
|----|----------|

専攻医 畑 京佑  
出身 京都大学 H31

|    |          |
|----|----------|
| 専門 | 臨床精神医学全般 |
|----|----------|

#### 5. 診療実績

疾患別入院数・外来数

| 疾患       | 外来患者数(年間) | 入院患者数(年間) |
|----------|-----------|-----------|
| F0       | 479       | 18        |
| F1       | 121       | 25        |
| F2       | 861       | 81        |
| F3       | 375       | 43        |
| F4 F50   | 954       | 11        |
| F7 F8 F9 | 103       | 35        |
| F6       | 3         | 0         |
| その他      | 105       | 24        |

精神科上位疾患・性別 退院患者数

|                            | 男  | 女  | 合計 |
|----------------------------|----|----|----|
| 統合失調症                      | 37 | 48 | 85 |
| 双極性感情障害(躁うつ病)              | 7  | 8  | 15 |
| パーキンソン病                    | 1  | 12 | 13 |
| うつ病エピソード                   | 4  | 6  | 10 |
| てんかん                       |    | 10 | 10 |
| アルコール使用(飲酒)による精神及び行動の障害    | 4  | 2  | 6  |
| 急性一過性精神病性障害                | 2  | 3  | 5  |
| アルツハイマー病                   | 2  | 3  | 5  |
| 詳細不明の認知症                   | 3  | 1  | 4  |
| 重度ストレスへの反応及び適応障害           | 3  | 1  | 4  |
| 摂食障害                       |    | 4  | 4  |
| せん妄、アルコールその他の精神作用物質によらないもの | 2  | 1  | 3  |
| 持続性気分[感情]障害                |    | 2  | 2  |
| 広汎性発達障害                    | 2  |    | 2  |
| 神経系のその他の変性疾患, 他に分類されないもの   | 7  | 15 | 22 |

(2020年)

## 先輩医師の声

当科での研修では、卒後3年次より主治医として診療に従事することになります。症例は非常に豊富であり、クロザリルやECT 症例を含めて、それぞれに主体的に関与することとなります。科内の雰囲気は明るく、気軽に上級医に診療における疑問点を尋ねたり、助言を得たりできるサポート体制が整っていますので、研修中に困ることはありません。

当院ならではの研修内容として、当院が当地の拠点総合病院であることから、リエゾンや救急科対応などで他科との連携を求められることをはじめ、地域の保健所での相談業務や断酒会活動といった公衆衛生業務にも関与することも挙げられます。当地を包括した視点で精神科医療を考えることが求められ、精神科医として多角的な物事の見方を獲得できることも魅力の一つです。

また当地周辺には精神科病院が少ないことから、転医せずに継続した通院をされる方が多く、その患者様の過去のカルテ(紙カルテ時代を含む)にアクセスしやすいことも、長期的な病態推移を把握する面で、質の高い精神科研修に有用です。

当地は兵庫県の北部に位置し不便なイメージが先行しますが、但馬空港より伊丹空港に約35分でアクセスできること(東京まで約2時間)から、各地で開催される勉強会や講習会にも参加しやすいのも隠れた魅力です。

最後に、当科は在籍している医師の年代層が比較的若く、やりたい事に直ぐにチャレンジできるフットワークの軽さが最大の特徴です。皆さんと一緒に仕事をできる日を楽しみにしています。

医員 安東 宇揚





## 基本領域 外科専門研修

### 連携

- 兵庫京大外科専門研修プログラム  
(外科、乳腺外科、呼吸器・心臓血管外科)
- 兵庫医科大学外科専門研修プログラム  
(外科、乳腺外科、呼吸器・心臓血管外科)
- 三重大学医学部附属病院外科専門研修プログラム  
(呼吸器・心臓血管外科)
- 大阪市立総合医療センター外科専門研修プログラム  
(乳腺外科、呼吸器・心臓血管外科、(救急科 90 頁))

## 外科

### 1. 外科の理念・特色

豊岡市をはじめとする但馬地域の基幹病院として、消化器癌、乳癌などの癌に対する手術と術後の集学的治療を中心に診療を行っている。胆嚢胆管結石、各種ヘルニアその他の良性疾患の待機的手術を実施しているほか、緊急手術としては、外科通院患者が対象の緊急手術、院内及び院外からの直接外科の紹介された患者の緊急手術に特化して行っている。

最近では消化器癌に対しては、適応に応じて腹腔鏡下で手術を行うようにしており、現在、胃癌や結腸・直腸癌に対しては積極的に腹腔鏡下手術を行っている。

手術後の癌化学療法、フォローアップも外科で行っており、化学療法の大多数は化学療法専任看護師が従事する化学療法室で外科化学療法として行っている。

外科の外来診察は基本的に3診制で行っている。

なお、豊岡病院では、従来外科が担当してきた外科対象疾患の緊急手術の多くは救急集中治療科が行っているほか、胃癌、大腸癌で内視鏡的に切除が可能な早期癌については、消化器科が担当している。

### 2. 目標・プログラム

#### ア. 目標とする医師像

専攻医が医師として必要な基本的診療能力と外科領域の専門的診療能力を習得することを目標とする。併せて外科医として知識・技能・態度と高い倫理性を備えることにより、患者に信頼され、プロフェッショナルとしての誇りを持ち、患者への責任を果たせる外科専門医となることを目指す。このために、外科領域全般からサブスペシャリティ領域(消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科)またはそれに準じた外科専門領域(乳腺や内分泌領域)の専門研修を行い、それぞれの専門医取得へと連動するものとする。

#### イ. 経験できる診療、技術

担当する分野:

##### **食道癌**

ガイドラインに従い、stage I の症例に対してはそのまま手術、stage II、III の症例に対しては術前化学療法(NAC)の後、症例によっては胸腔鏡を併用した根治術を行っている。また、切除不能症例には化学療法や化学放射線療法を行っている。

##### **胃癌**

ガイドラインに従い T2、N1 までは腹腔鏡下の手術を導入している。また、早期胃癌には機能温存手術を積極的にやっている。

一方、予後不良と考えられる高度進行胃癌を対象として、臨床試験として術前化学療法(NAC)を施行した後、手術を行っている。

術後は、補助化学療法を stage II、III を対象に施行し、再発症例に対しても積極的に全身化学療法を導入している。

##### **大腸癌**

大腸癌には D3 廓清をとまなう腹腔鏡下手術を標準治療としている。一方で、局所進行直腸癌に対しては他臓器合併切除を含めた拡大手術を行い、術後化学療法を用いて予後の向上を図っている。cT3 以上の深部下直腸癌症例に対しては側方リンパ節廓清を定型的に行っている。

術後はエビデンスに基づいた補助化学療法に加え、進行・再発大腸癌に対しては最新の分子標的薬を併用した全身化学療法を標準治療として施行している。また切除可能な肺・肝転移に対しては積極的に手術を施行し、良好な治療成績を得ている。

##### **肝癌**

術前診断から治療まで消化器科と合同で治療戦略を立て、部位や個数、患者さんの肝予備能とのバランスから手術適応・術式を決定している。また、最近増加傾向にある転移性肝癌に対しては積極的に手術を施行し、良好な治療成績を得ている。

##### **膵臓癌**

膵頭部癌、十二指腸癌・乳頭部癌、遠位胆管癌に対して定型的な膵頭十二指腸切除術を、膵尾部癌に対しては膵体尾部切除を施行しており、出血量の少ない安全な術式を確立している。

##### **急性胆嚢炎**

発症早期の症例には手術を原則としており、可能な限り腹腔鏡による手術を行っている。

一方、重症例にはドレナージを術後、待機的に手術を行っている。

##### **鼠径ヘルニア**

症例に応じて腰椎あるいは膨潤麻酔下に Lichtenstein 法を、全身麻酔下に腹腔鏡下ヘルニア手術を行っている。

3. 週間予定

|     | 月曜日              | 火曜日             | 水曜日             | 木曜日             | 金曜日             | 土曜日/日曜日                                  |
|-----|------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|--|
| 早朝  | 総回診              |                 | カンファレンス         | 総回診             |                 | 休日<br>(病棟当番)<br>(病院日当直)<br>(講習会)<br>(学会) |
| 午前  | 手術<br>または<br>外来  | 手術<br>または<br>外来 | 手術<br>または<br>外来 | 手術<br>または<br>外来 | 手術<br>または<br>外来 |  |
| 午後  | 手術<br>または<br>外来  | 手術<br>または<br>外来 | 手術<br>または<br>外来 | 手術<br>または<br>外来 | 手術<br>または<br>外来 |  |
| 時間外 | 術前・術後<br>カンファレンス |                 |                 |                 |                 |  |

※外科の外来診療は3室で行っている。1診が初診外来で初診対応とその後の定期的経過観察、2～3診は術後のフォローアップ外来を行っている。

4. 指導医・スタッフ

副院長  
兼部長 坪野 充彦  
出身 滋賀医科大学 S57  
京都大学医学博士 H7

|    |  |
|----|--|
| 専門 | 消化器外科,癌化学療法,<br>内視鏡外科                              |
| 認定 | 日本外科学会専門医・指導医,日本消化器外科学会専門医・指導医,日本がん治療認定機構認定医・暫定教育医 |

部長 内田 茂樹  
出身 金沢大学 H2  
京都大学医学博士 H11

|    |                                    |
|----|------------------------------------|
| 専門 | 消化器外科,内視鏡外科                        |
| 認定 | 日本外科学会専門医・指導医,日本消化器外科学会専門医,臨床研修指導医 |

第2部長 三木 明  
出身 福井医科大学 H10

|    |   |
|----|---|
| 専門 | 消化器外科,内視鏡外科                               |
| 認定 | 日本外科学会専門医,日本消化器外科学会専門医,内視鏡外科技術認定医,臨床研修指導医 |

医長 和田 征大  
出身 京都大学 H19  
京都大学医学博士 H30

|    |            |
|----|------------|
| 専門 | 消化器外科,一般外科 |
| 認定 | 日本外科学会専門医  |

医長 杉本 堯  
出身 関西医科大学 H25

|    |            |
|----|------------|
| 専門 | 消化器外科,一般外科 |
| 認定 | 日本外科学会専門医  |

専攻医 佐藤 洸希  
出身 近畿大学 H30

|    |            |
|----|------------|
| 専門 | 消化器外科,一般外科 |
|----|------------|

専攻医 粟根 健人  
出身 九州大学 H31

|    |            |
|----|------------|
| 専門 | 消化器外科,一般外科 |
|----|------------|

5. 診療設備等



・手術支援ロボット「ダヴィンチ(da Vinci Xi サージカルシステム)」米国インテュイティブ・サージカル社(2017年度導入)

## 6. 診療実績

・手術症例(1月～12月)

|         | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 全手術数    | 572件  | 544件  | 574件  | 579件  | 504件  |
| 全麻手術数   | 415件  | 412件  | 465件  | 421件  | 398件  |
| 腹腔鏡下手術数 | 208件  | 195件  | 228件  | 200件  | 190件  |
| 緊急手術数   | 74件   | 78件   | 91件   | 112件  | 93件   |

| 術式別手術件数<br>(うち鏡視下手術) | 2016年     | 2017年     | 2018年     | 2019年     | 2020年     |
|----------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 食道癌切除術               | 4件 (4)    | 1件        | 1件        | 1件        | 0件        |
| 胃切除術                 | 46件 (16)  | 49件 (31)  | 42件 (22)  | 28件 (8)   | 42件 (17)  |
| 幽門側胃切除術              | 29件 (13)  | 36件 (27)  | 28件 (18)  | 10件 (6)   | 27件 (15)  |
| 胃全摘術                 | 17件 (3)   | 13件 (4)   | 14件 (4)   | 14件 (2)   | 15件 (2)   |
| 大腸切除術                | 75件 (52)  | 72件 (49)  | 86件 (59)  | 73件 (53)  | 79件       |
| 結腸切除術                | 61件 (43)  | 45件 (31)  | 69件 (44)  | 62件 (44)  | 44件 (29)  |
| 直腸切除術                | 14件 (9)   | 27件 (18)  | 17件 (15)  | 11件 (9)   | 35件 (30)  |
| 肝切除術                 | 7件        | 10件       | 5件        | 7件        | 12件       |
| 膵頭十二指腸切除術            | 5件        | 2件        | 3件        | 3件        | 7件        |
| 乳癌手術                 | 86件 (3)   | 83件       | 80件       | 77件       | 83件       |
| 胆嚢摘出術                | 84件 (74)  | 85件 (61)  | 87件 (71)  | 93件 (74)  | 100件 (68) |
| ヘルニア手術               | 115件 (21) | 104件 (28) | 131件 (36) | 116件 (16) | 104件 (20) |
| 虫垂切除術                | 18件 (15)  | 16件 (16)  | 20件 (20)  | 15件 (12)  | 19件 (18)  |
| 小児外科手術(15歳未満)        |           | 9件        | 10件 (4)   | 22件       | 9件 (7)    |
| 良性肛門疾患手術             | 14件       | 12件       | 8件        | 22件       | 25件       |

## 7. 学会認定施設

- ・日本外科学会専門医修練施設
- ・日本消化器外科学会専門医修練施設
- ・地域がん連携拠点病院

## 専攻医の声

豊岡病院外科、卒後4年目の佐藤洸希です。豊岡病院外科にて2年間勤務しています。

当科は消化器外科7名、乳腺外科2名で構成されています(2021年12月現在)。カンファレンスや回診、様々な行事は一つの診療科としてまとまって行動しています。私からは当院消化器外科の魅力について紹介致します。

### ①若手外科医の執刀機会が豊富

地域の基幹病院であり、経験症例が豊富です。胃・大腸を中心に肝胆膵、肛門疾患、ヘルニア、小児外科など疾患分野は幅広く、若手医師に執刀の機会を多く与えていただけるので絶えず様々な症例を経験することができます。指導医は熱心に親切に指導をして下さるので、手術中も良い雰囲気です。執刀ができて成長を実感できます。

地域の特性として進行癌が多いのが特徴です。早期胃癌に対して幽門保存手術、高位分節切除などにも取り組んでいる他、ロボット手術やGISTに対するLECS、直腸癌に対するta-TMEも導入されています。

2020年の手術症例数(うち腹腔鏡下):全手術504例、緊急手術93例、胃45例(19例)、大腸79例(59例)、肝12例、膵7例、胆嚢・ヘルニア・肛門疾患・その他多数。

消化器外科と病理科医師とで合同カンファレンスも行っており、内科・外科隔てなく相談しやすい環境が整っています。特に、肝胆膵症例については近年より多くの手術が施行されるようになってきました。また他科への研修も可能で、大血管手術などを含めて外科専門医に必要な症例は当院のみで全て経験することができます。

### ②土日、夜間の時間を有効活用

当院では救急科が緊急手術も含めた救急患者対応を行うため、当科で土日夜間に行う緊急手術は少ないのが現状です。(当科相談症例もあるため、緊急手術の経験はもちろんできます。)そのため空いた時間を勉強にあてる、休養にあてる、趣味にあてるなど様々な有効利用が可能となります。

### ③学術活動

経験症例が豊富なため、学会発表の材料も豊富です。各地への学会参加は視野を広げるチャンスであり、積極的に後押ししていただけます。

### ④広大な自然と美味しい食事

当院は海山ともに近く、休日にはレジャーを楽しむことができます。夏は海水浴やダイビング、冬はスキーやスノーボード、適度な峠や景色の良い海岸線、空気が綺麗で緑が多く信号は少ない、自転車で巡るには抜群の環境です。また日本海の海の幸(特に蟹)や但馬牛、美味しい水や米、それから出来る美味しいお酒などグルメ好きにもおすすめです。スタッフの人柄もよく、最高の環境で自分を高めることができます。

専攻医 佐藤 洸希



## 乳腺外科

### 1. 乳腺外科の理念・特色

当院は、兵庫県北部では唯一の乳癌学会認定施設で、但馬地域で発症する乳癌の大部分を診療している。

人口の希少な、いわゆる郡部の病院ではあるが、都市部の乳腺専門を標榜する有名病院にひけをとらない乳癌診療の提供を心がけている。

乳腺専門医あるいは乳腺専門医取得を目指す医師のみが、診断、手術、補助療法、再発治療を一貫して担当している。

診断は迅速を旨として、受診当日に針生検あるいは穿刺吸引細胞診を実施している。

治療法の選択にあたっては、乳癌学会編纂の「科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン」に沿ってできるだけ標準的な治療法を患者に提示し、十分に話し合い、患者の意思を尊重して治療方針を決定している。

手術ではセンチネルリンパ節生検を実施することが多いが、ICG 蛍光法でセンチネルリンパ節の同定率を高め、転移の有無の診断には OSNA 法を導入している。

術中の迅速診断や定期的に行っている病理カンファレンスなどでは、常勤病理医の存在がありがたく心強い。

また、関係する職種からなるプレストケアチームを結成しチーム医療を実践している。

診断においてマンモグラフィは放射線科医と外来担当医でダブルチェックを行っている。

超音波は女性技師が受診者全例にスクリーニングエコーを行い、有所見者のみ医師が診察室で再度検査し所見を確認している。

乳癌と診断された方に対しては、乳癌看護認定看護師が術前から術後補助療法に至るまでしっかりサポートし、化学療法においては薬剤師による薬剤投与量や副作用対策に関する助言が欠かせない。

週1回、プレストケアチームによる術前・術後カンファレンスを行い、乳癌診療全体のレベルアップを図っている。

### 2. 目標・プログラム

#### ア. 目標とする医師像

- ・ 乳癌診療に必要な基本的手技と基本的知識を身につけ、患者の社会的背景や家族関係も考慮し、患者の意思を尊重しつつ、診療にあたることができる医師。
- ・ 他者の意見にも素直に耳を傾ける柔軟さと協調性を持った医師。

#### イ. 経験できる診療、技術

- ・ 乳腺疾患の問診、視触診
- ・ マンモグラフィ読影
- ・ 乳腺超音波検査の実施
- ・ CT、MRI、骨シンチの読影
- ・ 穿刺吸引細胞診、CNB、VAB の手技
- ・ 乳癌の治療方針の決定
- ・ 術前薬物療法の実施
- ・ 乳腺良性疾患に対する外来手術の実施
- ・ 乳癌に対する手術の執刀
- ・ 乳癌の術前術後管理
- ・ 術後補助療法の決定と実施
- ・ 術後のフォローアップ
- ・ 再発乳癌の診断と治療選択
- ・ 緩和ケア内科との連携

### 3. 週間予定

|     | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日   | 木曜日   | 金曜日 | 土曜日/日曜日 |
|-----|-----|-----|-------|---|-----|---------|
| 午前  | 外来  | 手術  | 外来    | 外来  | 外来  | /       |
| 午後  | 外来  | 手術  | 外来・手術 | 外来  | 外来  |         |
| 時間外 |     |     |       | 術前・術後症例検討会<br>病理カンファレンス<br>ドックマンモグラフィ<br>読影 |     |         |

#### 4. 指導医・スタッフ

|    |   |    |                                     |
|----|---|----|-------------------------------------|
| 部長 | 水田 誠  | 医長 | 遠藤 真一郎                              |
| 出身 | 兵庫医科大学 S59                                  | 出身 | 島根医科大学 H9                           |
| 専門 | 乳腺外科  | 専門 | 乳腺外科 緩和ケア                           |
| 認定 | 日本外科学会専門医・指導医、日本乳癌学会専門医・指導医、検診マンモグラフィ読影認定医師 | 認定 | 日本外科学会専門医、日本乳癌学会認定医、検診マンモグラフィ読影認定医師 |

#### 5. 診療設備等

- ・ 3D マンモグラフィ
- ・ 1.5TMRI装置 フィリップスジャパン Ingenia1.5
- ・ 3.0TMRI装置 フィリップスジャパン Ingenia3.0
- ・ PDE システム: センチネルリンパ節生検時に用いる ICG 蛍光法に利用
- ・ 乳がんリンパ節転移迅速検査システム OSNA



#### 6. 診療実績

手術症例数

|        | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 乳がん手術  | 84    | 88    | 80    | 76    | 78    |
| 乳房切除術  | 43    | 39    | 49    | 44    | 50    |
| 乳房温存手術 | 41    | 49    | 31    | 32    | 28    |

#### 7. 学会認定施設

日本乳癌学会認定施設

【学会認定専門研修プログラム】

乳腺認定医制度修練カリキュラム(2年)

乳腺専門医制度修練カリキュラム(5年)

【日本専門医機構認定専門研修カリキュラム(サブスペシャリティ領域)】

兵庫京大乳腺専門研修カリキュラム(予定)



## 先輩医師の声

豊岡病院乳腺外科、卒後10年目の福井由紀子と申します。

当院の乳腺外科の特徴は、患者層の広さです。この地域で乳腺外科はここだけですので、いろいろな背景の患者が集まります。一人一人に応じた治療を、看護師、薬剤師、検査技師、理学療法士、リハビリ科スタッフなど他職種によるチームカンファレンスで相談します。その結果をふまえて、患者と一緒に治療を選択し、安全に確実に進めていけるよう支援するという奥深さ、やりがいがあります。

新規乳癌患者は年間100例程度です。少なすぎず多すぎず、勉強しながら仕事もできる、ほどよい規模だと思います。

不便な点は、交通の便です。ただ学会や論文発表、勉強会の参加は積極的に後押しして頂けます。院内でネット配信の勉強会もたくさんありますし、都市の病院と遜色はないと思います。

これまで豊岡病院で勤務されていた先生方は「豊岡の人はいい人ばかり」と言われています。ご飯はおいしく、住みやすく、働きやすい病院です。ぜひ豊岡での勤務を考えてみてください。



似顔絵(自筆)



## 呼吸器・心臓血管外科

### 1. 呼吸器・心臓血管外科の理念・特色

但馬、丹後地域における唯一の心臓血管外科・呼吸器外科である。当科は昭和27年に呼吸器科として発足し、結核の内科・外科治療を行ってきました。しかし結核患者の減少に伴い、心臓外科領域にも対応するようになり、昭和42年に心室中隔欠損の手術に成功し、以後50年を経過している。この患者はその後3人の母となり現在もお元気に生活されています。平成31年より呼吸器・心臓血管外科と名称変更し、心臓血管外科医3名、呼吸器外科医1名が在籍し心臓・大血管・末梢血管・肺・縦隔・胸壁の疾患に対応しています。少ない人員ですが、許せる限り24時間体制で緊急手術にも対応しています。当科の方針は、時流に惑わされることなく遠隔期を考慮した術式を確実にを行い、生命予後、身体能力の改善を目指すことを旨としています。

但馬地方の人口は65歳以上の高齢者率33.5%(全国平均26.6%)、75歳以上の後期高齢者率18.5%(全国平均12.8%)と高齢者が多く住んでいる地方です。したがって、患者の身体的活動力、病気の重症度、合併疾患は様々です。近隣医療機関より当科または循環器内科、呼吸器内科へ紹介されてきますが、常に手術が唯一の治療手段と考えるのではなく、患者の活動能力・希望に沿って嚴重に外来での観察を続け手術時期・適応を模索することもあります。患者の要望、私たちに出来ることを家族とともに話し合いながら治療にあたります。

### 2. 目標・プログラム

#### ア. 目標とする医師像

- ・ 専攻医が医師として必要な基本的診療能力を習得すること
- ・ 専攻医が外科領域の専門的診療能力を習得すること
- ・ 上記に関する知識・技能・態度と高い倫理性を備えることにより、患者に信頼され、標準的な医療を提供でき、プロフェッショナルとしての誇りを持ち、患者への責任を果たせる外科専門医となること
- ・ 外科専門医の育成を通じて地域医療をささえ国民の健康・福祉に貢献すること
- ・ 外科領域全般からサブスペシャリティ領域(心臓血管外科、呼吸器外科)またはこれに準じた外科関連領域の専門研修を行い、それぞれの領域の専門医取得へと連動すること

#### イ. 経験できる診療、技術

- ・ 虚血性心疾患: 労作時狭心症、不安定狭心症、心筋梗塞、左室瘤、虚血性僧帽弁逆流、虚血性心筋症
- ・ 弁膜疾患: 大動脈弁狭窄、大動脈弁逆流、僧帽弁狭窄、僧帽弁逆流、三尖弁逆流
- ・ その他の心疾患: 心臓腫瘍、心房中隔欠損、心房細動
- ・ 大動脈疾患: 胸部大動脈瘤、腹部大動脈瘤、急性大動脈解離
- ・ 末梢血管: 閉塞性動脈硬化症、末梢血管の動脈瘤、バージャー病、下肢静脈瘤、内シャント造設、内シャント狭窄
- ・ 肺疾患: 原発性肺癌、転移性肺癌、良性腫瘍、肺嚢胞、気胸、肺化膿症、膿胸
- ・ 縦隔: 縦隔腫瘍、重症筋無力症
- ・ 胸壁: 中皮腫、胸壁腫瘍、漏斗胸、胸壁外傷
- ・ その他の疾患: 手掌多汗症



### 3. 週間予定

|     | 月曜日            | 火曜日              | 水曜日            | 木曜日                          | 金曜日                           | 土曜日/日曜日 |
|-----|----------------|------------------|----------------|------------------------------|-------------------------------|---------|
| 早朝  |                |                  |                |                              |                               |         |
| 午前  | 手術<br>(心臓・大血管) | 手術<br>(呼吸器外科・血管) | 手術<br>(心臓・大血管) | 外来                           | 外来<br>・<br>血管造影<br>・<br>血管内治療 | /       |
| 午後  |                |                  |                |                              | 病棟カンファレンス<br>症例カンファレンス        |         |
| 時間外 | ICU術後管理        |                  | ICU術後管理        | 内科合同<br>カンファレンス<br>(循環器・呼吸器) |                               |         |

### 4. 指導医・スタッフ

| 副院長<br>兼部長  | 部長   | 部長             | 医長  |
|---|--|----------------|---|
| 那須 通寛   | 田中 仁   | 平野 竜史          | 井内 幹人   |
| 出身 三重大学 S54   | 出身 三重大学 H1   | 出身 三重大学 H1     | 出身 岡山大学 H16   |
| 三重大学医学博士 S60  | 三重大学医学博士 H7  | 三重大学医学博士 H8    |   |
| 専門 心臓血管外科   | 専門 心臓血管外科  | 専門 呼吸器外科       | 専門 心臓血管外科   |
| 認定 日本胸部外科学会認定医・指導医、日本外科学会専門医、三学会構成心臓血管外科認定機構心臓血管外科専門医、修練指導者、臨床研修指導医 | 認定 日本胸部外科学会認定医、日本外科学会認定医、三学会構成心臓血管外科認定機構心臓血管外科専門医、静脈焼灼術実施医、臨床研修指導医 | 認定 日本外科学会外科専門医 | 認定 日本外科学会専門医、日本脈管学会専門医、腹部大動脈ステントグラフト指導医、胸部大動脈ステントグラフト指導医、心臓血管外科専門医、血管内治療医、浅大腿動脈ステントグラフト実施医、下肢静脈瘤血管内焼灼術指導医、臨床研修指導医 |

### 5. 診療設備

バイプレーンアンギオ装置 フィリップス Allura Clarity FD20/15  
 超音波診断装置 フィリップス EPIQ7(生理検査室)  
 移動型汎用型X線透視装置 GE ヘルスケア OEC9900EliteMD  
 全身用X線CT 診断装置 東芝メディカル Aquilion ONE



### 6. 診療実績

心臓・大血管症例数

|          | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 大動脈解離    | 8     | 5     | 10    | 13    | 7     |
| 心筋梗塞・狭心症 | 26    | 18    | 12    | 15    | 21    |
| 弁膜症      | 30    | 50    | 27    | 15    | 27    |
| 胸部大動脈瘤   | 8     | 3     | 9     | 8     | 9     |
| 大動脈損傷    | 3     | 1     | 0     | 0     | 0     |
| その他      | 3     | 1     | 1     | 0     | 0     |
| 合計       | 78    | 78    | 59    | 51    | 64    |

## 心・大血管手術手技数

|               | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 |
|---------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 冠動脈バイパス       | 36    | 29    | 20    | 18    | 25    |
| 弓部置換          | 6     | 1     | 4     | 7     | 2     |
| 基部置換          | 4     | 5     | 1     | 0     | 2     |
| 上行置換          | 12    | 5     | 4     | 11    | 5     |
| 大動脈弁置換        | 17    | 35    | 17    | 9     | 18    |
| 僧帽弁置換         | 7     | 8     | 4     | 4     | 5     |
| 三尖弁形成         | 13    | 9     | 5     | 3     | 10    |
| 僧帽弁形成         | 10    | 5     | 6     | 2     | 9     |
| メイズ手術         | 2     | 3     | 1     | 1     | 2     |
| 胸部ステントグラフト内挿術 | 8     | 4     | 9     | 7     | 8     |
| その他           | 4     | 1     | 4     | 2     | 1     |
| 合計            | 119   | 105   | 75    | 64    | 87    |

## 末梢血管手術数

|                  | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年  | 2020年 |
|------------------|-------|-------|-------|--------|-------|
| 下肢血行再建バイパス術      | 9     | 4     | 7     | 7      | 4     |
| 下肢血行再建血管内治療      | 9     | 5     | 5     | 14     | 16    |
| 腹部大動脈ステントグラフト内挿術 | 22    | 23    | 21    | 7      | 6     |
| 腹部大動脈人工血管置換      | 1     | 1     | 1     | 7      | 5     |
| 血栓摘除術            | 8     | 12    | 4     | 9      | 12    |
| 内シャント血管内治療       | 35    | 40    | 29    | 36     | 29    |
| 内シャント作成術         | 21    | 50    | 36    | 32     | 44    |
| 下肢静脈ストリッピング(焼灼術) | 47    | 27(7) | 31    | 45(43) | 40    |
| 合計               | 152   | 162   | 144   | 157    | 156   |

## 呼吸器外科手術数

|        | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 原発性肺がん | 24    | 51    | 61    | 48    | 42    |
| 転移性肺腫瘍 | 5     | 5     | 9     | 1     | 2     |
| 縦隔腫瘍   | 3     | 3     | 2     | 4     | 3     |
| 気胸     | 18    | 9     | 14    | 6     | 9     |
| 膿胸     | 1     | 1     | 4     | 1     | 1     |
| 生検・その他 | 8     | 5     | 15    | 8     | 4     |
| 合計     | 59    | 74    | 105   | 68    | 61    |

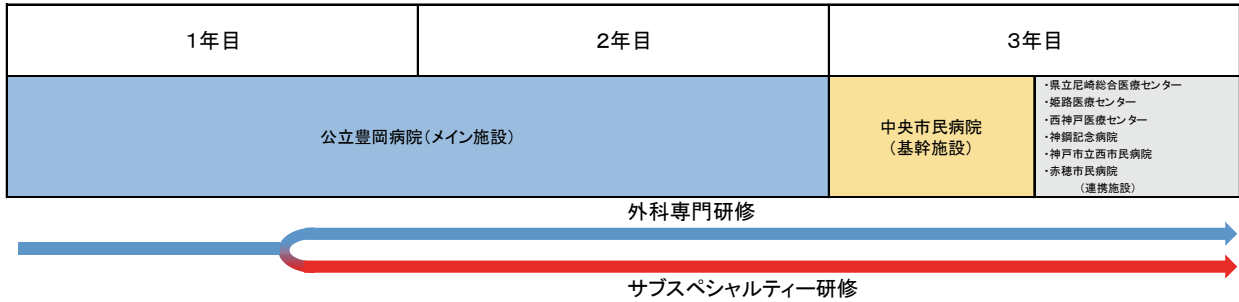
## 7. 学会認定施設

- ・ 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構関連施設
- ・ 呼吸器外科専門医合同委員会認定関連施設
- ・ 関連 10 学会構成胸部ステントグラフト実施施設
- ・ 関連 10 学会構成腹部ステントグラフト実施施設
- ・ 下肢静脈腫瘍焼灼術実施施設

● 連携するプログラム(公立豊岡病院メインコース)

兵庫京大外科専門研修プログラム

公立豊岡病院(外科、乳腺外科、呼吸器・心臓血管外科)での研修モデル



プログラム・資料に関する問い合わせ先

**TEL** 078-302-4321

**FAX** 078-302-7537

**e-mail** kyoikubu@kcho.jp

**website** [http://chuo.kcho.jp/recruit/late\\_resident/medical](http://chuo.kcho.jp/recruit/late_resident/medical)

〒650-0047 神戸市中央区港島南町2丁目1-1

神戸市立医療センター中央市民病院

事務局 総務課 専攻医採用担当



## 基本領域 整形外科専門研修

### 連携

- 京都大学整形外科専門研修プログラム(兵庫地区)
- 神戸市立医療センター整形外科専門研修プログラム

### 1. 整形外科の理念・特色

当院整形外科は日本整形外科学会研修認定施設である。

主に四肢・脊椎の慢性疾患・外傷治療を行っている。

整形外科医師6名・リハビリテーション科医師1名で治療を行っている。病床数は50床を有し、年間手術件数約900件で急性期医療を主としている。手術後状態が安定すれば近医にリハビリ目的にて転院できる連携をとっている。

当科の特徴としては当院が但馬地方の基幹病院であり、救急は3次まで受け入れており、特に外傷においては救急集中治療科の充実により、兵庫北部はもとより鳥取東部から京都北部にかけて脊椎損傷・骨盤骨折・多発骨折含め多くの外傷患者が搬送されてくる。全身管理においては十分な救急科のサポートがあり、整形外科治療に専念できる。他科との連携を通し整形外科研修とし多くの経験を積むことができる。

開放骨折においては初期治療を重視しこだわりを持って治療に当たっている。

専攻医は主に外来・手術・病棟・救急当番を行う。手術は主に外傷治療であるが、慢性疾患もを行っている。担当患者の手術は上級医の指導の元に執刀し、術後管理を含め責任を持って治療できる。

### 2. 経験できる診療、技術

主に外傷治療を習得できる。

### 3. 週間予定

|     | 月曜日          | 火曜日   | 水曜日 | 木曜日          | 金曜日          | 土曜日/日曜日 |
|-----|--------------|-------|-----|--------------|--------------|---------|
| 早朝  |              |       | 抄読会 |              | 症例検討会        | /       |
| 午前  | 手術           | 手術    | 手術  | 外来           | 手術           |         |
| 午後  | 手術<br>(救急当番) | 手術    | 手術  | 手術<br>(救急当番) | 手術<br>(救急当番) |         |
| 時間外 | カンファレンス      | 後病棟業務 |     |              |              |         |

時間外救急当番 平日 5～6日/月 週末2回/月

### 4. 指導医・スタッフ

部長 みはら かずし  
三原 一志  
出身 山梨医科大学 H7

|    |        |
|----|--------|
| 専門 | 整形外科一般 |
|----|--------|

第2部長 ふくもと みつとし  
福本 光利  
出身 愛媛大学 H8

|    |             |
|----|-------------|
| 専門 | 整形外科一般      |
| 認定 | 日本整形外科学会専門医 |

医長 もりした おさむ  
森下 修  
出身 浜松医科大学 H10

|    |        |
|----|--------|
| 専門 | 整形外科一般 |
|----|--------|

医長 かねこ ひろき  
金子 宏樹  
出身 金沢大学 H10

|    |             |
|----|-------------|
| 専門 | 整形外科一般      |
| 認定 | 日本整形外科学会専門医 |

医長 まさもと かづたか  
正本 和誉  
出身 京都大学 H21

京都大学医学博士 R2

|    |                    |
|----|--------------------|
| 専門 | 整形外科一般             |
| 認定 | 日本整形外科学会専門医・脊椎脊髄病医 |

医長 たかつか こうたろう  
高塚 光太郎  
出身 京都大学 H26

|    |        |
|----|--------|
| 専門 | 整形外科一般 |
|----|--------|

医長 なつめ だいち  
夏目 大知  
出身 大阪医科大学 H26

|    |        |
|----|--------|
| 専門 | 整形外科一般 |
|----|--------|

専攻医 やぶ かずま  
藪 壽眞  
出身 京都大学 H30

|    |        |
|----|--------|
| 専門 | 整形外科一般 |
|----|--------|

## 5. 診療設備

- ・1.5T MRI装置 フィリップスジャパン Ingenia1.5
- ・3.0T MRI装置 フィリップスジャパン Ingenia3.0
- ・320列マルチスライスCT キヤノンメディカルシステムズ Aquilion One Vision EDITION



## 6. 診療実績

|          | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 手術総数     | 921   | 941   | 915   | 827   | 852   |
| 下肢骨折手術   | 278   | 331   | 275   | 294   | 255   |
| 上肢骨折手術   | 173   | 164   | 170   | 146   | 167   |
| 頸椎手術     | 19    | 25    | 14    | 22    | 27    |
| 腰椎手術     | 41    | 39    | 50    | 46    | 40    |
| 人工股関節置換術 | 22    | 48    | 27    | 26    | 34    |
| 人工膝関節置換術 | 46    | 49    | 53    | 45    | 40    |
| 人工骨頭置換術  | 70    | 47    | 64    | 68    | 57    |
| 膝靭帯再建術   | 7     | 4     | 1     | 2     | 2     |
| 膝半月板手術   | 2     | 11    | 11    | 2     | 2     |

## 先輩医師の声

H26 年度卒で整形外科 8 年目です。豊岡に来て 3 年目になります。

豊岡病院の特徴としてはまず 3 次救急であり様々な症例が来ることです。もちろん大腿骨近位部骨折など骨粗鬆症をベースにした外傷もたくさんありますが、そればかりということはありません。良くも悪くもドクターヘリで遠方からの搬送もあり多発外傷、脊椎損傷、開放骨折など多彩な症例に触られます。しかし毎日たくさんの患者さんが運ばれてくる感じではなく、入院が一日に 0 件の日もありますし、2 件、とても多い日で 4~5 件というところ。整形は自宅待機の日が月に平日 4-6 回、休日は週末 1-2 回になると思います。

次にとてもフレンドリーな医局です。上級医の多い病院ではありますが、相談もしやすく手伝ってもらえます。自分でひいた症例は基本的には自分で責任をもって執刀をすることになるのですが、難しい症例にもそのおかげで対応できます。後期研修おわりたてのころであれば初めての症例や経験の少ない症例に出会うこともまだまだある時期ですが、手伝ってもらいながらも自分で計画をたて、執刀をすることで自分の糧になります。私も骨盤骨折や頸椎損傷など派手なものや関節内骨折などの難易度が少し上がるような骨折など少しずつ経験値を積んでいっているところ。上級医も自分で引いた症例は基本自分で執刀となるため下の医者に大腿骨近位部ばかりまわってくるなどということはありません。もちろん経験としてやりたいのであれば主治医をもらうことも可能です。慢性疾患も全体の症例数はあるので、来てすぐは外来にあまりいませんが変形性関節症や腰部脊柱管狭窄症など執刀機会はあります。

個人的にはあまり都会に住むのが好きではないので土地としては十分気に入っています。

しかし豊岡は暑くて寒い、雪の降る土地です。私は香川県出身で以前の病院も岡山だったため雪になれていませんし、去年は少なかったのになんとか降りました。降るときは車が見えなくなるくらい降らしいので地元の方はうんざりですが、雪がまだ珍しいと思える私は怖い反面少し楽しみです。周辺には海もあり、山もあり、アウトドアのレジャーは充実していると思います。いわゆる都会的な遊ぶところはあまりありませんが、北近畿自動車道もできてきてそれなりに出やすくなっていると思います。岡山まで 200 km、香川まで 260 km ですが人間なれるものでそれぐらいのドライブなら平気になりました。他にも近くはありませんが 1~3 時間程度のドライブで姫路や神戸、京都、大阪などにでれるため週末の息抜きに小旅行にでかけるのもよいと思います。

豊岡に踏み込んだ最初の印象は残念ながら田舎だなあと感じましたが、病院は働きやすくよい経験になると感じます。皆さんと一緒に働くことを楽しみにしています。

医員 高塚 光太郎





## 基本領域 産婦人科専門研修

### 連携

- 京都大学産婦人科研修プログラム
- 兵庫医科大学病院産科婦人科専門研修プログラム
- 神戸市立医療センター中央市民病院産婦人科研修プログラム
- 兵庫県立尼崎総合医療センター産婦人科研修プログラム

## 1. 産婦人科(但馬こうのとり周産期医療センター)の理念・特色

当院産婦人科は、但馬地方から京丹後地域にかけて唯一の産婦人科中核病院である。この地域唯一の中核病院として婦人科疾患から周産期、不妊治療まで、急性期から慢性期まで、幅の広い医療を提供することが求められており、そのすべてに対しより高度な医療を行えるよう、日々努力している。

2015年1月に発足した「但馬こうのとり周産期医療センター」は但馬地方唯一の地域周産期センターとして、正常分娩から合併症妊娠にいたるまで、あらゆる分娩に対応できる体制を整えている。NICU 併設の周産期センターであるため、但馬地方のみならず、京丹後地域からも母体搬送・紹介を受け入れている。

婦人科疾患についても、子宮筋腫や卵巣のう腫のような良性腫瘍から子宮頸癌や卵巣癌といった婦人科悪性腫瘍まですべてに対応している。良性疾患に対しては腹腔鏡や子宮鏡といった低侵襲手術も積極的に導入している。悪性腫瘍に対しては根治性を求めた拡大手術(広汎子宮全摘術や卵巣悪性腫瘍手術など)と、低侵襲性を追求した手術(腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術)の両方に対応できる体制となっている。2020年度からは、ロボット支援下手術も行っている。さらに、関連診療科との協働の元、放射線療法や化学療法を組み合わせた集学的治療も行っている。

不妊治療としては、妊孕能検査にもとづいて、タイミング療法、排卵誘発、人工授精を行っている。

2019年度からは、婦人科腫瘍学会認定の婦人科腫瘍修練施設、周産期・新生児医学会認定の母体胎児専門医研修施設、日本女性医学会認定の女性ヘルスケア専門医認定研修施設となり、幅広い領域に対して高度な診療な診療の提供、およびその結果としてのサブスペシャリティ取得が可能な体制となった。

## 2. 目標・プログラム

### ア. 目標とする医師像

産婦人科の取り扱うすべての疾患に対し適切な診療が行えるようになるための基礎的素養をもち、サブスペシャリティ(周産期・腫瘍・不妊・女性ヘルスケア)領域も適切に診療できる医師を目指す。

### イ. 経験できる診療、技術

正常分娩取り扱い、ハイリスク妊娠・分娩対応、帝王切開術、胎児エコー、一般婦人科手術、腹腔鏡手術、悪性腫瘍根治手術、経腔手術、一般不妊治療(人工授精含む)など。

## 3. 週間予定

|     | 月曜日                       | 火曜日                       | 水曜日                                     | 木曜日                      | 金曜日                                     | 土曜日/日曜日           |
|-----|---------------------------|---------------------------|---|--------------------------|---|-------------------|
| 午前  | 分娩<br>外来診療<br>(婦人科・産科)    | 婦人科手術<br>分娩<br>外来(婦人科・産科) | 分娩<br>外来診療<br>(婦人科・産科)                  | 分娩<br>外来(婦人科・産科)         | 婦人科手術<br>分娩<br>外来(婦人科・産科・<br>胎児スクリーニング) | 病理カンファ<br>勉強会(隔週) |
| 午後  | 分娩<br>外来診療<br>(婦人科・産科・不妊) | 婦人科手術<br>分娩<br>外来(婦人科・産科) | 分娩<br>外来診療(婦人科・<br>産科・不妊・胎児<br>スクリーニング) | 産科手術<br>分娩<br>外来(婦人科・産科) | 婦人科手術<br>分娩<br>外来<br>(婦人科・産科・不妊)        |                   |
| 時間外 | 周産期カンファ<br>病理カンファ(隔週)     |                           | 術前カンファ                                  | 画像カンファ                   |   |                   |

#### 4. 指導医・スタッフ

但馬こうのとり周産期医療センター  
センター長 住友 理浩  
兼部長

|    |  |
|----|--|
| 出身 | 滋賀医科大学 H11   |
| 専門 | 婦人科腫瘍,周産期医療,母体救命,医療安全  |
| 認定 | 日本産科婦人科学会専門医・指導医,日本婦人科腫瘍学会専門医,日本がん治療認定医機構認定医,日本周産期・新生児医学会母体胎児専門医,母体保護法指定医,ALSOインストラクター, J-MELSベシックコースインストラクター,日本女性医学会女性ヘルスケア 暫定指導医,臨床研修指導医,医療安全管理者,daVinci system onsole surgeon認定 |

医長 上林 翔大

|    |  |
|----|--|
| 出身 | 滋賀医科大学 H25   |
| 専門 | 産婦人科一般   |
| 認定 | 日本産科婦人科学会専門医,日本がん治療認定医機構認定医,母体保護法指定医,日本周産期・新生児医学会新生児蘇生法専門コース修了 |

医長 門元 辰樹

|    |              |
|----|--------------|
| 出身 | 京都大学 H26     |
| 専門 | 産婦人科一般       |
| 認定 | 日本産科婦人科学会専門医 |

医員 濱田 航平

|    |              |
|----|--------------|
| 出身 | 京都大学 H27     |
| 専門 | 産婦人科一般       |
| 認定 | 日本産科婦人科学会専門医 |

医員 山田 香

|    |              |
|----|--------------|
| 出身 | 熊本大学 H27     |
| 専門 | 産婦人科一般       |
| 認定 | 日本産科婦人科学会専門医 |

専攻医 今竹 ひかる

|    |          |
|----|----------|
| 出身 | 島根大学 H29 |
| 専門 | 産婦人科一般   |

専攻医 大月 美輝

|    |          |
|----|----------|
| 出身 | 京都大学 H29 |
| 専門 | 産婦人科一般   |

#### 5. 診療設備等

Volson E10 x2台, Volson E8 x1台



産婦人科領域

#### 6. 診療実績

| 術式                                   | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|--------------------------------------|--------|--------|--------|--------|
| 分娩件数                                 | 859    | 810    | 828    | 707    |
| 帝王切開                                 | 108    | 109    | 93     | 98     |
| 母体搬送受け入れ件数                           | 2      | 6      | 8      | 11     |
| 婦人科手術                                | 108    | 194    | 202    | 150    |
| ★開腹手術                                |        |        |        |        |
| 腹式単純子宮全摘術                            | 35     | 16     | 8      | 13     |
| 腹式子宮筋腫核出術                            | 5      | 2      | 2件     | 1      |
| 腹式子宮附属機切除術／卵巣腫瘍核出術<br>(子宮全摘に伴うものを除く) | 8      | 4      | 9件     | 2      |
| 子宮悪性腫瘍手術                             | 10     | 14     | 14     | 9      |
| (うち広汎子宮全摘術)                          | 4      | 4      | 4      | 3      |
| 卵巣悪性腫瘍手術                             | 10     | 12     | 9      | 9      |
| その他開腹手術                              | 1      | 1      | 3      | 2      |

|   |    |    |    |    |
|---|----|----|----|----|
| ★腹腔鏡手術                                  |    |    |    |    |
| 腹腔鏡下子宮摘出術                               | 31 | 32 | 28 | 17 |
| 腹腔鏡下付属器切除術／卵巣腫瘍摘出術                      | 29 | 27 | 41 | 24 |
| 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体癌)                      | 0  | 0  | 3  | 7  |
| ロボット支援下腹腔鏡下子宮全摘術                        | 0  | 0  | 3  | 5  |
| その他腹腔鏡手術                                | 11 | 8  | 6  | 14 |
| ★経腔手術                                   |    |    |    |    |
| 子宮鏡下子宮筋腫核出術／子宮内膜ポリープ切除術<br>／子宮鏡下子宮内膜搔爬術 | 35 | 27 | 27 | 15 |
| 子宮頸部円錐切除術                               | 49 | 34 | 26 | 23 |
| 頸管縫縮術                                   | 1  | 1  | 7  | 5  |
| 子宮脱手術                                   | 2  | 5  | 9  | 5  |

## 7. 学会認定施設

地域周産期母子医療センター

日本産婦人科学会専門医制度 専攻医指導施設

日本婦人科腫瘍学会 婦人科腫瘍専門医修練施設

日本周産期・新生児医学会 周産期専門医(母体・胎児)指定施設

日本女性医学会 女性ヘルスケア専門医認定研修施設

## 専攻医の声

大学病院で1年間の後期研修を行った後に豊岡病院で勤務をしています。豊岡病院は但馬地域を代表する基幹病院です。年間約900件の分娩があり、豊富な分娩症例を経験することができます。産科の症例が豊富なのはもちろん、婦人科疾患も近年は症例数が増加しており、腹腔鏡手術も積極的にこなしています。数年前に腹腔鏡手術を本格的に始めた時は症例数こそ多くありませんでしたが、私が豊岡病院に勤務したこの2年間の間でも症例数は着実に増加しており、今後も増加することが予想されます。悪性疾患の取り扱い数も増えています。このように、腹腔鏡や悪性腫瘍の手術についても当院では豊富に勉強することができます。不妊治療についても不妊外来を行っており、人工授精までは当院で行なっています。

また臨床だけでなく、研究や学会発表といった学術活動にも力を入れています。日本産婦人科学会をはじめとする関連学会の学術集会には、交代でなるべく皆が参加するようにしています。豊岡病院は但馬地域の約9割の分娩を取り扱っているという特性から、周産期の研究を行うのに非常に適した環境にあり、他の診療科とも連携しながら臨床研究を積極的に行い、学会発表も積極的に行なっています。2019年の日本産婦人科学会では当院からの研究発表がJSOG Congress Encouragement Award候補演題に選ばれました。当院は産婦人科の幅広い領域を勉強することができ、非常に充実した研修生活を送ることができる病院です。

最後に当科はオン・オフもはっきりしており、休日は当直(月5回ほど)が基本的に対応するため、当直のない日は思いっきりリフレッシュすることができます。海や温泉、スキー場、多くのゴルフ場等、周辺には素晴らしい環境も整っており、どれも車で20-30分ほどの距離にあります。食事や新鮮な魚介類、カニ、野菜、但馬牛、日本酒などグルメにも事欠きません。研修を行うのには素晴らしい環境だと思います。

専攻医 Aさん



## 基本領域 眼科専門研修

### 連携

- 京都大学大学院医学研究科眼科学専門研修プログラム
- 尼崎総合医療センター眼科学専門研修プログラム
- 大阪赤十字病院眼科専門研修プログラム
- 大阪市立総合医療センター眼科・小児眼科専門研修プログラム

〔 公立日高医療センターの眼科センターは、2023 年度に公立豊岡病院へ移転する予定です。 〕

## 1. 眼科の理念・特色

当科は兵庫県北部で唯一の眼科センターであり、但馬地域を中心に、京丹後地域の一部を含む眼科医療において中核的な役割を担っている。

網膜硝子体、緑内障、白内障、ぶどう膜炎を主に、角膜疾患、神経眼科一般、斜視弱視治療、未熟児網膜症など様々な眼科疾患に対する診療を行っており、さらに救急科とも連携し、外傷を含む眼科救急疾患にも24時間対応している。

また公共交通機関が少ない但馬地域では、高齢者でも車を運転する機会が多く、平日は毎日手術可能な体制を整え、早期治療により患者の視機能を運転免許に必要なレベルに維持するよう努めることで、地域住民の生活の質を守る事にも貢献している。

さらに学会や勉強会への参加費補助を積極的に行うことで、最新の知見を得る機会を多く設け、それを日常臨床に還元できるような環境を整えている。

## 2. 目標・プログラム

### ア. 目標とする医師像

眼科学の専門的知識を習得し、新生児から高齢者に至る幅広い患者層の眼科疾患に対して、日々進歩する眼科医療に対応できること  
 診断・検査・手術・術後管理を経験し、診断から治療に至る過程、治療の実際とその経過、患者に対する精神的ケアなど基本的な診療過程の進め方を理解していること

診療技能だけではなく、学会発表や論文作成を通して evidence に基づいた科学的な視点から思考できること

### イ. 経験できる診療、習得できる技術

#### 経験できる検査

- ・ 視力検査、屈折検査、眼圧検査、色覚検査
- ・ 角膜内皮検査、角膜形状解析、角膜知覚検査
- ・ 涙液分泌機能検査、導涙検査
- ・ 蛍光眼底検査(フルオレセイン・インドシアニングリーン)
- ・ 光干渉断層法による眼底検査
- ・ 視野検査(動量的視野検査・静的量的視野検査)、隅角鏡検査
- ・ 瞳孔検査、網膜電位図
- ・ 眼位検査、両眼視機能検査
- ・ 各種画像検査(単純X線、CT、MRI、超音波検査等)

#### 経験できる疾患

- ・ 屈折異常
- ・ 眼瞼・角膜・結膜・強膜の疾患
- ・ 涙器・涙道疾患
- ・ 白内障
- ・ 緑内障
- ・ ぶどう膜炎
- ・ 網膜剥離
- ・ 黄斑円孔、黄斑上膜、中心性網脈絡膜症、加齢黄斑変性症を代表とする黄斑疾患
- ・ 糖尿病、高血圧、動脈硬化による眼底変化を代表とする眼循環障害・虚血性疾患
- ・ 網膜色素変性症、各種黄斑変性症を代表とする先天性、後天性網膜変性疾患
- ・ 視神経炎、眼位・眼球運動異常、頭蓋内疾患に続発する視機能異常
- ・ 眼窩内疾患

#### 経験できる外科的手技

- ・ レーザー  
虹彩切開術、後囊切開術、網膜光凝固術、選択的線維柱帯形成術
- ・ 外来処置  
前房穿刺、前房水採取、角膜そうは、涙管通水、結膜下注射、テノン嚢下注射
- ・ 手術  
白内障手術、緑内障手術(流出路再建術、濾過手術)、硝子体手術、外眼部手術(霰粒腫、翼状片、結膜縫合等)、角膜手術(帯状角膜変性)、硝子体注射

### 3. 週間予定

|    | 月曜日             | 火曜日     | 水曜日     | 木曜日             | 金曜日     | 土曜日/日曜日      |
|----|-----------------|---------|---------|-----------------|---------|--------------|
| 午前 | 手術または外来         | 手術または外来 | 手術または外来 | 手術または外来         | 手術または外来 | 休日<br>(病棟当番) |
| 午後 | 硝子体内注射<br>または外来 | 手術または外来 | 手術または外来 | 硝子体内注射<br>または外来 | 手術または外来 |              |

### 4. 指導医・スタッフ

| 眼科センター長 <small>みなと かずみ</small><br>港 一美 |               | 眼科センター<br>部長 <small>なかにし ひでお</small><br>中西 秀雄 |                  | 医員 <small>すぎもと やすこ</small><br>杉本 八寿子 |                  | 医員 <small>のだ かずのり</small><br>野田 和誉 |           |
|--|---------------|---|------------------|--------------------------------------|------------------|------------------------------------|-----------|
| 出身 自治医科大学 H1                           |               | 出身 京都大学 H14                                   |                  | 出身 関西医科大学 H25                        |                  | 出身 近畿大学 H27                        |           |
| 専門                                     | 眼科全般、眼炎症、眼感染症 | 専門  | 眼科全般、硝子体手術、緑内障手術 | 専門                                   | 眼科全般             | 専門                                 | 眼科全般      |
| 認定                                     | 日本眼科学会専門医     | 認定  | 日本眼科学会専門医、PDT認定医 | 認定                                   | 日本眼科学会専門医、PDT認定医 | 認定                                 | 日本眼科学会専門医 |

### 5. 診療設備等

手術室には、手術顕微鏡 Proveo8、VISU200 S8、硝子体手術装置コンステレーション、超音波白内障手術装置センチュリオン、広角観察システム BIOM、涙道内視鏡等の最新器械が備えられている。

外来には、光格眼底カメラとして optos 200Tx、前眼部光干渉断層計として TOMEY 社 CASIA2、蛍光眼底造影装置および網膜光干渉断層計として NIDEK 社 Mirante、また HEIDELBERG 社スペクトラリスが備えられ、これらは NIDEK 社 NAVIS (画像ファイリングシステム) を介して各診察室で閲覧可能となっている。他に、光学式非接触型眼軸長測定装置 OA2000、ハンフリー自動視野計、ゴールドマン視野計、超音波診断装置、網膜電図、眼科治療用レーザーとしてマルチカラーレーザー、PASCAL、YAG レーザー等があり、これらの診断機器を使用して正確な診断のもと、治療を行っている。

### 6. 診療実績

|        | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 |
|--------|-------|-------|-------|-------|
| 白内障    | 941   | 745   | 967   | 853   |
| 網膜硝子体  | 87    | 96    | 155   | 120   |
| 緑内障    | 110   | 75    | 122   | 97    |
| 涙道     | 1     | 0     | 0     | 0     |
| 眼瞼     | 0     | 0     | 2     | 3     |
| その他    | 66    | 56    | 92    | 49    |
| 硝子体内注射 | 1,349 | 1,616 | 1,993 | 2,182 |

### 7. 学会認定施設

日本眼科学会研修施設

## 先輩医師の声

卒後7年目の野田と申します。

公立豊岡病院で2年間の初期研修を行い、その際にこちらの眼科センターで研修させていただいたことがきっかけとなり、現在の進路を選択しました。

京都大学眼科専門研修プログラムの一環で豊岡に戻ってから約2年が経ちましたが、但馬唯一の眼科センターということで多彩な症例を経験することができ、執刀医としても時期によっては数か月先まで手術枠が埋まるほど症例数も豊富です。

また都会とは違い、眼科へのアクセスがわるいためか、重症化して初めて受診するケースも多く、成熟白内障や重症な糖尿病網膜症、角膜感染症なども比較的多く経験することができます。

そういった難症例に遭遇した際でも、ミニカンファレンスのような形で指導医の先生方とその都度相談にのっていただきながら診療を行っております。

当科に在籍している医師は出身大学や、医局も様々であり、それぞれの経験から異なる視点で意見交換ができるのも勉強になりますし、論文執筆においても熱心に指導、サポートして頂いております。

また当センターの特徴として、医師以外で専門性の高い診療スタッフが多く在籍しており、眼科に関して非常に勉強熱心で、患者様のメンタルケアまで補助していただけるため、日々の診療を最小限のストレスで円滑に進めることができます。

眼科はオンとオフが比較的はっきりしている診療科でもあり、プライベートでは城崎温泉で癒されたり、但馬の自然を舞台にキャンプやマリンスポーツ、冬場はスキー場まで近いので仕事終わりにナイターで滑りにでかけることも可能です。

研修を行うのには素晴らしい環境が整っておりますので、皆様とともに働ける日を楽しみにしております。

医員 野田 和誉





## 基本領域 泌尿器科専門研修

### 連携

- 京都大学広域連携専門研修プログラム
- 兵庫医科大学泌尿器科専門研修プログラム
- 兵庫・岡山地域泌尿器科専門研修プログラム

## 1. 泌尿器科の理念・特色

- ① 但馬地方の基幹病院の泌尿器科として、尿路悪性腫瘍、尿路結石、前立腺肥大症などの症例が集中している。
- ② 当科では尿路男性生殖器の腫瘍、尿路結石、尿路性器感染症、排尿障害、女性骨盤底疾患など広範囲な疾患の診断、治療を行っている。
- ③ 悪性腫瘍の手術の中心は腹腔鏡手術で、近年増加傾向である。従来の腹腔鏡下腎摘出術、副腎切除術に加え、2014年から腹腔鏡下前立腺全摘術、腹腔鏡下腎部分切除術、2017年から腹腔鏡下膀胱全摘術を開始している。
- ④ 近年急速に増加している前立腺癌の検査では、原則外来で前立腺生検を行っている。
- ⑤ 転移性腫瘍に対しては、様々な化学療法剤や分子標的薬などによる治療を積極的に行っている。
- ⑥ 骨盤臓器脱、腹圧性尿失禁などの女性特有の疾患に対し、2016年から女性泌尿器科外来を設置し、メッシュを用いた根治術(LSC,TVM,TOT)を積極的に行っている。
- ⑦ 尿路結石の治療は、体外衝撃波結石破碎装置(ストルツ社製モジュリス)による日帰りの破碎術を中心とし、その他、経尿道的破石術(TUL)、経皮的破石術(PNL)などの内視鏡手術を行っている。
- ⑧ 慢性腎不全に対して、腹膜透析(CAPD)を行っている。
- ⑨ 月曜朝に文献抄読会、夕に症例カンファレンス、水曜夕に薬剤勉強会または腹腔鏡手術検討会、木曜朝に病理カンファレンス、金曜朝に画像カンファレンスを行っており、スタッフ一同で治療方針の検討を行い、標準的治療に即した医療の実践を心がけている。

## 2. 目標・プログラム

### ア. 目標とする医師像

泌尿器科医は超高齢社会の総合的な医療ニーズに対応しつつ泌尿器科領域における幅広い知識、錬磨された技能と高い倫理性を備えた医師であるという基本姿勢のもと、

1. 泌尿器科専門知識
2. 泌尿器科専門技能: 診察・検査・診断・処置・手術
3. 継続的な科学的探求心の涵養
4. 倫理観と医療のプロフェッショナルリズム

の4つのコアコンピテンシーからなる資質を備えた泌尿器科専門医を目指す。

### イ. 経験できる診療、技術

指導医のもと腹腔鏡手術、ロボット手術、開腹手術の執刀医として経験を積めます。

執刀手術: 前立腺生検、膀胱鏡、逆行性腎盂造影・尿道カテーテル留置、経尿路的膀胱腫瘍切除術、経尿路的尿路結石破碎術、経尿路的前立腺切除術、尿道カルンクル切除術、陰嚢内手術、包茎手術、前立腺全摘術、腹腔鏡下腎・尿路悪性腫瘍手術、腹腔鏡下副腎摘除術、PNL、ESWL など

## 3. 週間予定

|     | 月曜日      | 火曜日  | 水曜日 | 木曜日            | 金曜日               | 土曜日/日曜日 |
|-----|----------|------|-----|----------------|-------------------|---------|
| 早朝  | 8:15～抄読会 |      |     | 8:15～病理カンファレンス | 8:15～レントゲンカンファレンス |         |
| 午前  | 手術       | 外来   | 外来  | 手術             | 手術                |         |
| 午後  | 手術       | ESWL | 手術  | 手術             | 手術                |         |
| 時間外 |          |      |     |                |                   |         |

#### 4. 指導医・スタッフ

顧問 <sup>たき ようじ</sup> 瀧 洋二  
出身 京都大学 S52

|    |                 |
|----|-----------------|
| 専門 | 泌尿器科疾患全般、CAPD   |
| 認定 | 日本泌尿器科学会専門医・指導医 |

副院長  
兼部長 <sup>しらほせ としあき</sup> 白波瀬 敏明  
出身 京都大学 S61

|    |          |
|----|----------|
| 専門 | 泌尿器科疾患全般 |
|----|----------|

部長 <sup>わたなべ じゆん</sup> 渡部 淳  
出身 筑波大学 H5

京都大学医学博士 H20

|    |   |
|----|---|
| 専門 | 泌尿器科疾患全般  |
| 認定 | 日本泌尿器科学会専門医・指導医・泌尿器ロボット支援手術プロクター、日本泌尿器科学会泌尿器腹腔鏡技術認定医、日本内視鏡外科学会技術認定医 |

医長 <sup>うえがき まさゆき</sup> 植垣 正幸  
出身 鳥取大学 H16

京都大学医学博士 R1

|    |  |
|----|--|
| 専門 | 泌尿器科疾患全般   |
| 認定 | 日本泌尿器科学会専門医・指導医・泌尿器ロボット支援手術プロクター、日本泌尿器科学会泌尿器腹腔鏡技術認定医、日本がん治療認定医機構認定医、日本内視鏡外科学会技術認定医 |

医長 <sup>うえむら ゆういち</sup> 植村 祐一  
出身 山口大学 H19

|    |                 |
|----|-----------------|
| 専門 | 泌尿器科疾患全般        |
| 認定 | 日本泌尿器科学会専門医・指導医 |

医員 <sup>きくや しおり</sup> 菊谷 詩織  
出身 京都大学 H28

|    |          |
|----|----------|
| 専門 | 泌尿器科疾患全般 |
|----|----------|

専攻医 <sup>こくら かずき</sup> 古倉 和紀  
出身 愛知医科大学 H31

|    |          |
|----|----------|
| 専門 | 泌尿器科疾患全般 |
|----|----------|

#### 5. 診療設備等



手術支援ロボット「ダヴィンチ (da Vinci Xi サージカルシステム)」米国インテリジェント・サージカル社 (平成 29 年度導入)

#### 6. 診療実績

|           |         | 2016 年 | 2017 年 | 2018 年 | 2019 年 | 2020 年 |
|-----------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 手術件数      |         | 482    | 504    | 535    | 597    | 583    |
| 膀胱全摘出術    | ロボット支援  | -      | -      | -      | 13     | 10     |
|           | 腹腔鏡     | -      | 8      | 10     | 0      | 0      |
|           | 開腹      | 8      | 0      | 0      | 0      | 0      |
| 前立腺全摘出術   | ロボット支援下 | -      | 4      | 79     | 56     | 56     |
|           | 腹腔鏡     | 59     | 40     | 0      | 0      | 6      |
|           | 開腹      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      |
| 腎(尿管)全摘出術 | 腹腔鏡     | 20     | 28     | 28     | 25     | 32     |
|           | 開腹      | 3      | 0      | 0      | 0      | 3      |
| 腎部分切除術    | ロボット支援下 | -      | -      | 5      | 14     | 17     |
|           | 腹腔鏡     | 5      | 4      | 2      | 0      | 0      |
|           | 開腹      | 1      | 0      | 1      | 0      | 1      |
| 陰茎癌手術     |         | 1      | 1      | 0      | 5      | 0      |
| 高位精巣摘除    |         | 2      | 6      | 2      | 4      | 5      |

|               |     |     |     |     |     |
|---------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| TURBT         | 155 | 143 | 142 | 161 | 177 |
| TURP (+HOLEP) | 33  | 32  | 27  | 39  | 33  |
| TUL           | 62  | 53  | 39  | 94  | 72  |
| PNL           | 16  | 2   | 5   | 6   | 4   |
| LSC           | 0   | 14  | 27  | 7   | 5   |
| TOT,TVM       | 1   | 8   | 3   | 3   | 0   |
| 停留精巣          | 9   | 10  | 5   | 3   | 5   |
| CAPD 手術       | 4   | 5   | 3   | 3   | 5   |

## 7. 学会認定施設

日本泌尿器科学会専門医教育施設

### 専攻医の声

私はここ豊岡病院で3年目を迎えています。

兵庫県川辺郡猪名川町という小さな町で育ち、大阪の中学高校、愛知の大学を出たあと豊岡病院で初期研修を終えました。大学時代から志望科をいくつか絞っていたことありますが、初期研修2年目までには、泌尿器科を志すことに決めていました。豊岡病院に残り研修を開始するにあたり、大学教授に相談の上、自ら志願して豊岡病院での後期研修を始めることができました。

ところで、泌尿器科はどのような特徴を持つ科と考えますか。私は、内科でもあり外科でもある幅の広さを特徴にもつ科であると考えています。そのため、多くのことを考え、実践し、覚えて行く必要があります。この病院で、指導医の先生方には、適度な距離から内科医として治療方針の助言や、外科医として手術手技に関する多くのこと指導頂き、私自身日々成長させていただいています。

また、豊岡病院の医療エリアはとても広範囲に及びますが、個人医院も含め泌尿器科の先生が特に少ないエリアです。そのため、内科分野・外科分野問わず多くの症例が集まります。多くの外来経験を得ることができ、同時に多くの手術症例に出会うことができる病院です。

週末には、都心とは違った娯楽で案外楽しく過ごせます。スキーやキャンプ・釣り・マリンスポーツなどアウトドアの趣味の方には恵まれた環境です。

指導していただく先生方、病院の環境を考えると、後期研修医として自身の能力を伸ばすことに関し大変恵まれている病院ではないでしょうか。まだまだ勉強中の身ではありますが、着実に学ぶことができていると実感しています。

豊岡病院での研修を受け入れてくださった大学の教授に感謝しながら、皆様と一緒に働ける日が来る様、豊岡の地で心よりお待ちしております。

専攻医 古倉 和紀



## 基本領域 脳神経外科専門研修

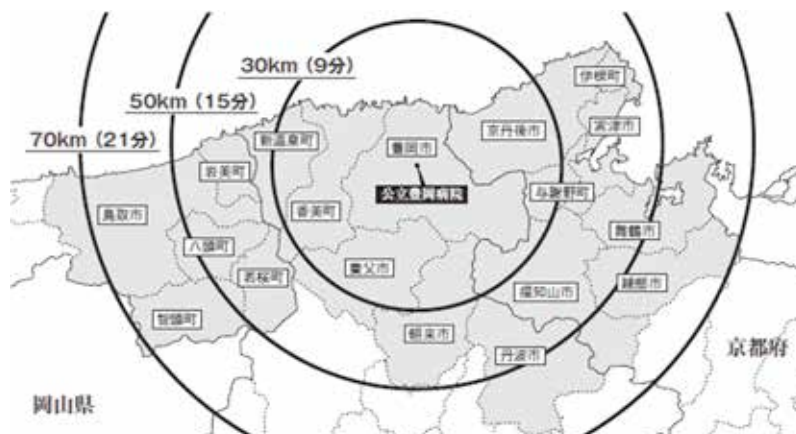
### 連携

- 脳神経外科専門研修 神戸大学医学部プログラム

## 1. 脳神経外科の理念・特色

原則的に脳神経外科疾患すべてに対応が可能で、脳外科医が初期治療から直接対応できる体制を24時間にわたってとっています。特に、救急集中治療科と密接な連携をとり、下記の広域にわたる地域医療に貢献するよう心掛けています。

また、より高い質的診療レベルの脳外科治療をめざして、最新の機器を用いた出来る限りの低侵襲治療、手術を行うように努力しています。



(病院 HP ドクターヘリ情報提供より)

## 2. 目標・プログラム

公立豊岡病院において脳神経外科を研修する専攻医には下記にあげる脳神経外科疾患の知識や診断・治療技術を習得することを目指します。

### 急性期および慢性期脳血管障害

破裂脳動脈瘤に対する動脈瘤直達術、脳梗塞急性期のrt-PA静注療法を積極的に行っています。また近年のEBMに基づいた慢性期脳血管疾患(未破裂動脈瘤、頸動脈狭窄、脳内主幹動脈閉塞、もやもや病など)に対する予防的治療、すなわち未破裂動脈瘤直達術、頸動脈血栓内膜剥離術、EC-ICバイパス術も積極的に行っています。

動脈瘤に対する血管内動脈瘤塞栓術、頸部頸動脈狭窄に対するステント留置、急性期脳梗塞に対する経皮的血栓回収術など、近年適応疾患の拡大の著しい血管内治療にも対応しており、脳血管内治療専門医による治療を行っています。

脳内出血に合併した水頭症に対して、神経内視鏡を用いた脳室開窓術および脳内血腫除去を行っており、特に高齢者の脳内出血症例において以前より格段の機能予後の向上が見込まれる低侵襲治療として期待されています。

### 脳腫瘍に対する集学的治療

脳腫瘍、特に悪性脳腫瘍に対しては開頭摘出手術後の補充療法が重要ですが、当科では化学療法および放射線治療医による放射線治療を含めた集学的治療を行っています。また、神戸大学脳神経外科での臨床治験などにも参加しています。

頭蓋底手術手技を用いた頭蓋底良性腫瘍の全摘出術、下垂体腫瘍に対するHardy手術など、治療困難な症例にも十分対応しています。また、神経内視鏡を用いた脳室内腫瘍の生検術も施行しています。

転移性脳腫瘍などに対するガンマナイフ治療の認識が一般的となってきましたが、当科では神戸にある専門病院を紹介しています。

### 脊椎、脊髄疾患

脊椎変性疾患、脊髄腫瘍などに対する手術を積極的に行って実績を挙げており、治療成績も良好です。

### 小児疾患

産婦人科、小児科の基幹病院でもある当院においては、水頭症、髄膜瘤などの小児疾患への対応も必須です。当科では神経内視鏡など、最新の技術を駆使した小児脳外科治療が可能です。

### 外傷性疾患

外傷性疾患では、緊急手術のみならず、重症例に対する頭蓋内圧モニタリング、バルビツレート治療など救命および機能予後回復へ向けた多面的な治療を行っています。

### 機能的疾患

三叉神経痛や舌咽神経痛、顔面けいれんに対する脳神経減圧術を行っています。また、脳卒中後の痙性固縮が強い症例に対して末梢神経縮小術を行い、リハビリテーション加療や介護負担の軽減に寄与しています。

### 脳ドック

当院では頭部MRI検査だけでなく、頸部経頸動脈エコー、頸椎MRI、認知症予防目的の高次脳機能検査を含めた脳ドックを脳神経外科主導で行っており、充実した脳ドックとなっています。

### 3. 週間予定

|            | 月曜日       | 火曜日       | 水曜日            | 木曜日       | 金曜日            | 土曜日/日曜日 |
|------------|-----------|-----------|----------------|-----------|----------------|---------|
| 早期<br>8:30 | 回診        | 回診        | 回診             | 回診        | 回診             |         |
| 午前         |           | 手術        | 血管内治療          | 手術        |                | 回診(当番)  |
| 午後         | 脳血管撮影     | 手術        | 血管内治療<br>脳血管撮影 | 手術        | リハビリ回診<br>(隔週) |         |
| 時間外        | 画像カンファレンス | 画像カンファレンス | 画像カンファレンス      | 画像カンファレンス | 画像カンファレンス      |         |

※画像カンファレンス内で術前・術後の症例検討あり

### 4. 指導医・スタッフ

医長 <sup>いしい たいじ</sup> 石井 大嗣  
出身 三重大学 H16

医長 <sup>やまもと ゆうすけ</sup> 山本 祐輔  
出身 神戸大学 H19

医長 <sup>いけうち ゆうすけ</sup> 池内 佑介  
出身 神戸大学 H26

専攻医 <sup>しまさき ともや</sup> 嶋崎 智哉  
出身 高知大学 H30

神戸大学医学博士 H30

|    |  |
|----|--|
| 専門 | 脳神経外科一般、脳血管内治療   |
| 認定 | 日本脳神経外科学会専門医、日本脳神経血管内治療学会専門医、日本脳卒中学会専門医、日本DMAT隊員、臨床研修指導医 |

|    |              |
|----|--------------|
| 専門 | 脳神経外科一般      |
| 認定 | 日本脳神経外科学会専門医 |

|    |              |
|----|--------------|
| 専門 | 脳神経外科一般      |
| 認定 | 日本脳神経外科学会専門医 |

|    |         |
|----|---------|
| 専門 | 脳神経外科一般 |
|----|---------|

専攻医 <sup>にった なおき</sup> 新田 修幹  
出身 島根大学 H31

|    |         |
|----|---------|
| 専門 | 脳神経外科一般 |
|----|---------|

### 5. 診療設備等

- ・手術用顕微鏡 オリンパス OME-9015-N1-IR
- ・脳血管撮影装置 フリップスジャパン Allura Clarity FD 20/15
- ・ナビゲーションシステム BrainLab Kick ナビゲーション
- ・脳神経内視鏡 オリンパス VISERA 4K

### 6. 診療実績

手術症例数(2020.1~2020.12)

|              |      |           |         |
|--------------|------|-----------|---------|
| 脳動脈瘤直達手術     | 27 例 | 脳腫瘍摘出術    | 6 例     |
| 脳動静脈奇形摘出術    | 1 例  | 経鼻経蝶形骨洞手術 | 2 例     |
| 機械的血栓回収術     | 40 例 | 急性硬膜外血腫   | 4 例     |
| 頸動脈血栓内膜剥離術   | 2 例  | 急性硬膜下血腫   | 15 例    |
| バイパス手術       | 2 例  | 慢性硬膜下血腫   | 83 例    |
| 開頭脳内血腫除去術    | 5 例  | 脳血管内手術    | 105 例   |
| 定位的脳内血腫吸引除去術 | 2 例  | その他       | 23 例    |
| 合 計          |      |           | 317 例/年 |

## 7. 学会認定施設

当脳神経外科施設は長年の豊富な症例数、治療経験、積極的な学会活動などが評価され、日本脳神経外科学会の専門医研修プログラム連携施設に認定されています。

また当院は、平成 16 年には日本脳卒中学会の脳卒中学会認定研修教育病院にも指定されており、脳神経内科との共同で、今後は病院のシステムとしてストロークユニットの構築も視野に入れ、さらに脳卒中診療に力を入れていく予定です。

## 専攻医の声

私は神戸大学の医局人事で 2021 年 4 月に着任しました。

当院の特徴としては症例が豊富であることが挙げられます。当院は但馬地区で唯一の救命救急センターとなっており多くの患者様が運ばれます。血管障害を中心とし脳腫瘍、外傷など幅広い症例経験が可能で、脳神経外科専門医取得に向けて豊富で幅広い範囲の手術症例数と、経験豊富な指導医のもと、質の高い研究機会を得ることができています。

今後の低侵襲の代表的な部門になると考えられる血管内治療に関しても豊富な症例を経験することができ、脳血管内治療専門医のもとで脳梗塞の血栓回収術、くも膜下出血のコイル塞栓術など急性期脳卒中治療の経験を多く積むことができます。

また外傷性頭蓋内出血の非手術症例や手術直後の全身管理、救急症例の初療は救急科が対応してくれるため、より脳外科の専門的治療に集中できる環境となっています。

忙しいながらも充実した毎日を過ごすことができ、経験を積むには適した施設であると思います。

専攻医 嶋崎 智哉







## 基本領域 放射線科専門研修

### 連携

- 滋賀医科大学放射線科専門研修プログラム

### 1. 放射線科の理念・特色

放射線科の役割は超音波検査、X線撮影やCT、MRIおよび核医学検査などを利用する画像診断、画像診断を応用した低侵襲性治療(IVR)、および放射線を使用して種々の疾患の放射線治療を行うことにあります。

近年、各種画像診断の進歩は著しく、CTでは64列以上の多列CTが当然になり、一回の撮像範囲は広く、撮像時間はきわめて短くなされています。撮像された画像を元に再構成し、追加被曝なく任意の断面で患者の状態評価ができるようになってきました。MRIでは3T MRIが登場し、画質の向上、撮像時間の短縮がなされています。IVRでは様々なデバイスが開発され、より簡便に、低侵襲に患者の治療が行われます。

放射線科では、医療機器の進歩に応じて、より患者に適した検査を心がけ、患者の最良な治療を行うことを目標としています。

### 2. 目標・プログラム

#### ア. 目標とする医師像

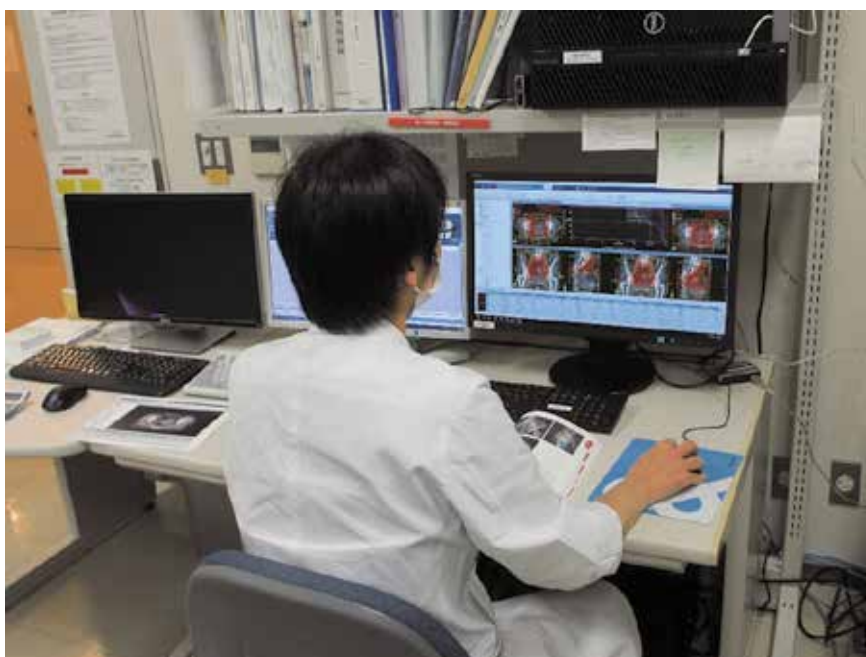
放射線科全般におよぶ知識と経験を一定レベル以上に有する「放射線科専門医」を育成することを目的としています。

#### イ. 経験できる診療、技術

放射線治療、消化管透視、血管造影(主にTACE)、CT下生検・ドレナージ、X線診断、CT、MRI、核医学検査

### 3. 週間予定

|     | 月曜日                     | 火曜日                     | 水曜日                    | 木曜日                       | 金曜日                    | 土曜日/日曜日 |
|-----|-------------------------|-------------------------|------------------------|---------------------------|------------------------|---------|
| 早朝  |                         |                         |                        |                           |                        |         |
| 午前  | 8:30~9:00<br>放射線カンファレンス | 9:00~11:00<br>消化管透視(注腸) | CT・MRI・核医学検査<br>レポート作成 | CT・MRI・核医学検査<br>レポート作成    | CT・MRI・核医学検査<br>レポート作成 |         |
|     | CT・MRI・核医学検査<br>レポート作成  |                         |                        |                           |                        |         |
| 午後  | CT・MRI・核医学検査<br>レポート作成  | CT・MRI・核医学検査<br>レポート作成  |                        | 16:00~17:00<br>放射線カンファレンス | 血管造影・<br>IVR見学・介助      |         |
| 時間外 |                         |                         | 17:00~18:00<br>抄読会     |                           |                        |         |



#### 4. 指導医・スタッフ

部長 こやま たかし  
 小山 敬己  
 出身 滋賀医科大学 H5

|    |                   |
|----|-------------------|
| 専門 | 画像診断全般            |
| 認定 | 日本医学放射線学会放射線診断専門医 |

部長 まつい かつるひ  
 松井 勝則  
 出身 島根大学 H1

|    |                   |
|----|-------------------|
| 専門 | 放射線治療             |
| 認定 | 日本医学放射線学会放射線治療専門医 |

#### 5. 診療設備

CT キヤノンメディカルシステムズ Aquilion One Vision EDITION (320列)、Aquilion/64、Aquilion LB

1.5TMRI 装置 フィリップスジャパン Ingenia1.5

3.0TMRI 装置 フィリップスジャパン Ingenia3.0

血管造影撮影装置 フィリップスジャパン Allura Clarity FD20/15

放射線治療 バリアン CLINAC 2100C/D



#### 6. 診療実績

| 放射線読影      | (2020年実績) |
|------------|-----------|
| CT 検査      | 11,993    |
| MRI 検査     | 2,693     |
| 消化管透視      | 117       |
| X線撮影       | 1,891     |
| 核医学        | 433       |
| 血管造影(TACE) | 31        |
| 非血管系IVR    | 1         |
| CT 下生検     | 4         |

| 原発巣別症例       | (2020年実績) |
|--------------|-----------|
| 脳・脊髄         | 2         |
| 頭頸部          | 3         |
| 食道           | 6         |
| 肺・気管・縦隔(うち肺) | 38(38)    |
| 乳腺           | 36        |
| 肝・胆・膵        | 0         |
| 胃・小腸・結腸・直腸   | 4         |
| 婦人科          | 5         |

|             |        |
|-------------|--------|
| 泌尿器科(うち前立腺) | 28(18) |
| 造血器リンパ系     | 4      |
| 皮膚・骨・軟部     | 2      |
| その他(悪性)     | 0      |
| 良性          | 5      |
| 15歳以下の小児    | 0      |

骨転移 29 件

脳転移 13 件

新患/新患+再患者 125/133 人

## 7. 学会認定施設

日本医学放射線学会・放射線科専門医修練機関



## 基本領域 麻酔科専門研修

### 連携

- 京都大学医学部附属病院麻酔科専門研修プログラム
- 神戸市立医療センター中央市民病院麻酔科専門研修プログラム
- 大津赤十字病院麻酔科専門研修プログラム
- 公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院麻酔科専門研修プログラム

## 1. 麻酔科の理念・特色

理念：麻酔科医の使命は手術を受ける患者の守り人になることである。第一の使命は周術期における患者の生命を安全に守ること。そのために麻酔科医は患者の状態を常に監視し、臨機応変に対応しなければならない。第二の使命は、様々な手技や薬剤を駆使して、周術期を通じて手術侵襲や術後疼痛などのストレスから患者を守ることである。

すなわち、麻酔科学とは周術期生体管理医学でありかつ侵襲反応制御医学であるという理念をもとに医療を実践して、地域住民の健康と福祉に貢献したい、と考えている。

特色：当院は但馬地方のみならず、京都府北部から鳥取県の一部まで含めた医療圏の中核病院であり、外科系の各科も充実している。したがって、乳幼児から超高齢者まで幅広い年齢層の患者の麻酔管理を経験できる。また様々な全身疾患を合併した患者の全身管理を行う機会も多い。救命救急センターや周産期医療センターも併設しているため、緊急症例の割合が非常に高い。時には生命の危機に瀕した患者の麻酔を行うこともある。

症例数は豊富であり日常業務は多忙であるが、われわれは日々、文献抄読や学会参加・発表などを通して最新の麻酔科学を探索している。また臨床研究も意欲的に行っている。

## 2. 目標・プログラム

### ア. 目標とする医師像

十分な専門領域の知識と技量、適切な臨床的判断能力および問題解決能力を持つ医師。

医の倫理に配慮し、患者本位の医療を施すことができる医師。

日々進歩する医学・医療に遅れることなく、自己を研鑽する向上心を持つ医師。

### イ. 経験できる診療、技術

- |  |   |   |  |
|--|---|---|--|
| <p>A) 血管確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・末梢静脈カテーテル挿入</li> <li>・中心静脈カテーテル挿入</li> <li>・動脈カテーテル挿入</li> </ul> <p>B) 気道管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気道確保</li> <li>・マスク換気</li> <li>・気管挿管</li> <li>・分離肺換気</li> <li>・ラリングアルマスク</li> <li>・気管支ファイバースコープ</li> </ul> | <p>C) モニタリング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心電図</li> <li>・非観血的血圧測定</li> <li>・観血的血圧測定</li> <li>・パルスオキシメーター</li> <li>・カブノメーター</li> <li>・体温モニター</li> <li>・脳波モニター</li> <li>・脳血流モニター</li> </ul> <p>D) 血液採血</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・静脈血採血</li> <li>・動脈血採血</li> </ul> | <p>E) 治療手技</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・導尿</li> <li>・胃管挿入</li> <li>・気管内吸引</li> <li>・輸液</li> <li>・輸血</li> <li>・心肺蘇生</li> </ul> <p>F) 機器点検および使用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・麻酔器</li> <li>・人工呼吸器</li> <li>・シリンジポンプ</li> <li>・輸液ポンプ</li> <li>・超音波装置(経食道心エコーを含む)</li> </ul> | <p>G) 鎮痛法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鎮痛法の選択</li> <li>・脊髄くも膜下麻酔・硬膜外麻酔</li> <li>・仙骨硬膜外ブロック</li> <li>・末梢神経ブロック(超音波ガイド下)</li> <li>・経静脈的自己調節鎮痛法(IV-PCA)</li> </ul> |
|--|---|---|--|

## 3. 週間予定

|                 | 月曜日                          | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 | 土曜日/日曜日 |
|-----------------|------------------------------|-----|-----|-----|-----|---------|
| 早朝<br>8:15~8:45 | カンファレンス・症例検討・<br>文献抄読・学会予演会等 |     |     |     |     | 休日      |
| 午前<br>9:00~     | 手術麻酔業務                       |     |     |     |     |         |
| 午後<br>~17:15    |                              |     |     |     |     |         |
| 時間外             | 手術延長の場合、引き続き麻酔業務             |     |     |     |     |         |

#### 4. 指導医・スタッフ

部長 <sup>しょうだ たけひろ</sup> 正田 丈裕  
出身 京都大学 H3

京都大学医学博士 H14

|    |  |
|----|--|
| 専門 | 麻酔全般   |
| 認定 | 麻酔科標榜医, 日本専門医機構認定麻酔科専門医, 日本麻酔科学会認定指導医, 臨床研修指導医 |

医長 <sup>こうの たかし</sup> 高野 貴司  
出身 朝日大学 H12

|    |              |
|----|--------------|
| 専門 | 歯科麻酔         |
| 認定 | 日本歯科麻酔科学会認定医 |

医長 <sup>しみず だいすけ</sup> 清水 大介  
出身 朝日大学 H18

|    |      |
|----|------|
| 専門 | 歯科麻酔 |
|----|------|

医長 <sup>かげやま なる</sup> 蔭山 成  
出身 東北大学 H19

|    |   |
|----|---|
| 専門 | 麻酔・産科麻酔   |
| 認定 | 麻酔科標榜医, 日本専門医機構認定麻酔科専門医, 日本麻酔科学会認定指導医, 日本母体救命システム普及協議会ベーシックコース臨床研修指導医 |

医長 <sup>ほし ともこ</sup> 林 知子  
出身 朝日大学 H19

岡山大学歯学博士 H24

|    |              |
|----|--------------|
| 専門 | 歯科麻酔         |
| 認定 | 日本歯科麻酔科学会認定医 |

医長 <sup>たい あやの</sup> 田井 綾乃  
出身 滋賀医科大学 H26

|    |                                     |
|----|-------------------------------------|
| 専門 | 麻酔全般                                |
| 認定 | 麻酔科標榜医, 日本麻酔科学会認定医, 日本周術期経食道心エコー認定医 |

医長 <sup>おかむら しょうへい</sup> 岡村 章平  
出身 高知大学 H25

|    |                    |
|----|--------------------|
| 専門 | 麻酔全般               |
| 認定 | 麻酔科標榜医, 日本麻酔科学会認定医 |

#### 5. 診療施設

中央手術室 7 室、救急外来に緊急手術室 1 室、血管造影室 1 室

フィリップス社製自動麻酔記録モニター

麻酔器

Dräger 社製 Fabius Tiro 2 台, Perseus 6 台

HFJV

泉工医科工業社製 メラ高頻度ジェットベンチレーター JP-1

超音波装置

GE 社製 Vivid S-70

SonoSite 社製 SonoSite S-II

ビデオ喉頭鏡

PENTAX 社製 AIRWAY SCOPE AWS-S100 2 台、AWS-S200 1 台

アコマ社製 KingVision 3 台

コヴィディエン社製 McGRATH MAC ビデオ喉頭鏡 2 台

ビデオファイバーシステム

KARL STORZ 社製 C-MAC Monitor



#### 6. 診療実績

手術件数

|         |       |
|---------|-------|
| 総手術件数   | 3,523 |
| 麻酔科管理件数 | 2,180 |

(2020 年度)

麻酔科管理症例

|                               | 症例数   |
|-------------------------------|-------|
| 全身麻酔(吸入麻酔)                    | 1,280 |
| 全身麻酔(全静脈麻酔)                   | 251   |
| 全身麻酔(吸入麻酔) + 硬膜外麻酔・脊椎麻酔・伝達麻酔  | 335   |
| 全身麻酔(全静脈麻酔) + 硬膜外麻酔・脊椎麻酔・伝達麻酔 | 81    |
| 脊椎麻酔 + 硬膜外麻酔                  | 4     |
| 硬膜外麻酔                         | 5     |

|      |       |
|------|-------|
| 脊椎麻酔 | 214   |
| 伝達麻酔 | 1     |
| その他  | 9     |
| 合計   | 2,180 |

(2020 年度)

特殊症例別の麻酔件数(各専攻医の経験必須症例数)

|                       |    | 症例数 | 経験必須症例数 |
|-----------------------|----|-----|---------|
| 小児(6歳未満)の麻酔           |    | 31  | 25      |
| 帝王切開術の麻酔              |    | 92  | 10      |
| 心臓血管手術の麻酔(胸部大動脈手術を含む) | 1群 | 49  | 25      |
|                       | 2群 | 16  |         |
| 胸部外科の麻酔               |    | 60  | 25      |
| 脳神経外科の麻酔              |    | 92  | 25      |

(2020 年度)

## 7. 学会認定施設

日本麻酔科学会認定病院





## 基本領域 病理専門研修

### 連携

- 京都大学医学部病理専門研修プログラム
- 神戸大学医学部附属病院病理専門研修プログラム
- みやこ病理専門研修プログラム

## 1. 病理診断科の理念・特色

病理診断科では、生検や手術などにおいて得られた検体を、肉眼的あるいは顕微鏡的に観察し診断する。死亡され、解剖の承諾が得られた場合には、病理解剖を行い、病変の質や程度、死因を検討し病理解剖診断を行う。

本院は但馬地域において、唯一、常勤病理医がいる病院であり、手術中の迅速診断や剖検を通常業務として行うことが可能であり、手術時の腫瘍の診断、断端の検討、死因の究明などに寄与している。

組織学的な診断を行うことで希な疾患を見出し、また、病理検体を用いて研究を行い、学会発表や論文作成を行い世に問うことも行っている。

## 2. 目標・プログラム

### ア. 目標とする医師像

病理は全身の臓器を扱うため、病理診断には幅広い知識が必要とされる。我が国における病理診断は、臓器別に出版されている「取り扱い規約」、あるいはWHOが臓器別に出版している「WHO Classification」などに基づき行われる。

人体には様々な臓器が存在するため、毎年何冊かの「取り扱い規約」・「WHO Classification」の新版が出版されている。

よって、病理診断を行うには、疾患、特に肉眼的、組織的病理所見に対して幅広い知識を保持していることと共に、規約に関して最新の知識を保持していることが必要とされる。

心身共に健康であること、思いやりの心などは医師として必要と考えられるが、病理医としては「不断の努力」が特に必要と思われる。

### イ. 経験できる診療、技術

様々な臓器の手術材料の切り出し、組織診断、細胞診断、病理解剖、解剖症例のCPCは日常業務として行っており、検体数も比較的多く、短期間で様々な症例を経験し、技術を習得可能である。解剖は年間十件弱経験可能である。

## 3. 週間予定

|    | 月曜日   | 火曜日                   | 水曜日                   | 木曜日  | 金曜日                   | 土曜日/日曜日 |
|----|---|-----------------------|-----------------------|--|-----------------------|---------|
| 午前 | 7:45～9:00<br>消化器カンファレンス<br>9:00～12:00<br>切り出し・検鏡        | 9:00～12:00<br>切り出し・検鏡 | 9:00～12:00<br>切り出し・検鏡 | 8:15～8:45<br>泌尿器カンファレンス<br>8:45～12:00<br>切り出し・検鏡 | 9:00～12:00<br>切り出し・検鏡 |         |
| 午後 | 13:00～17:15<br>検鏡<br>16:30～17:30<br>婦人科カンファレンス<br>(月2回) | 13:00～17:15<br>検鏡     | 13:00～17:15<br>検鏡     | 13:00～17:15<br>検鏡<br>18:00～18:30<br>乳腺カンファレンス    | 13:00～17:15<br>検鏡     |         |

解剖は依頼のあった時に随時行う



#### 4. 指導医・スタッフ

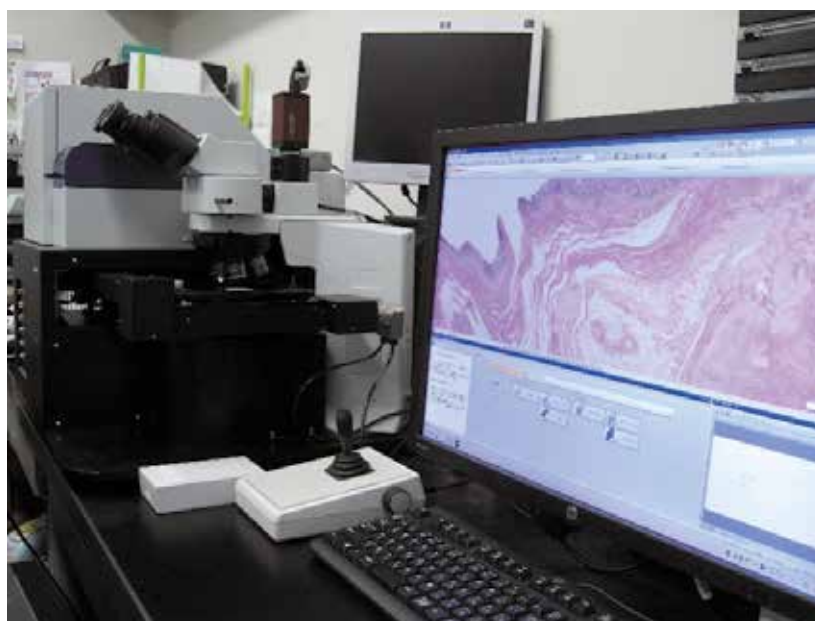
|    |             |
|----|-------------|
| 医長 | 中島 直樹       |
| 出身 | 京都大学 H21    |
|    | 京都大学医学博士 R2 |

|    |                                    |
|----|------------------------------------|
| 専門 | 病理                                 |
| 認定 | 日本病理学会専門医、日本細胞学会<br>専門医、死体解剖資格(病理) |

難解な症例に関しては、様々な施設にコンサルテーションを依頼し、診断精度の向上を図っているため、特定の臓器の病理専門医の指導を仰ぐことも可能である。

#### 5. 診療設備等

バーチャルスライドシステム オリンパス VS-100  
病理システム サクラファインテックジャパン PT-10  
蛍光顕微鏡 オリンパス BX52  
自動免疫染色装置 Leica BOND III Roche Benchmark メア



#### 6. 診療実績

最近5年の細胞診、組織診、病理解剖の実績を下記に示す。特筆すべきは、悪性腫瘍が多く、まれな腫瘍も多数認められることである。例えば2017年の実績において組織診断5,215件の内、1,647件すなわち約30%が悪性腫瘍であった。

本院の医療圏は、但馬地域のみならず京都府北部にまで広がっており、広い地域から紹介患者を受けていること、またこれらの地域では高齢化が顕著であることなどから悪性腫瘍が比較的多いと思われる。

|       | 組織診断   | 術中迅速組織診断 | 病理解剖 | 細胞診    | 術中迅速細胞診 |
|-------|--------|----------|------|--------|---------|
| 2020年 | 5,001件 | 200件     | 3件   | 4,238件 | 77件     |
| 2019年 | 5,546件 | 236件     | 12体  | 4,573件 | 80件     |
| 2018年 | 5,215件 | 248件     | 9体   | 4,613件 | 59件     |
| 2017年 | 5,057件 | 237件     | 5体   | 4,735件 | 69件     |
| 2016年 | 4,832件 | 217件     | 14体  | 5,335件 | 38件     |

## 7. 学会認定施設

病理学会認定施設B

日本臨床細胞学会教育認定施設



ドクターヘリ (AIRBUSHELICOPTERS EC135)

## 基本領域 救急科専門研修

### 基幹

- 公立豊岡病院(但馬救命)救急科全次対応研修プログラム

### 連携

- 京都大学医学部附属病院救急科専門研修プログラム
- 神戸大学医学部附属病院救急科専門研修プログラム
- 地域医療貢献型兵庫医科大学救急科専門医研修プログラム
- 佐賀大学医学部附属病院 救急科研修プログラム
- 鳥取大学医学部附属病院救急科専門研修プログラム
- 兵庫県立尼崎総合医療センター救急科専門研修プログラム
- 兵庫県立はりま姫路総合医療センター救急科専門研修プログラム
- 兵庫県災害医療センター救急科専門研修プログラム
- 京都第二赤十字病院救急科専門研修プログラム
- 県立広島病院救急科専門研修プログラム
- 鳥取県立中央病院 地域密着・全次対応救急科専門研修プログラム

## 1. 但馬救命救急センターの理念・特色

救命医療の本質は「どのような時でも患者が必要とする救急医療を迅速かつ適切に提供できるシステム」と、それを支える「チーム医療」です。ここではわれわれが目指す医療の内容と特色を説明させていただきます。

●365日、質の高い救急医療を院内全部門の総力をあげて提供します。



救急外来初期診療のみではなく、手術や入院が必要になった場合は必要に応じ専門診療科と協力をを行い、手術を含めた各種根治的治療、集中治療、救急病棟入院患者の診療も行います。日本でも数少ない「間口の広い、奥行き深い」救命救急センターの形態をとっています。

北近畿エリアは救急医療過疎地域でもあり、但馬救命救急センターはまさに「最後の砦」として、救急応需率100%を誇っています。



ドクターヘリ・ドクターカーの基地病院として「いつでも、どこでも、誰にでも」迅速かつ良質な救急医療を提供出来るよう努力します。



様々な疾患や外傷、手術後の重症患者に対して、刻々と変化する状態を管理しながら、人工呼吸管理、血液浄化療法や ECMO などの体外循環装置や薬剤を用いて最高度の治療を行います。



交通事故、労働災害や自然災害などの不慮の事故で外傷を負った患者に対して、良質な救急医療を提供することによって「防ぎえる死」や「防ぎえる後遺症」を回避します。



スタッフドクターは救急医学以外にも各々に専門性を有しており、外因性・内因性を問わず様々な疾患に重症度、緊急度に応じた診療を行います。また、必要時には院内各科とも協力して診療にあたります。



⑥ 災害医療

日常診療から災害医療まで災害医療体制を整えて、地域における健康危機管理の中核機能を果たします。

日頃やっていないことを災害時にわかに行うことには限界があり、われわれは日常診療の延長線上に災害医療があると考え日々の診療にあたっています。



⑦ トレーニング

救急医療、集中治療、災害医療に携わる人材を幅広く養成する拠点となります。また病院前救急医療を担うプライドクターの育成には特に力をいれており、厳格な基準を設け on the job training を行っています。off the job training にも力をいれており、ICLS、JPTEC、MCLS、PSLS などメディカンコントロールに絡ませ、定期的なコース開催に関わっています。

## 2. 目標・プログラム

救急/急性傷病について、軽症から重症まで、内因・外因、老若男女を問わず、病院前救急診療(ドクターヘリ、ドクターカー)・初療対応・ICU 管理・一般病棟管理・外来診療まで一貫した診療を行うことができ、かつ重症患者に対しては救命救急処置/根治的治療/集中治療を行うことができる救急科専門医となること。

## 3. 週間予定

(チーム制、変則2交代制)

|                              | 月曜日  | 火曜日      | 水曜日         | 木曜日                      | 金曜日  | 土曜日         | 日曜日      |
|------------------------------|--|----------|-------------|--------------------------|--|-------------|----------|
| 8:00<br>~<br>8:15            | ドクターヘリ、カースタッフブリーフィング・点検 (CS、ヘリポート、カー)  |          |             |                          |  |             |          |
| 8:00<br>~<br>8:15            | 初療申し送り(全勤→日勤)<br>ICU/HCU退出候補決定(全勤責任者)  |          |             |                          |  |             |          |
| 8:30<br>~<br>9:30            | カンファレンス(前日救急科入院患者、申し送り、連絡事項、前日ヘリ・カー症例)   |          |             |                          |  |             |          |
| カンファレンス<br>終了後<br>~<br>10:00 | 回診(ICU/HCU)  | 総回診(全病棟) | 回診(ICU/HCU) |                          | 総回診(全病棟)                                       | 回診(ICU/HCU) | 総回診(全病棟) |
|                              | 回診方法: ベッドサイドでのプレゼンテーションは最小限で、必要に応じて診療を行う。<br>★回診責任者 センター長不在時は当日全日勤務責任医師が代役<br>★回診責任者 前日・当日勤務中の医師 日勤医師は初療対応優先 |          |             |                          |  |             |          |
| 10:00<br>~<br>12:00          | 診療   |          |             |                          |  |             |          |
| 12:00<br>~<br>12:30          |  |          |             | ランチョンミーティング<br>★薬説明会(適宜) | ランチョンミーティング<br>★M&Mカンファレンス<br>(ICUにて、看護部合同、適宜) |             |          |
| 12:30<br>~<br>17:30          | 診療   |          |             |                          |  |             |          |
| 17:30<br>~<br>18:00          | 申し送り(日勤→全勤)<br>(初療診療中の患者、日勤入院患者、ヘリ終了まで日勤者の1人は居残り)<br>全勤責任者は夕方回診  |          |             |                          |  |             |          |
| 18:00<br>~<br>翌8:00          | 診療<br>夜は更けてゆく  |          |             |                          |  |             |          |

#### 4. 指導医・スタッフ

センター長 兼部長 ながし ま ひとし  
永嶋 太

出身 佐賀医科大学 H11  
佐賀大学医学博士 H31

|    |  |
|----|--|
| 専門 | 救急医学,集中治療学,救急・外傷外科学,病院前救急医療学,災害医学,医学教育   |
| 認定 | 日本救急医学会専門医・指導医・評議員,日本集中治療医学会専門医・評議員,日本外科学会専門医・指導医,日本外傷学会専門医・評議員,日本Acute Care Surgery学会認定外科医・評議員,日本腹部救急医学会認定医・評議員,日本急性血液浄化学会認定指導者,日本航空医療学会認定指導者,日本DMAT隊員・統括DMAT,臨床研修指導医 |

医長 たかす くれひと  
高須 惟人

出身 三重大学 H20

|    |                                     |
|----|-------------------------------------|
| 専門 | 救急医学,集中治療学,救急・外傷外科学,消化器外科学,病院前救急医療学 |
| 認定 | 日本外科学会専門医,日本DMAT隊員,臨床研修指導医          |

医長 やすだ けいと  
安田 唯人

出身 信州大学 H24

|    |                     |
|----|---------------------|
| 専門 | 救急医学,集中治療学,病院前救急医療学 |
| 認定 | 日本救急医学会専門医          |

医員 やまおか ゆき  
山岡 由季

出身 神戸大学 H28

|    |                     |
|----|---------------------|
| 専門 | 救急医学,集中治療学,病院前救急医療学 |
|----|---------------------|

専攻医 さかた しんや  
坂戸 真也

出身 鳥取大学 H29

|    |            |
|----|------------|
| 専門 | 救急医学,集中治療学 |
|----|------------|

専攻医 さかい しょうへい  
酒井 鷹平

出身 奈良県立医科大学 H31

|    |            |
|----|------------|
| 専門 | 救急医学,集中治療学 |
|----|------------|

医長 まつい だいさく  
松井 大作

出身 久留米大学 H17

|    |   |
|----|---|
| 専門 | 救急医学,集中治療学,救急・外傷外科学,熱傷,病院前救急医療学           |
| 認定 | 日本救急医学会専門医,日本航空医療学会認定指導者,日本DMAT隊員,臨床研修指導医 |

医長 わたなべ たかあき  
渡邊 隆明

出身 東京大学 H21

|    |  |
|----|--|
| 専門 | 救急医学,集中治療学,救急・外傷外科学,消化器外科学,病院前救急医療学      |
| 認定 | 日本救急医学会専門医,日本集中治療医学会専門医,日本DMAT隊員,臨床研修指導医 |

医長 たにぐち だいすけ  
谷口 大介

出身 神戸大学 H26

|    |                     |
|----|---------------------|
| 専門 | 救急医学,集中治療学,病院前救急医療学 |
| 認定 | 日本救急医学会専門医          |

医員 はなふさ ひろあき  
華房 宏成

出身 金沢大学 H28

|    |                     |
|----|---------------------|
| 専門 | 救急医学,集中治療学,病院前救急医療学 |
|----|---------------------|

専攻医 みやもと そうし  
宮元 創士

出身 大阪医科大学 H29

|    |            |
|----|------------|
| 専門 | 救急医学,集中治療学 |
|----|------------|

専攻医 はまぐち ひさし  
濱口 悠

出身 大阪市立大学 H31

|    |            |
|----|------------|
| 専門 | 救急医学,集中治療学 |
|----|------------|

医長 ほんしょうたに ゆき  
番匠谷 友紀

出身 滋賀医科大学 H17

|    |  |
|----|--|
| 専門 | 救急医学,集中治療学,救急・外傷外科学,病院前救急医療学   |
| 認定 | 日本救急医学会専門医・指導医・評議員,日本集中治療医学会専門医,日本外科学会専門医,日本外傷学会専門医,日本航空医療学会認定指導者,日本DMAT隊員,臨床研修指導医 |

医長 あんどう かえ  
安東 加恵

出身 大分大学 H21

|    |                     |
|----|---------------------|
| 専門 | 救急医学,集中治療学,内科学      |
| 認定 | 日本内科学会認定医,日本腎臓学会専門医 |

医長 まつもと ひろまさ  
松本 大昌

出身 高知大学 H26

|    |                    |
|----|--------------------|
| 専門 | 救急医学,集中治療学         |
| 認定 | 日本外科学会専門医,日本DMAT隊員 |

医員 よしだ あつら  
吉田 陽

出身 山口大学 H28

|    |                     |
|----|---------------------|
| 専門 | 救急医学,集中治療学,病院前救急医療学 |
|----|---------------------|

専攻医 はぎはら たかりう  
萩原 尊礼

出身 鹿児島大学 H30

|    |            |
|----|------------|
| 専門 | 救急医学,集中治療学 |
|----|------------|

医長 ふじさき おさむ  
藤崎 修

出身 鹿児島大学 H20

|    |   |
|----|---|
| 専門 | 救急医学,集中治療学,総合内科学,病院前救急医療学                     |
| 認定 | 日本救急医学会専門医,日本航空医療学会認定指導者,ICD,日本DMAT隊員,臨床研修指導医 |

医長 きくかわ もとひろ  
菊川 元博

出身 大阪医科大学 H22

|    |  |
|----|--|
| 専門 | 救急医学,集中治療学   |
| 認定 | 日本救急医学会専門医,日本外科学会専門医,日本Acute Care Surgery学会認定外科医,臨床研修指導医 |

医員 とくだり な  
徳田 理奈

出身 京都府立医科大学 H27

|    |                              |
|----|------------------------------|
| 専門 | 救急医学,集中治療学,救急・外傷外科学,病院前救急医療学 |
| 認定 | 日本救急医学会専門医                   |

医員 かきざき ゆみ  
柿崎 結美

出身 愛知医科大学 H28

|    |                     |
|----|---------------------|
| 専門 | 救急医学,集中治療学,病院前救急医療学 |
|----|---------------------|

専攻医 さい かよ  
佐井 佳世

出身 宮崎大学 H30

|    |    |
|----|----|
| 専門 | 外科 |
|----|----|



## 5. 診療設備等



ドクターカー



DMAT カー

## 6. 診療実績

|               | 2016 年度  | 2017 年度  | 2018 年度  | 2019 年度  | 2020 年度  |
|---------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 救命救急センター受診患者数 | 15,604 人 | 16,136 人 | 15,904 人 | 15,899 人 | 11,992 人 |
| 救急搬送患者数       | 6,088 件  | 6,513 件  | 6,358 件  | 6,368 件  | 5,950 件  |
| (救急車)         | 3,839 件  | 3,840 件  | 3,852 件  | 3,925 件  | 3,447 件  |
| (ドクターヘリ)      | 1,369 件  | 1,533 件  | 1,418 件  | 1,249 件  | 1,243 件  |
| (ドクターカー)      | 880 件    | 1,140 件  | 1,088 件  | 1,194 件  | 1,260 件  |
| ウォークイン        | 9,516 件  | 9,623 件  | 9,546 件  | 9,531 件  | 6,042 件  |
| 救命救急センター入院患者数 | 3,671 人  | 3,825 人  | 3,703 人  | 3,798 人  | 3,468 人  |
| 救急科           | 1,460 人  | 1,597 人  | 1,561 人  | 1,588 人  | 1,590 人  |
| 他科            | 2,211 人  | 2,228 人  | 2,142 人  | 2,210 人  | 1,878 人  |

## 7. 学会認定施設

日本救急医学会救急科専門医指定施設

日本集中治療医学会専門医研修施設

日本外傷学会外傷専門医研修施設

日本航空医療学会認定制度指定施設

日本急性血液浄化学会指定施設

NCD 参加施設



## 8. 基幹プログラム

### 公立豊岡病院(但馬救命)救急科全次対応研修プログラム

|     |      | 4月   | 5月 | 6月     | 7月 | 8月   | 9月 | 10月 | 11月   | 12月 | 1月 | 2月   | 3月 |
|-----|------|--|----|--------|----|--|----|-----|---|-----|----|--|----|
| 1年目 | 研修領域 | <ul style="list-style-type: none"> <li>指導医とともに 初療、集中治療、病棟管理</li> <li>Clinical Research</li> </ul>  |    |        |    |  |    |     |   |     |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>気道管理</li> <li>緊急麻酔対応</li> <li>蘇生管理</li> </ul> |    |
|     | 研修病院 | 公立豊岡病院 (TECCMC)  |    |        |    |  |    |     |   |     |    | 公立豊岡病院 (麻酔科)   |    |
| 2年目 | 研修領域 | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域救急医療</li> <li>ER+IVR研修</li> <li>病棟連携</li> </ul>   |    |        |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>小児救急集中治療</li> <li>都市部救急医療</li> <li>Clinical Research</li> </ul> |    |     | <ul style="list-style-type: none"> <li>単独 初療、集中治療、病棟管理</li> <li>ドクターカー研修</li> <li>MC (Hot Line、検証表)</li> <li>Clinical Research</li> </ul> |     |    |  |    |
|     | 研修病院 | (施設選択)   |    | (施設選択) |    | 公立豊岡病院 (TECCMC)  |    |     |   |     |    |  |    |
|     |      | ①京都大学、②佐賀大学、③鳥取大学、④兵庫県立尼崎総合医療センター、<br>⑤兵庫県災害医療センター、⑥関西労災病院、⑦兵庫県立こども病院、<br>⑧京都第二赤十字病院、⑨中部徳洲会病院、⑩鳥取県立中央病院<br>上記の病院から2施設を選択し、それぞれ3ヶ月間研修を行う。 |    |        |    |  |    |     |   |     |    |  |    |
| 3年目 | 研修領域 | <ul style="list-style-type: none"> <li>指導的立場 初療、集中治療、病棟管理</li> <li>ドクターヘリ研修、ドクターカー研修および単独乗車</li> <li>MC (医学教育、検証会議出席)</li> </ul>         |    |        |    |  |    |     | <ul style="list-style-type: none"> <li>兼務としてSpecialty院内研修も考慮 (3~6ヶ月)</li> <li>Clinical Research</li> </ul>                                |     |    |  |    |
|     | 研修病院 | 公立豊岡病院 (TECCMC)  |    |        |    |  |    |     |   |     |    |  |    |

#### 専門研修施設群

| 施設認定 | 研修病院群 施設名 (所在地)         |
|------|-------------------------|
| 基幹施設 | 公立豊岡病院 但馬救命救急センター (兵庫県) |
| 連携施設 | 京都大学医学部附属病院 (京都府)       |
| 連携施設 | 佐賀大学医学部附属病院 (佐賀県)       |
| 連携施設 | 鳥取大学医学部附属病院 (鳥取県)       |
| 連携施設 | 兵庫県立尼崎総合医療センター (兵庫県)    |
| 連携施設 | 兵庫県災害医療センター (兵庫県)       |
| 連携施設 | 関西労災病院 (兵庫県)            |
| 連携施設 | 兵庫県立こども病院 (兵庫県)         |
| 連携施設 | 京都第二赤十字病院 (京都府)         |
| 連携施設 | 中部徳洲会病院 (沖縄県)           |
| 連携施設 | 鳥取県立中央病院 (鳥取県)          |

#### プログラム・資料に関する問い合わせ先

|                |   |            |              |
|----------------|---|------------|--------------|
| <b>TEL</b>     | 0796-22-6111(代表)  | <b>FAX</b> | 0796-22-0170 |
| <b>e-mail</b>  | major.er.dr@gmail.com (救命救急センター)<br>kensyucenter@toyookahp-kumiai.or.jp (医師育成・研修支援センター) |            |              |
| <b>website</b> | http://www.toyookahp-kumiai.or.jp/toyooka/  |            |              |

〒668-8501 兵庫県豊岡市戸牧1094

公立豊岡病院但馬救命救急センター/公立豊岡病院組合 医師育成・研修支援センター



## 基本領域 形成外科専門研修

### 連携

- 京都大学形成外科専門研修プログラム
- 兵庫京大形成外科研修プログラム

## 1. 形成外科の理念・特色

当科は但馬丹後地域で唯一常勤医を有し、入院治療が可能な形成外科診療施設である。この地域における最終施設であり、あらゆる疾患に対応を行っている。疾患だけではなく、患者の背景にも着目し、その患者にとって望ましい治療を検討し、一例一例丁寧に診療を行うことを心がけている。また地方にあっても時代遅れの治療、独善的な治療に陥らないよう学会や研究会に積極的に参加し、当科であまり経験がない手術や難渋している症例には外部の専門医へのコンサルトや、手術指導のための招聘を行い、技量の向上に努めている。

## 2. 目標・プログラム

### ア. 目標とする医師像

豊富な経験と知識を持ち、かつ技量向上のための研鑽を怠らず、謙虚な姿勢を持って丁寧に診療を行う医師。

### イ. 経験できる診療、技術

基本的な創傷処置、形成外科的縫合法、局所皮弁や植皮による皮膚欠損の再建、有茎皮弁や遊離皮弁による皮膚軟部組織欠損の再建、顕微鏡下神経血管吻合手技、唇裂・口蓋裂に対する手術治療と音声言語訓練等の術後治療、体表面の先天性疾患に対する手術、新鮮熱傷の管理と治療、瘢痕拘縮・ケロイドに対する保存的治療と手術、皮膚皮下の良性腫瘍、軟部腫瘍の摘出手術とその再建、皮膚軟部悪性腫瘍の根治的切除と再建、顔面骨骨折の手術と術後治療、頭頸部悪性腫瘍切除後の再建、乳癌切除後の乳房再建、眼瞼下垂や睫毛内反症等変性疾患に対する手術、褥瘡等難治性潰瘍に対する保存的治療と手術、皮膚色素性疾患に対するレーザー治療(ルビーレーザー、v-beam)等。

## 3. 週間予定

|     | 月曜日                               | 火曜日                              | 水曜日                               | 木曜日                               | 金曜日                              | 土曜日/日曜日           |
|-----|-----------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|-------------------|
| 午前  | 外来診療<br>外来小手術、<br>レーザー治療、<br>病棟回診 | 外来診療<br>入院患者手術、<br>外来手術、<br>病棟回診 | 外来診療<br>外来小手術、<br>レーザー治療、<br>病棟回診 | 外来診療<br>外来小手術、<br>レーザー治療、<br>病棟回診 | 外来診療<br>入院患者手術、<br>外来手術、<br>病棟回診 | 病棟患者回診<br>(当番医のみ) |
| 午後  | 外来小手術、<br>レーザー治療                  | 外来診療<br>入院患者手術、<br>外来手術          | 外来診療<br>外来小手術、<br>レーザー治療          | 外来小手術、<br>レーザー治療                  | 入院患者手術、<br>外来手術                  |                   |
| 時間外 | 手術患者<br>カンファレンス、<br>勉強会、<br>説明会等  | 入院患者<br>カンファレンス                  | 入院患者<br>カンファレンス                   | 入院患者<br>カンファレンス                   | 週末処置患者<br>申し送り                   |                   |

※病棟業務の習得具合により、外来診療も行っていく。

※※時間外や休日の呼び出し義務はないが、必要に応じて手術等緊急の対応を行うことがある。

## 4. 指導医・スタッフ

|  |                                    |                                      |
|--|------------------------------------|--------------------------------------|
| 部長 <small>とくりき としはる</small><br>徳力 俊治                               | 医員 <small>しみず けんじ</small><br>清水 健司 | 専攻医 <small>ながさち みずき</small><br>永瀬 瑞生 |
| 出身 三重大学 H6   | 出身 京都大学 H28                        | 出身 京都大学 H31                          |
| 専門 顔面頭頸部外科、唇顎口蓋裂、先天奇形、皮膚軟部腫瘍、難治性潰瘍                                 | 専門 形成外科一般、乳房再建、手外科、顔面骨骨折           | 専門 形成外科一般                            |
| 認定 日本外科学会認定医、日本形成外科学会専門医・形成外科領域指導医、皮膚腫瘍外科分野指導医・小児形成外科分野指導医、臨床研修指導医 |                                    |                                      |

## 5. 診療設備

Q スイッチアレキサンドライトレーザー キャンデラ ALEX LAZR

皮膚良性血管病変治療用レーザー キャンデラ Vbeam

近赤外線治療器 東京医研 スーパーライザーHA550S

## 6. 診療実績

手術実績(2020年1月～12月)

|               | 入院  | 外来  | 計   |
|---------------|-----|-----|-----|
| 全身麻酔での手技数     | 218 | 1   | 219 |
| 腰麻・伝達麻酔での手技数  | 42  | 11  | 53  |
| 局所麻酔・その他での手技数 | 73  | 519 | 592 |

| 疾患大分類手技数     | 入院   |         |          | 外来   |         |          | 計   |
|--------------|------|---------|----------|------|---------|----------|-----|
|              | 全身麻酔 | 腰麻・伝達麻酔 | 局所麻酔・その他 | 全身麻酔 | 腰麻・伝達麻酔 | 局所麻酔・その他 |     |
| 外傷           | 49   | 9       | 14       |      | 5       | 73       | 150 |
| 先天異常         | 31   |         | 1        |      |         | 11       | 43  |
| 腫瘍           | 81   | 20      | 16       |      | 6       | 255      | 378 |
| 瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド | 7    | 2       |          |      |         | 6        | 15  |
| 難治性潰瘍        | 40   | 9       | 11       | 1    |         | 20       | 81  |
| 炎症・変性疾患      | 7    | 2       | 2        |      |         | 68       | 79  |
| 美容(手術)       |      |         |          |      |         | 9        | 9   |
| その他          |      |         | 29       |      |         | 11       | 40  |
| Extraレーザー治療  | 3    |         |          |      |         | 66       | 69  |
| 合計           | 218  | 42      | 73       | 1    | 11      | 519      | 864 |

## 7. 学会認定施設

日本形成外科学会認定施設

日本乳癌オンコプラステックサージェリー学会エキスパンダー/インプラント実施施設

## 専攻医の声

専攻医 1 年目を京都大学病院で過ごし、専攻医 2 年目から公立豊岡病院に赴任しました。大学の医局人事で豊岡病院を含め 3 つの転勤先の選択肢があったのですが、豊岡病院の研修医を経て大学の形成外科に来ていた同僚から豊岡病院を勧められ、豊岡病院への転勤を希望しました。その同僚から豊岡病院の魅力を聞いていましたが、赴任から 1 年半を過ぎた専攻医生活は期待通りのものでした。

豊岡病院形成外科の特徴は症例の豊富さと考える時間のバランス、そして勤務形態にあると思っています。

近隣には形成外科がなく、兵庫県北部はもちろん、京都府北部、一部は鳥取県東部までの症例を一手に引き受けています。僕自身は専門医試験の 10 症例 10 項目を 1 年半で完成できました。かといって日々忙しいというわけではなく、むしろ勤務時間中にゆっくり考える時間があるという点で非常にバランスが良いと思っています。自分が診た症例は自分で執刀しなければならないというプレッシャーはありますが、その分質の高い勉強、経験ができます。

もう一つの特徴である勤務形態ですが、救急科の守備範囲が広いことが挙げられます。外傷、熱傷の初期診療の大部分を救急科が引き受けてくれて、平日日中まで時間を稼いでくれるので、時間外に呼び出されることはあまりないというのが実感です。メリハリのついた勤務ができるでしょう。

そんな豊岡病院ですが、立地について言及しなければなりません。自家用車は必須と言ってよく、都会暮らしを望む先生には正直なところ不向きだと思います。僕自身は釣り、登山、自転車などアウトドア派なので控えめに言って最高です。鳥取市～豊岡～福知山市(車で約 1 時間圏内)が僕のよくいく行動範囲ですが、この範囲で普通の生活が済ませられればベストです。たまには 2 時間かけて大阪や神戸まで出るのもよいでしょう。

仕事、生活、環境に恵まれた豊岡病院、考えてみてはいかがでしょうか。

専攻医 清水 健司



## 基本領域 総合診療専門研修

### 基幹

- 公立豊岡病院総合診療専門研修プログラム

### 連携

- 兵庫県地域医療総合診療専門医プログラム
- 兵庫医科大学総合診療専門医プログラム
- ようか総合診療専門研修プログラム  
(小児科⇒36頁、救急科⇒90頁)
- 兵庫民医連総合診療専門研修プログラム神戸コース

## 1. プログラムの理念・特色

公立豊岡病院総合診療専門研修プログラムは、兵庫県の但馬地域(豊岡市、朝来市、養父市、香美町、新温泉町)の全ての公立病院(豊岡病院、日高医療センター、出石医療センター、朝来医療センター、八鹿病院、村岡病院、香住病院、浜坂病院)と地域の中小病院・診療所(ろっぼう診療所、合橋診療所、資母診療所、高石医院)により構成されます。

プログラム病院群が所在する但馬地域は兵庫県の面積の約 25%を占める一方、人口は県総人口の約 4%弱の 18 万人弱でしかなく、高齢化率が 30%を超えた典型的な過疎・高齢化地域となっており、当プログラムでは研修修了後もこの地域で健康にかかわる問題について適切な初期対応等を行う医師・総合的な診療能力を有した医師の育成を目指します。

そのため、研修ではまず、総合病院の指導医のもと一般的な疾患に対する初期医療に関する確かな対応ができる能力を備えたうえで、全研修期間を通じて(特に小規模医療機関において)様々な社会背景の患者に対し社会・心理学的アプローチを含めた全人的医療についての能力獲得を目指します。

## 2. 目標・プログラム

専攻医は、日常遭遇する疾病と傷害等に対して適切な初期対応と必要に応じた継続的な診療を全人的に提供するとともに、地域のニーズを踏まえた疾病の予防、介護、看とりなど保健・医療・介護・福祉活動に取り組み、絶えざる自己研鑽を重ねながら、地域で生活する人々の命と健康に関わる幅広い問題について適切に対応する総合診療専門医になることで、以下の機能を果たすことを目指します。

- ①地域を支える診療所や病院においては、他の領域別専門医、一般の医師、歯科医師、医療や健康に関わるその他職種等と連携して、地域の保健・医療・介護・福祉等の様々な分野におけるリーダーシップを発揮しつつ、多様な医療サービス(在宅医療、緩和ケア、高齢者ケア等を含む)を包括的かつ柔軟に提供
- ②総合診療部門を有する病院においては、臓器別でない病棟診療(高齢入院患者や心理・社会・倫理的問題を含む複数の健康問題を抱える患者の包括ケア、癌・非癌患者の緩和ケア等)と臓器別でない外来診療(救急や複数の健康問題をもつ患者への包括的ケア)を提供

## 3. 指導医・スタッフ

### (豊岡病院)

|             |  |     |  |
|-------------|--|-----|--|
| 部長          | 岸本 一郎  | 指導医 | 隈部 綾子  |
| 出身          | 京都大学 S63   | 出身  | 熊本大学 H20   |
| 京都大学医学博士 H6 |  |     |  |
| 専門          | 糖尿病,内分泌,高血圧  | 専門  | 内科一般   |
| 認定          | 日本糖尿病学会専門医・指導医・評議員,日本内科学会総合内科専門医・指導医・近畿支部評議員,日本高血圧学会専門医・指導医・評議員,日本内分泌学会評議員,日本肥満学会評議員,日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医,日本循環器学会専門医,京都大学医学部講師(非常勤),総合診療特任指導医,臨床研修指導医 | 認定  | 日本内科学会総合内科専門医,日本感染症学会専門医,日本化学療法学会学会抗菌化学療法認定医,ICD制度協議会認定医,総合診療特任指導医,臨床研修指導医 |

### (日高医療センター)

|    |   |
|----|---|
| 部長 | 小松 素明   |
| 出身 | 自治医科大学 H9                                     |
| 専門 | 内科一般  |
| 認定 | 日本内科学会総合内科専門医,日本プライマリ・ケア連合学会認定暫定指導医,総合診療特任指導医 |

### (出石医療センター)

|     |  |
|-----|--|
| 病院長 | 西岡 顯                                       |
| 出身  | 兵庫医科大学 S55                                 |
| 専門  | 内科一般                                       |
| 認定  | 日本医師会認定産業医,日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医,総合診療特任指導医 |

### (朝来医療センター)

|     |   |
|-----|---|
| 病院長 | 木山 佳明   |
| 出身  | 自治医科大学 S54  |
| 専門  | 消化器一般,外科  |
| 認定  | 日本外科学会専門医,日本医師会認定産業医,マンモグラフィ読影医,日本プライマリ・ケア連合学会認定暫定指導医,総合診療特任指導医,臨床研修指導医 |



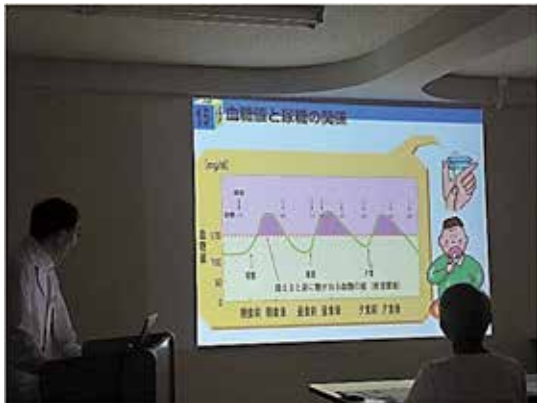
#### 4. 研修活動の場

##### ①地域での健康増進活動

場所：日高医療センター、出石医療センター、朝来医療センター、村岡病院、香住病院、浜坂病院

内容：高脂血症教室、糖尿病教室、生活習慣病教室、母親学級など

時期：主に総合診療専門研修Ⅰの期間



(糖尿病教室の様子)



(生活習慣病教室の様子)

##### ②教育(学生、研修医、専門職に対するもの)

専攻医は屋根瓦方式の指導体制のもと、指導者から学ぶと共に、若年の専攻医、研修医、医学生等の後進の教育指導をするという役割を担います。他者に教えることにより、自己の学びを深める機会を得ます。

場所：豊岡病院、日高医療センター、出石医療センター、朝来医療センター、八鹿病院、村岡病院、香住病院、浜坂病院

内容：学生(病院実習)、研修医(地域医療研修を含む)に対する指導・教育

時期：専門研修期間を通じて屋根瓦方式での教育に従事する



(地域医療研修の様子)

##### ③学習資源

(ア) 豊岡病院では、専攻医に対し、医療倫理、医療安全、感染症対策講習会の受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。

(イ) 各診療科では定期的にカンファレンスを開催し、専攻医の受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。

(ウ) Web 会議システムを活用した地域参加型カンファレンスを定期的に開催します。

(エ) 地域参加型のカンファレンス(豊岡病院:但馬内科医会、但馬内科合同カンファレンス、但馬消化器疾患研究会)

④研究

- 場所：豊岡病院、日高医療センター、出石医療センター、朝来医療センター、八鹿病院、村岡病院、香住病院、浜坂病院、ろっぽう診療所、合橋診療所、資母診療所、高石医院
- 内容：日々の臨床の中から研修課題を見つけ出すというプライマリ・ケアや地域医療の意義を理解し、症例報告や臨床研究を実践例) 日本プライマリ・ケア連合学会近畿支部ポータル発表会
- 時期：専門研修期間を通じて可能であるが、総合診療専門研修Ⅰの期間を推奨

⑤指導体制に関する特徴

- (ア) 豊岡病院(2名)、日高医療センター(1名)、出石医療センター(1名)、朝来医療センター(2名)、八鹿病院(2名)、村岡病院(1名)、香住病院(1名)、浜坂病院(1名)の計11名(うち、プライマリ・ケア連合学会指導医3名、暫定指導医8名)が配置されており、専攻医はプログラム責任者、各指導医と緊密に連絡を取り合いながら、専攻医の要望とプログラムの理念・研修目標と摺合せを行いつつ、柔軟にかつ適時に指導を行います。
- (イ) 専門研修プログラム管理委員会を設置しプログラム内で研修する専攻医の研修を管理します。

⑥医療関係職種、保健・福祉関係職種、地域の住民、医療機関の利用者などの協力

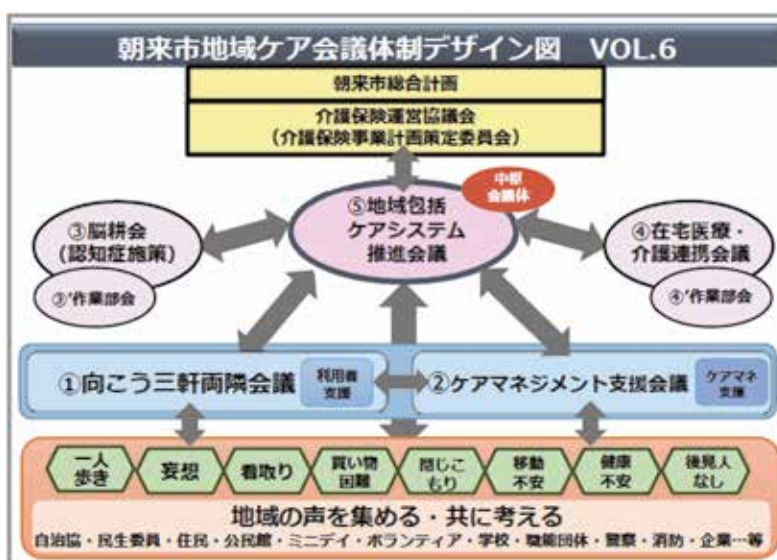
各医療センターでは、入院患者に対してチーム医療を展開しています。主治医と担当看護師・理学療法士はもとより、患者・家族に応じてはケアマネージャー、訪問看護師、ヘルパー、老健などの職員地域リハビリ担当者など保健・福祉関係者を交えた退院前カンファレンスを実施しており、周辺医療機関とは互いに患者紹介も頻繁です。

また、各指導医は地域での勤務歴も長いことから、地域住民(区長、隣保長)との確固とした繋がりを有しており研修への協力も得やすい環境にあります。

(例) 地域ケア会議を通じた関係機関との連携 ～『向こう三軒両隣会議』への医師の参加～

朝来市では、地域住民と専門職が公民館等に集まり、一人ひとりの高齢者の暮らしを支えるための会議(向こう三軒両隣会議)を開催している。

この会議には朝来医療センターの医師や医療ソーシャルワーカーも参加し、本人や家族のライフスタイルも踏まえたうえで、療養上のアドバイスや地域ケアスタッフの医学的管理のポイントを助言する役割を担っている。



(朝来市高年福祉課資料より)

## 5. 専門研修施設群



### 専門研修施設群

- |            |            |          |
|------------|------------|----------|
| 1 豊岡病院     | 6 村岡病院     | 11 合橋診療所 |
| 2 日高医療センター | 7 浜坂病院     | 12 資母診療所 |
| 3 出石医療センター | 8 香住病院     |          |
| 4 朝来医療センター | 9 高石医院     |          |
| 5 八鹿病院     | 10 ろっぽう診療所 |          |

## 6. 基幹プログラム

### 公立豊岡病院総合診療専門研修プログラム

公立豊岡病院での研修モデル

|     | 4月  | 5月 | 6月  | 7月 | 8月 | 9月                                      | 10月       | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-----|---|----|-----|----|----|---|-----------|-----|-----|----|----|----|
| 1年目 | 内科<br>豊岡病院/八鹿病院/(ろっぽう診療所:(訪問診療))                              |    |     |    |    |   |           |     |     |    |    |    |
| 2年目 | 小児科   |    | 救急科 |    |    | 総合診療専門研修Ⅱ<br>豊岡病院/八鹿病院/(ろっぽう診療所:(訪問診療)) |           |     |     |    |    |    |
| 3年目 | 精神科・産婦人科・外科・整形外科・眼科・緩和ケア・<br>リハビリテーション科・放射線科・内科・総合診療Ⅰ・Ⅱ・へき地医療 |    |     |    |    |   | 総合診療専門研修Ⅰ |     |     |    |    |    |
|     | ※1  |    |     |    |    |   | ※2        |     |     |    |    |    |

- ※1
- 精神科
  - 産婦人科
  - 眼科
  - 外科
  - 内科
- 総合診療Ⅰ
- …豊岡病院、高石医院
  - …豊岡病院
  - …豊岡病院
  - …朝来医療センター
  - …豊岡病院、八鹿病院
  - …日高医療センター
  - …出石医療センター
  - …朝来医療センター
  - …村岡病院
  - …浜坂病院
  - …香住病院
- 総合診療Ⅱ
- 整形外科
  - 緩和ケア内科
  - リハビリテーション科
  - 放射線科
  - へき地医療
- …豊岡病院、八鹿病院
  - …豊岡病院
  - …豊岡病院
  - …豊岡病院
  - …八鹿病院
  - …合橋診療所、資母診療所

- ※2
- 総合診療Ⅰ
- …日高医療センター
  - …出石医療センター
  - …朝来医療センター
  - …村岡病院
  - …浜坂病院
  - …香住病院

後期研修1年目は基幹施設である豊岡病院又は八鹿病院で内科研修を行います。

2年目は豊岡病院での総合診療専門研修Ⅱ・小児科・救急科の領域別必修研修(総合診療Ⅱについては八鹿病院での研修も可能)を行います。(内科研修・総合診療Ⅱの期間中にろっぽう診療所でハーフデイバック等により総合診療Ⅰ(訪問診療)を経験する)。

3年目の前半は内科・総合診療Ⅱ・精神科・整形外科・産婦人科・リハビリテーション科・緩和ケア内科(豊岡病院)、総合診療Ⅰ・眼科(日高医療センター)、総合診療Ⅰ(出石医療センター)、総合診療Ⅰ・外科(朝来医療センター)、内科・総合診療Ⅱ・放射線科(八鹿病院)、精神科(高石医院)、へき地医療(合橋診療所、資母診療所)等の選択研修を行い、連携して幅広い疾患管理能力を習得するための研修を行い、総合診療専門医に必要な知識や技能を補います。後半は地域医療を実践する日高医療センター、出石医療センター、朝来医療センター、村岡病院、香住病院、浜坂病院の何れかにおいて総合診療専門研修Ⅰを行います。3年目の研修では、専攻医の希望する病院と診療科、受け入れを行う連携施設側の態勢に応じてフレキシブルにローテーションを組み、研修を行います。なお、選択研修期間中はハーフデイ・ワンデイバックによる勤務を可能とします。

### プログラム・資料に関する問い合わせ先

TEL 0796-22-6111(代表)

FAX 0796-22-0170

e-mail kensyucenter@toyookahp-kumiai.or.jp

website <http://www.toyookahp-kumiai.or.jp/toyooka/>

〒668-8501 兵庫県豊岡市戸牧1094 公立豊岡病院組合 医師育成・研修支援センター

## 専攻医の声

私は総合診療プログラム専攻医2年目で、2021年度より豊岡病院で勤務しています。

当院は但馬地方の基幹病院であり、近くにはほかの大きな病院はないため、あらゆる種類・重症度の疾患が集まります。専門科によっては常勤医がいない科・常勤医が少ない科も多く、総合診療科ではより幅広い疾患への対応が求められます。高血糖緊急症や甲状腺クリーゼ、血管炎、間質性肺炎、ネフローゼ症候群、末期腎不全の透析導入、化膿性脊椎炎など、他病院であれば他科入院となるような症例も、多くは主治医として対応します。もちろん他の診療科には相談しやすい環境が整っているため、専門医の先生方のサポートのもと、幅広い知識・診療能力が身に付きます。

また超高齢化がすすんでいる但馬地域の総合診療科として、多職種や他病院と連携しながら、退院したその後の生活や予防医療、家族志向型ケアなども意識した診療を実践できます。今後総合診療科を目指す方はもちろん、その他の診療科を目指している方でも、まずは包括的ケアを学ぶ場として、当院での研修をぜひ検討してみてください。



専攻医 高田 京加

# 研修環境

## 図書

国内図書 5,403 冊      国外図書 690 冊  
国内雑誌 82 種類      国外雑誌 45 種類  
文献検索（医中誌 Web/J DreamIII）  
文献取寄せあり（有料）



## 各種診療支援ツール

- ◇ 文献検索      医中誌 Web
- ◇ 診療支援ツール      Up To Date、今日の臨床サポート、Safety Plus

※診療支援ツールは施設外からも利用できます。  
全て、ポータルサイト「Ovid Discovery」からアクセスできます。



## 宿舎

- ◇ 研修医宿舎  
1K30 m<sup>2</sup>（賃料 6,300 円/月）  
※研修医宿舎の利用状況に応じ、たすきがけコースの研修医・歯科研修医には借上げ宿舎を斡旋する場合があります。
- ◇ 医師宿舎（単身用・世帯用）  
医師宿舎、借上げ宿舎あり（医師宿舎は戸数に限りがあります。）  
ただし、医師本人が住宅を借り受けて居住する場合は規定に基づき住居手当を支給。  
（雇用形態により手当を支給しない場合があります。）  
※基幹施設の身分を有したまま豊岡病院で研修を行う場合の処遇は基幹施設に確認してください。



## 保育所

病院敷地内に保育所を設置  
日勤帯のみ保育を受け入れ（詳細は職員課までお問い合わせください。）

※基幹施設の身分を有したまま豊岡病院で研修を行う場合、処遇は基幹施設に確認してください。



## 個人用デスク

- ◇ あり
- ◇ 研修医・歯科研修医は研修医室に設置



## シミュレーター

レサシアン、気管内挿管用レサシアン、AED、気道管理トレーナー、ハートシム 等



### Web 会議システム

医師の孤立防止と最新の医療情報の共有を目的に、公立豊岡病院組合の4病院(豊岡・日高・出石・朝来)と神戸大学・兵庫県立尼崎総合医療センター・兵庫県立丹波医療センターなどをテレビ中継で結び、合同カンファレンスなどを開催しています。



### 共通講習

院内で開催される講演の一部は日本専門医機構の共通講習に申請・認定されているため、専門医取得・更新に必要な単位を取得することができます。



### 自動車レンタル (豊岡病院組合互助会事業)

| 車種(サンプル)<br>期間(例) | TOYOTA アクア<br>(未走行車)(税込) | 一般軽自動車<br>(未走行車)(税込) |
|-------------------|--------------------------|----------------------|
| 6ヶ月～              | 49,680円～/月               | 32,400円～/月           |
| 24ヶ月～             | 44,280円～/月               | 29,160円～/月           |
| 60ヶ月～             | 36,720円～/月               | 16,200円～/月           |

#### <メンテナンスに含まれる内容>

車検、法定一年点検、部品交換(ワイパーゴム、スパークプラグ、エンジンオイル、オイルエレメント、バッテリー、バッテリー液、ウォッシュ液)、タイヤ代(夏・冬各4本)、シーズン毎のタイヤ脱着料(夏タイヤ⇄冬タイヤ)

※保険料 月々5,260円～ 車種、条件に合わせて試算します。

※ナビ・ETC・ドライブレコーダー付プラン等、ご相談ください。

※レンタルリース開始の際に初期費用をご用意ください。(登録料(43,200円税込)、保証料(20,000円 refundable)、JAF 会員登録料)

■自動車レンタルのサービス内容・料金等は令和3年10月現在のものです。

掲載内容は経済事情等により変更される場合がありますので、詳細は下記までお問い合わせください。

#### 【 問い合わせ先 】

ワタキ自動車株式会社

兵庫県豊岡市寿町11-5 Tel : (0796) 22-4155 Fax : (0796) 24-5380 営業時間 : 9:00-18:00 定休日: 第3水曜日

# 説明会

## 2022 年出展予定の合同説明会

2.19.Sat  
11:00-16:00

近畿地区

臨床研修病院説明会 / 臨床研修病院説明会  
事務局主催

@ 大阪国際会議場 10F  
-address- 大阪市北区中之島 5-3-51

5 月上旬  
13:30-16:30

兵庫県臨床研修病院合同説明会 / 兵庫県主催

@ 神戸国際会議場 301, レセプションホール  
-address- 神戸市中央区港島中町 6-9-1

5 月中旬  
12:00-15:15

京都大学医学部附属病院

研修医・医員募集説明会 / 京都大学主催

@ 京都大学医学部芝蘭会館 山内・稲盛ホール  
-address- 京都市左京区吉田近衛町 京都大学医学部構内

11 月中旬  
13:00-17:40

兵庫県養成医師臨床研修指定病院・研修内容説明会  
/ 兵庫県・神戸大学主催

@ 神戸大学医学部附属地域医療活性化センター  
-address- 神戸市兵庫区荒田町 2-1-5

# 病院見学

病院見学を希望する方は、下記のアドレスに次の事項を添えてお申込みください。日程を調整のうえ、後日回答します。病院見学者(医師・歯科臨床研修未履修の方のみ)には交通費 10,000 円を助成しています。

1. 氏名
2. 所属 (〇〇大学〇年生 / 〇〇病院〇年目研修医)
3. 連絡先 メールアドレス
4. 見学希望診療科 (または救急当直) と日時
5. 来院および帰院の予定時刻
6. 来院方法 自家用車の場合: 到着予定時刻、車種・色・ナンバー (警備の都合)
7. 宿泊の希望 研修医宿舎に空室がある場合は、宿泊先として提供可能 (医師・歯科医師臨床研修未履修の方のみとなります。それ以外の方は各自で宿泊先を確保してください。)。事前連絡が必要です。

お申込・問合せ先 ✉ [kenkyuu.toyooka@toyookahp-kumiai.or.jp](mailto:kenkyuu.toyooka@toyookahp-kumiai.or.jp)

# 学生実習

豊岡病院では各大学の卒前教育に協力して学生実習を受け入れています。豊岡病院で実習を希望する方は在籍する大学の担当課を通じてお申し込みください。(受入枠に限りがあるため、受入できない場合があります。)

1. 受入診療科: 総合診療科、循環器内科、脳神経内科、産婦人科、救急集中治療科など
2. 派遣大学: 京都大学、大阪大学、神戸大学、自治医科大学、愛知医科大学など

お申込・問合せ先 ✉ [kenkyuu.toyooka@toyookahp-kumiai.or.jp](mailto:kenkyuu.toyooka@toyookahp-kumiai.or.jp)

# 募集案内

---

## <研修医>

|       |   |
|-------|---|
| 応募資格  | 第117回医師国家試験を受験予定の方。または医師国家試験合格者で臨床研修を未履修の方。 |
| 募集定員  | 9名程度  |
| 採用試験日 | 2022年8月4日(木)13:00～, 8月25日(木)13:00～          |
| 試験内容  | 書類審査及び面接試験                                  |
| 応募書類  | ①医師臨床研修申込書(病院指定様式) ②卒業(見込)証明書 ③成績証明書        |
| 応募期間  | 2022年6月1日(水)～2022年7月29日(金)                  |
| 採用日   | 2023年4月1日                                   |

## <歯科研修医>

|       |   |
|-------|---|
| 応募資格  | 第116回医師国家試験を受験予定の方。または歯科医師国家試験合格者で臨床研修を未履修の方。 |
| 募集定員  | 2名(予定)  |
| 採用試験日 | 8月頃実施予定(相談のうえ決定)                              |
| 試験内容  | 書類審査及び面接試験                                    |
| 応募書類  | ①医師臨床研修申込書(病院指定様式) ②卒業(見込)証明書 ③成績証明書          |
| 応募期間  | 2022年6月1日(水)～2022年7月29日(金)                    |
| 採用日   | 2023年4月1日                                     |

## <専攻医>

|        |   |
|--------|---|
| 応募資格   | ①2023年3月末に医師臨床研修を修了予定の方<br>②医師臨床研修修了者で基本領域研修を未修得の方<br>③基本領域でダブルボードの取得を希望する方 |
| 募集する領域 | 内科、救急科、総合診療   |
| 採用試験日  | 9月頃実施予定(相談のうえ決定)  |
| 試験内容   | 書類審査及び面接試験  |
| 応募書類   | ①専門研修申込書(病院指定様式) ②臨床研修修了(見込み)証明書<br>③医師免許証(写し)                              |
| 応募期間   | 豊岡病院ホームページにて公開  |
| 採用日    | 2023年4月1日   |



# 医師修学資金貸与制度について

## 医師修学資金貸与制度

この制度は、公立豊岡病院組合が経営する病院に勤務する医師の確保を図ることを目的に、将来組合立病院の医師として診療に従事しようとする医学生に対して修学資金を貸与するものです。

### 1. 対象者

下記要件を全て備えた方

- (1) 兵庫県但馬地域または京都府丹後地域において就学または在住歴を有すること
- (2) 学校教育法に規定する大学の医学を履修する課程に在学していること
- (3) 大学卒業後、医師として組合立病院で勤務する意思を有していること
- (4) 地方公務員法第16条各号に該当しないこと
- (5) 公立豊岡病院組合以外の団体から医師の確保を目的とした修学資金の給付又は貸付を受けていないこと

### 2. 連帯保証人 2名必要

### 3. 選考方法 申請書類と面接により決定

### 4. 修学資金貸与額 総額10,200,000円（6年間貸与の場合） 1～4年生は125,000円/月、5～6年生は175,000円/月

### 5. 貸与期間 正規の修学年限内

### 6. 貸与の一時停止 大学を長期欠席、留年または休学したとき

### 7. 修学資金の返還猶予

- (1) 組合立病院の医師として勤務する期間
- (2) 大学卒業後医師免許が取得できなかった場合（但し、卒業後2年間を限度とします）
- (3) 組合立病院以外の医療機関等において初期臨床研修又は医師の専門性に関する研修等を行うことを管理者が必要と認める場合（被貸与者が初期臨床研修を開始した年度の初日から起算して10年を経過しない範囲内において返還免除に必要な勤務を履行できる場合）

### 8. 修学資金の返還

- (1) 次の場合には、貸与した修学資金を返還
  - i 修学資金の貸与決定が取り消されたとき
  - ii 大学卒業後2年以内に医師免許を取得できなかったとき
  - iii 死亡、心身の故障で医師の業務に従事できないとき
- (2) 返還免除の勤務年数に満たず退職した場合は、修学資金と返還利息の総額を3カ月以内に一括して返還

### 9. 利息

返還利息：貸与した日の翌日から最後に貸与した日までの期間の日数に応じ、貸与額につき年10%の割合で計算した額

延滞利息：正当な理由がなく修学資金を返還すべき日までに返還しなかった場合に徴収

### 10. 修学資金等の返還免除

公立豊岡病院組合職員として返還免除に必要な期間勤務後に修学資金及び返還利息の総額を一括して免除

## 医師修学一時資金貸付制度

修学資金の貸与を受ける方を対象に、正規の修学年限内に本人が支払うべき学費（入学金、授業料、施設設備等）の範囲内で20,000,000円を上限に貸し付ける「医師修学一時資金貸付制度」を設けています。

### 1. 一時資金貸付額 貸付額本人が6年間で支払うべき学費の範囲内で、上限20,000,000円（1回限り）

### 2. 返還 臨床研修開始後、原則10年以内に全額を返還（免除制度はありません）

## 応募について

### 1. 募集人員 3名程度

### 2. 受付期間 2022年11月頃より開始

### 3. 面接試験日 2022年12月下旬頃

### 4. 応募方法 申請書など所定の用紙を提出 ※申請書類一式はホームページからダウンロードできます。

# 研修医・専攻医の処遇について

|    | 職名    | 身分      | 勤務時間   | 休日                                       | 給与       | 内訳       |          |          |          |
|----|-------|---------|--|--|----------|----------|----------|----------|----------|
|    |       |         |  |  |          | 給料       | 医師給与調整手当 |          |          |
| 医科 | 卒後1年目 | 臨床研修医   | 8:30~17:15<br>17:15~翌日2:00<br>(4週間を超えない期間につき<br>1週間あたり37時間45分) | 割振表による                                   | 289,768円 | 249,800円 |          |          |          |
|    | 卒後2年目 |         |  |  |          |          |          | 301,020円 | 259,500円 |
| 歯科 | 卒後1年目 | 歯科臨床研修医 | 原則として8:30~17:15<br>(7時間45分)                                    |  | 289,768円 | 249,800円 |          |          |          |
|    | 卒後2年目 |         |  |  |          |          |          | 301,020円 | 259,500円 |
|    | 卒後3年目 | 専攻医     | 原則として8:30~17:15<br>(7時間45分)                                    | 土曜日・日曜日<br>及び法令に規定<br>された休日<br>(年末年始を含む) | 485,608円 | 323,800円 | 110,000円 |          |          |
|    | 卒後4年目 |         |  |  |          |          | 568,048円 | 336,800円 | 177,360円 |
|    | 卒後5年目 |         |  |  |          |          | 637,644円 | 361,400円 | 218,420円 |
|    | 卒後6年目 |         |  |  |          |          | 693,596円 | 374,100円 | 259,640円 |

|    |       | 特殊勤務手当                    |                             |  |                           |                          |                            |                        |  |  |
|----|-------|---------------------------|-----------------------------|--|---------------------------|--------------------------|----------------------------|------------------------|--|--|
|    |       | 待機手当                      | 危険業務手当                      | 診療等応援業務手当                                      | 救急病院当直業務手当                | 航空手当                     |                            |                        |  |  |
| 医科 | 卒後1年目 | 支給なし                      | 日額1,500~4,000円<br>(新型コロナ対応) | 支給なし   | 支給なし                      |                          |                            |                        |  |  |
|    | 卒後2年目 |                           |                             |  |                           |                          |                            |                        |  |  |
| 歯科 | 卒後1年目 |                           | 支給なし                        |  |                           |                          |                            |                        |  |  |
|    | 卒後2年目 |                           |                             |  |                           |                          |                            |                        |  |  |
|    | 卒後3年目 | 2,250円/1回<br>(4時間以上8時間未満) | 日額1,500~4,000円<br>(新型コロナ対応) | 勤務1回につき4時間未満の勤務、<br>または8時間未満の当直業務<br>7,500円/1回 | 7,500円/1回<br>(4時間以上8時間未満) | 1,900円/1回<br>(ドクターヘリ搭乗者) |                            |                        |  |  |
|    | 卒後4年目 |                           |                             |  |                           |                          |                            |                        |  |  |
|    | 卒後5年目 |                           |                             |  |                           |                          | 4,500円/1回<br>(8時間以上16時間未満) | 日額150円<br>(精神・放射線・病理等) | 勤務1回につき4時間を超える勤務、<br>または8時間以上の当直業務<br>15,000円/1回 | 15,000円/1回<br>(8時間以上16時間未満)<br>(救急集中治療科) |
|    | 卒後6年目 |                           |                             |  |                           |                          |                            |                        |  |  |

|    |       | 育児休業                    | 健康保険           | 雇用保険     | 年金              | 労災            | 病院賠償責任保険                     | 定期健康診断 | 院内保育所 |                   |                 |
|----|-------|-------------------------|----------------|----------|-----------------|---------------|------------------------------|--------|-------|-------------------|-----------------|
| 医科 | 卒後1年目 | あり<br>(在職1年以上の<br>者に限る) | 任用1年目<br>協会けんぽ | あり(左に同じ) | 厚生年金            | 任用1年目<br>労災保険 | 病院にて加入<br>(医師賠償保険<br>は各自で加入) | 年2回あり  | 利用可能  |                   |                 |
|    | 卒後2年目 |                         |                |          |                 |               |                              |        |       | 任用2年目<br>兵庫県市町村共済 |                 |
| 歯科 | 卒後1年目 |                         | あり             |          |                 | 兵庫県市町村共済      |                              |        |       | なし                | 地方公務員<br>災害補償基金 |
|    | 卒後2年目 |                         |                |          |                 |               |                              |        |       |                   |                 |
|    | 卒後3年目 | あり                      | 兵庫県市町村共済       | なし       | 地方公務員<br>災害補償基金 |               |                              |        |       |                   |                 |
|    | 卒後4年目 |                         |                |          |                 |               |                              |        |       |                   |                 |
|    | 卒後5年目 |                         |                |          |                 |               |                              |        |       |                   |                 |
|    | 卒後6年目 |                         |                |          |                 |               |                              |        |       |                   |                 |

|         | 超過勤務手当 | 宿日直手当   | 賞与  | 通勤手当      | 住居手当 | 扶養手当 |
|---------|--------|---|---|-----------|------|------|
| 地域手当    | 支給あり   | 15,000円/1回<br>平日・休日(深夜2:00~8:30)  | 支給あり<br>(年2.55月)<br>※任用1年目は在職期間に応じた割落としあり | 最高55,000円 | 支給なし | 支給なし |
| 39,968円 |        |   |   |           |      |      |
| 41,520円 |        |   |   |           |      |      |
| 39,968円 |        |   |   |           |      |      |
| 41,520円 |        | 25,000円/1回<br>平日(17:15~翌8:30)<br>休日(8:30~17:15)<br>(17:15~翌8:30)<br>※任用1年目は在職期間に応じた割落としあり | 支給あり<br>(年4.45月)<br>※任用1年目は在職期間に応じた割落としあり | 最高28,000円 | 支給あり |      |
| 51,808円 |        |   |   |           |      |      |
| 53,888円 |        |   |   |           |      |      |
| 57,824円 |        |   |   |           |      |      |
| 59,856円 |        |   |   |           |      |      |

| 年末年始勤務手当   | 移転料・扶養親族移転料 | 退職金 | 給与支給日                        | 年次休暇  | 病気休暇 | 特別休暇 | 介護休暇                |
|------------|-------------|-----|------------------------------|---|------|------|---------------------|
| 最高3,500円/回 | 支給なし        |     | 当月分を21日に支払い<br>(実績給は翌月21日払い) | 在職1年目 10日<br>在職2年目 11日  | あり   |      | あり<br>(在職1年以上の者に限る) |
|            | 支給あり        |     |                              | 採用初年度は新たに職員となった月に応じて付与<br>4月/20日、5月/18日、6月/17日、<br>7月/15日、8月/13日、9月/12日、<br>10月/10日、11月/8日、12月/7日、<br>1月/5日、2月/3日、3月/2日<br>翌年からは原則20日付与 |      |      | あり                  |

| その他   |
|---|
| <p>① 職員の給与は、民間企業従事者や国家公務員の給与水準、または社会情勢などに応じて変動することがあります。<br/>(記載内容は令和3年4月現在のもの。)</p> <p>② 豊岡病院を基幹施設とするプログラムに在籍する専攻医の場合<br/>他院のプログラムに在籍する専攻医の処遇は派遣される期間により異なります。</p> <p>③ 詳細な取扱いは本院の規定に基づきます。</p> <p>④ 流行性ウイルス疾患(麻疹・風疹・流行性耳下腺炎・水痘)のワクチン接種について<br/>豊岡病院では、採用を予定する医師に対し上記4疾患の抗体の獲得を推奨しています。<br/>入職手続きの際に証明書の提出を求めています。(証明書・接種費用は自己負担。詳細は採用手続きの際に案内します。)</p> <p>⑤ 基幹施設の身分を有したまま豊岡病院で研修を行う場合、処遇の確認は基幹施設に行ってください。</p> <p>【問合わせ先】(0796-22-6111(代表))<br/>研修医(医科・歯科)の採用手続き・処遇・宿舍利用について(豊岡病院教育研修課)<br/>専攻医の採用手続き・処遇・宿舍利用について(豊岡病院職員課)</p> |

# おでかけスポット

# イベント情報



浜坂県民サンビーチ  
佐津海水浴場  
竹野浜海水浴場  
小天橋(小天橋海水浴場)  
夕日ヶ浦浜詰海水浴場  
琴引浜(掛津海水浴場)など



氷ノ山、鉢伏山(登山・トレッキング)  
神鍋高原(パラグライダー、キャンプ場)  
兎和野高原(キャンプ場)  
生野銀山湖(バス釣り)  
矢田川、大屋川(アユ釣り) など



城崎温泉  
竹野温泉  
湯村温泉  
シルク温泉  
久美浜温泉  
夕日ヶ浦温泉 など



神鍋高原スキー場  
ハチ北高原スキー場  
スカイバレイスキー場  
おじろスキー場  
氷ノ山国際スキー場 など



但馬牛 松葉ガニ  
ようか豚 アマダイ  
但馬鶏 甘エビ  
出石そば ホタルイカ  
天然アユ バグロ  
二十世紀梨 など



山陰海岸国立公園 ジオパーク  
大乗寺  
玄武洞  
出石伝統的建造物群保存地区  
竹田城跡  
生野銀山 など

| イベント情報 |  |
|--------|--|
| 4月     | 上旬 オリエンテーション <b>病院</b><br>上旬 立雲峡さくらまつり <b>朝来</b><br>上旬 浜坂みなと ほたるいか祭り <b>新温泉</b><br>中旬～下旬 たんとうチューリップまつり <b>豊岡</b><br>中旬 出石そば喰い大会 <b>豊岡</b><br>下旬 香住ジオパーク・フルマラソン大会 <b>香美</b>             |
|        | 上旬～中旬 藤まつり <b>朝来</b><br>中旬 親善バレーボール大会 <b>病院</b><br>下旬 麒麟獅子マラソン大会 <b>新温泉</b>  |
|        | 上旬 湯村温泉祭 <b>新温泉</b><br>上旬 みかた残酷マラソン全国大会 <b>香美</b><br>中旬 マラソン大会 <b>香美・豊岡</b><br>中旬 ほたる祭り <b>養父</b>  |
|        | 上旬 海水浴場海開き <b>豊岡・香美・新温泉</b><br>下旬 花火大会 <b>豊岡・香美・新温泉</b>  |
| 8月     | 1～2日 豊岡柳まつり <b>豊岡</b><br>1日 豊岡おどり参加 <b>病院</b><br>中旬 西日本医科学生総合体育大会(ソフトテニス・ラグビー) <b>豊岡</b><br>中旬 県養成医学生地域医療夏季セミナー <b>豊岡・朝来</b><br>下旬 医師修学資金貸与医学生ホームカミングデー <b>豊岡</b><br>下旬 花火大会 <b>朝来</b> |
|        | 上旬 カニまつり <b>香美</b><br>上旬 神鍋火山祭り <b>豊岡</b><br>下旬 村岡ダブルフルウルトラランニング 第4日曜 但馬牛まつり <b>新温泉</b>  |
| 10月    | 中旬 竹田秋祭り <b>朝来</b><br>中旬 但馬・食文化祭 <b>朝来</b><br>中旬 出石秋祭りだんじり <b>豊岡</b>   |
|        | 3日 出石お城まつり <b>豊岡</b><br>上旬 新そば祭 <b>豊岡</b><br>上旬 カニまつり <b>豊岡・香美・新温泉</b><br>中旬 豊岡病院祭 <b>病院</b>   |
| 12月    | 中旬 スキー場オープン <b>豊岡・養父・香美・新温泉</b>  |
| 1月     | 9～10日 宵田 十日えびす <b>豊岡</b>   |
| 2月     | 上旬 兵庫県雪合戦大会 <b>香美</b><br>中旬 美方高原雪まつり <b>香美</b>   |
|        | 1日 竹田城山開き <b>朝来</b><br>上旬 かすみカニ感謝祭 <b>香美</b><br>上旬 鉢伏雪まつり <b>養父</b><br>中旬 臨床研修修了式 <b>病院</b><br>第3土曜 出石初午大祭 <b>豊岡</b>   |

※**○**は開催場所 **病院**・・・豊岡病院 **豊岡**・・・豊岡市  
**養父**・・・養父市 **朝来**・・・朝来市 **新温泉**・・・新温泉町  
**香美**・・・香美町

# 案内図

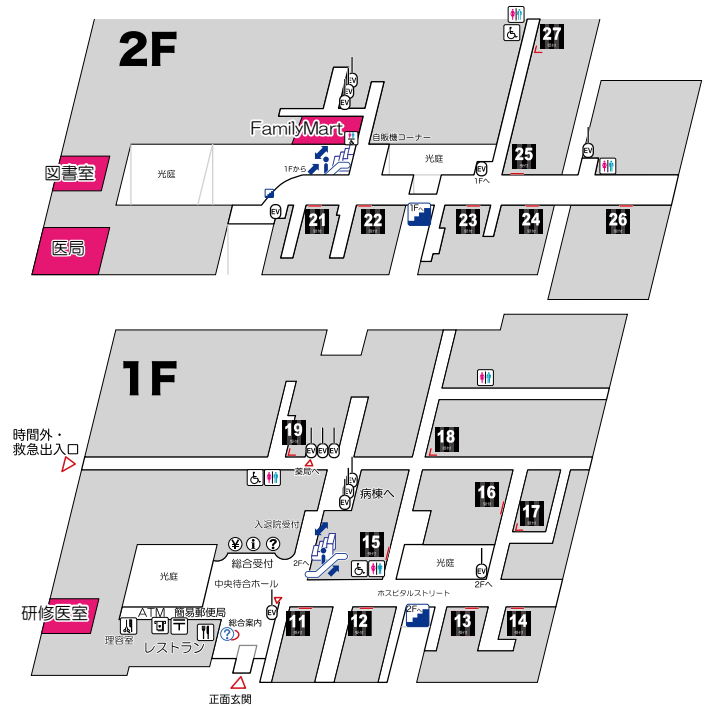
## 【アクセス】



関西の主要都市からの移動時間は概ね次のとおりです。  
 京都市 鉄道：2時間20分 自動車：3時間10分  
 大阪市 鉄道：2時間30分 自動車：2時間30分  
 神戸市 鉄道：2時間30分 自動車：2時間15分  
 鉄道利用の場合、JR豊岡駅より路線バスで10分「豊岡病院」バス停下車すぐ。  
 阪神間から自動車で来院する際は、北近畿豊岡自動車道但馬空港ICまでの利用が便利です。



## 【外来・研修・福利厚生施設】



- |  |  |  |
|--|--|--|
| <b>25</b><br>精神科   | <b>26</b><br>但馬こうのとり<br>周産期医療センター<br>産婦人科<br>小児科<br>新生児科 | <b>27</b><br>リハビリテーション科                    |
| <b>21</b><br>泌尿器科<br>形成外科                                  | <b>22</b><br>皮膚科<br>内分泌・糖尿病内科<br>リウマチ科<br>眼科             | <b>23</b><br>小児科<br>新生児科<br>歯科口腔外科<br>矯正歯科 |
| <b>24</b><br>健診室<br>医療連携室<br>地域医療室<br>医療福祉相談室              | <b>15</b><br>中央処置室                                       | <b>16</b><br>内視鏡                           |
| <b>17</b><br>生理検査  | <b>18</b><br>放射線   | <b>19</b><br>救急                            |
| <b>11</b><br>総合診療科<br>血液内科<br>呼吸器内科<br>循環器内科<br>呼吸器・心臓血管外科 | <b>12</b><br>消化器科<br>外科<br>乳腺外科                          | <b>13</b><br>整形外科<br>脳神経内科<br>脳神経外科        |
| <b>14</b><br>耳鼻いんこう科<br>緩和ケア内科<br>栄養指導室                    |  |  |



Toyooka Hospital  
FOUNDED 1871

**公立豊岡病院組合立豊岡病院  
教育・診療支援部 教育研修課**

〒668-8501 兵庫県豊岡市戸牧 1094 番地

TEL 0796-22-6111

kenkyuu.toyooka@toyookahp-kumiai.or.jp

<http://www.toyookahp-kumiai.or.jp/toyooka/>

